

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (東青地区)

目 次

【全日制課程】

青森高校	1
青森西高校	3
青森東高校	5
青森北高校	7
青森南高校	9
青森中央高校	11
浪岡高校	13
青森工業高校	15
青森商業高校	19

【定時制課程】

北斗高校	21
------	----

【通信制課程】

北斗高校	24
------	----

学校名(課程)	青森高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	7	7	7	0	21																																					
学科・コース	■普通科7学級(2学年、3学年の理型がSSHコース)																																											
学校の特徴	<p>令和2年度に創立120周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。「自律自啓」の精神のもと、勉学はもちろん、部活動・課外活動に対して積極的・主体的に取り組んでいる。平成29年度よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、探究的な学習に力を入れ、学んだ知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を高めるための学習活動を充実させている。一昨年より教育クラウドサービスを導入し、授業・学習指導・キャリア指導・緊急時の連絡など多方面にわたってICTを活用している。「主体性と協調性をもって果敢に未来を切り拓く生徒」を目指す生徒像として掲げ、そのために必要な資質・能力として「青高力10の力」を策定した。授業・考査・行事をはじめとする学校教育活動全てにおいてこれらの力を育てることを意識して内容の工夫・改善を行い、内外から注目を集めている。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>109</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>123</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>232</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>34</td> <td>274</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】 ■進学:弘前大学(46人)、東北大学(21人)、岩手大学(8人)、北海道大学(5人)、東京大学(1人)、京都大学(2人)、大阪大(2人)、東京工業大学(1人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	109	0	1	0	0	23	133	女	123	0	5	0	2	11	141	計	232	0	6	0	2	34	274
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	109	0	1	0	0	23	133																																					
女	123	0	5	0	2	11	141																																					
計	232	0	6	0	2	34	274																																					
特色ある教育活動	<p>■スーパーサイエンスハイスクール事業(文部科学省委託事業) 企業研究所訪問、海外フィールドワークのほか、科学に対する興味関心の高揚に寄与する事業を継続的・組織的に行っている。事業に当たっては大学・企業・県外高校との共同学習も行っている。年々研修先の幅も広がってきている。</p> <p>■スーパーグローバルハイスクール後継事業 海外における行動力の育成、探究型学習の深化を目的に、海外フィールドワークを行っている。青森県・本校同窓会・後援会の支援のもと、シンガポールのナンヤン高校、台湾のワシントン高校・僑光科学技術大学との間では、共同学習に関する持続的な体制が確立されている。</p> <p>■ゼミ活動 県内の大学、企業からの協力を得て、約80種類のグループが継続的に探究学習を行っている。生徒が自らの興味関心を基に課題を発見し、仮説立案の後に検証を行うという一連の学習のシステムが確立されている。この指導方法は県内外の高校にも還元されている。</p> <p>■医師を志す高校生支援事業【県事業】(重点校事業) 医学科へ進学し将来医師を志す生徒を対象に、医療現場の見学や医師による講演などの事業、医学科進学対策として「学力向上セミナー」を実施するなど、重点校としてその運営に当たり、青森県の医療に貢献する人財を育成している。</p> <p>■進学力を高める高校生支援事業【県事業】(重点校事業) 最難関大学への進学を志す生徒の夢実現を支援するために、本校・弘前高校・八戸高校の三校を中心とした「最難関大学進学志望者合同進学合宿」の幹事校の1校として企画運営にあたり、現役東大生を招いての講話や個別指導を行い、意欲や学力の向上を図っている。</p>																																											

青森高校

【生徒の状況】

1. 在籍数

学科		学年	第1学年	第2学年	第3学年	計
		性別				
普通科	男		141	151	147	439
	女		139	129	131	399
	計		280	280	278	838

2. 出身市町村別生徒数

青森市	弘前市	八戸市	五ヶ瀬市	黒石市	むつ市	三沢市	十和田市	つがる市	平川市
788	0	2	4	9	5	1	0	3	0
東 郡	西 郡	南 郡	北 郡	中 郡	上北郡	下北郡	三戸郡	その他	計
8	0	1	4	0	13	0	0	0	838

3. 通学方法

	列車	バス	自転車	徒歩	その他	計
夏季	122	1	667	31	17	838
冬季	279	68	0	260	231	838

学校名(課程)	青森西高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18																																					
学科・コース	■普通科6学級																																											
学校の特徴	<p>昭和38年女子校として開校、平成8年男女共学となり、令和4年度60周年を迎える全日制普通科高校である。</p> <p>学業と部活動の両立を図り、人間的に成長する教育を実践している。また、特色ある教育として、ボランティア活動・青西おもてなし隊活動を実践しており、体験的活動を通して人間力の育成に取り組んでいる。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>37</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>62</td> <td>21</td> <td>46</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>99</td> <td>25</td> <td>64</td> <td>28</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 北海道教育大学函館校(1人)、弘前大学(2人)、青森公立大学(17人)、青森県立保健大学(1人)、北海道文教大学(1人)、東北女子大学(2人)</p> <p>■就職: 公務員(14人) 県警・県職員・消防・自衛隊・市役所 一般企業(22人) 新町病院・和幸園・工藤パン・TBCグループ</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	37	4	18	13	2	3	77	女	62	21	46	15	6	4	154	計	99	25	64	28	8	7	231
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	37	4	18	13	2	3	77																																					
女	62	21	46	15	6	4	154																																					
計	99	25	64	28	8	7	231																																					
特色ある教育活動	<p>■小論文指導</p> <p>小論文講習会を開催し、生徒に対して早い時期から指導を実践している。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策から講師を招いて実施できなかったが、本校限定公開としYouTubeで動画視聴ができ、今後3月まで何度でも視聴可能としている。</p> <p>■ドリカム人づくり推進事業(県事業)</p> <p>青西人づくり・街づくりプロジェクトは、ボランティア活動や青西おもてなし隊活動を通して、生徒が主体的に活動し、何事にも積極的に挑戦することで、人間力・社会力を身につけ自己実現を目指す取組である。</p> <p>(1) 青森セレクトプロジェクト→年間を通して新青森駅開業時より生け花を継続して展示している。また、県外からの観光客へのおもてなし、街中ハイキングガイドを実施している。</p> <p>(2) 青西観光大使→修学旅行先で郷土青森のPR活動を展開している。</p> <p>(3) いきいき健やかプロジェクト→新青森駅周辺の病院や地域の施設で、吹奏楽部や合唱部による演奏会を実施している。</p> <p>(4) 高校生おもてなしプロジェクト→地域から求められるボランティア活動(年間50件以上)に積極的に参加している。</p> <p>(5) その道を究める→スポーツ選手や文化人等の専門家、研究者を招き「夢と希望」「生きがい」を考える機会を設定し、将来を見通した生き方を考える。</p> <p>■部活動の活性化</p> <p>運動部・文化部とも積極的に活動している。本県で開催される国スポにおける活動拠点校として女子バレー部が指定されている。</p>																																											

青森西高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学 科	学年	1	2	3	計
	性別				
普通科	男	76	82	92	250
	女	165	156	147	468
合 計		241	238	239	718

(2) 出身市町村別生徒数

市町村		学年			市町村		学年		
		1	2	3			1	2	3
青 森 市		212	211	202	つがる市		2	0	1
東 津 軽 郡	平内町	8	8	11	南津軽郡		3	2	8
	外ヶ浜町	5	4	3	北津軽郡		0	0	0
	今別町	0	4	2	上北郡		1	1	2
	蓬田村	1	1	3	県内その他		5	4	3
弘前市		2	2	0	県外計		0	1	1
五所川原市		2	0	3	合計		241	238	239

(3) 通学方法

区分 学年	列 車			バ ス	自 転 車	徒 歩	そ の 他	計
	列車のみ	列車と自転車の併用	列車とバスの併用					
1	39	59	3	0	114	15	11	241
2	44	50	0	2	134	7	1	238
3	43	53	3	0	119	14	7	239
合 計	126	162	6	2	367	36	19	718

学校名(課程)	青森東高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	6	6	7	0	19
学科・コース	【単位制】 ■普通科6学級(3年次は7学級)						
学校の特徴	<p>昭和39年4月の開校以来、平成16年度に進学重視型単位制普通高校へと移行し、平成25年度に創立50周年を迎えた。</p> <p>単位制の特長を生かし、選択科目が幅広く設定され、生徒は進路志望や能力・適性に応じた科目選択ができる。</p> <p>恵まれた施設・設備の中で、生徒は自主的に学習に取り組み、進路志望を実現し、部活動においても顕著な戦績を残している。</p>						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	116	1	10	0	0	13	140
女	103	8	11	6	3	8	139
計	219	9	21	6	3	21	279
	【主な進路先】 ■進学: 弘前大学(36人)、岩手大学(14人)、青森県立保健大学(13人)、青森公立大学(11人)、北海道教育大学函館校(6人)、新潟大学(4人)、はこだて未来大学(4人)、秋田大学(3人)、山形大学(3人) ■就職: 公務員(7人)(うち国家公務員2人、青森県職員2人、青森市職員2人、弘前市職員1人)、民間企業(2人)						
特色ある教育活動	■青森県立保健大学との高大連携事業 本校2年次で希望する生徒が、放課後に青森県立保健大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けている。大学生との意見交換を通して新たな視点に気付いたり、進路を決定する機会になったりしている。 ■原別小学校ボランティアワーク(今年度中止) 本校の希望する生徒が、地元の原別小学校に出向き授業をサポートし、小学生との交流を深めている。教員という職業の理解を深めたり、自分自身の成長につながったりしている。 ■大学模擬講義 大学の先生方を多数招き、本校の1・2年次の生徒が希望の講義を受講し、大学の授業を模擬体験している。 ■「総合的な探究の時間」を活用した課題研究と課題研究発表会 3年間の「総合的な探究の時間」を、本校独自に「E-p r o」と名付け、各生徒が興味・関心ある分野の研究テーマを設定し、調査・分析し、論理的にまとめ発表する時間としている。						

青森東高校

【生徒の状況】

1 在籍生徒数・学級数

学 科	学 年	1 年 次			2 年 次			3 年 次			合 計		
	性 別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科	在籍数	112	128	240	119	119	238	126	152	278	357	399	756
	学級数	6			6			7			19		

2 出身市町村別生徒数調べ

市町村名		人数	市町村名		人数	市町村名		人数			
青	森	市	663	西郡	鯨ヶ沢町		上北郡	東北町	3		
弘	前	市	2		深浦町			六ヶ所村	3		
八	戸	市		南郡	藤崎町		下北郡	大間町			
黒	石	市	1		大鰐町			東通村			
五	所	川原市			田舎館村			風間浦村	4		
十	和	田	市	1	中郡	西目屋村		佐井村	1		
三	沢	市		北郡	板柳町		三戸郡	三戸町	1		
む	つ	市	5		鶴田町	1		五戸町			
つ	が	る	市		中泊町			田子町			
平	川	市		上北郡	野辺地町	30	三戸郡	南部町			
東郡	平	内	町		22	七戸町			階上町		
	今	別	町			おいらせ町			新郷村		
	外	ヶ	浜		町	8		六戸町		県外	3
	蓬	田	村		6	横浜町		2	合計	756	

3 通学方法(夏季)

区分	列車のみ	バスのみ	列車バス併用	自転車	徒歩その他	計
計	312	9	3	401	31	756

学校名(課程)	青森北高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			5	5	6	0	16																																					
学科・コース	■普通科4学級(3学年は5学級) ■スポーツ科学科1学級																																											
学校の特徴	昭和16年に創立(創立80年)され、一中、一高、北高と約2万名の卒業生を輩出している。平成12年度に青森県初のスポーツ科学科が設置され、数多くの優秀なスポーツ指導者が育成されている。「文武両道」を教育目標に掲げ、ラグビー部が全国大会に18回出場するなど(平成14年ベスト8)、全国で活躍する部活動が多い。また、平成22、23、27年には、高校総体において友情杯を獲得している。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>83</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>39</td> <td>16</td> <td>42</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>122</td> <td>21</td> <td>60</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>235</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 弘前大学(5人)、青森県立保健大学(5人)、青森公立大学(10人)、青森中央学院大学(13人)、東北学院大学(11人)、弘前医療福祉大学(6人)、青森中央短期大学(5人)、青森明の星短期大学(5人) ■就職: 青森県警察【地方公務員】(4人)、日本原燃株式会社【事務職員】(1人)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	83	5	18	4	11	6	127	女	39	16	42	9	2	0	108	計	122	21	60	13	13	6	235
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	83	5	18	4	11	6	127																																					
女	39	16	42	9	2	0	108																																					
計	122	21	60	13	13	6	235																																					
特色ある教育活動	■地域住民と協働・連携した取組による地域の活性化 (1) かかしロード280への参加 (2) 地域の環境学習(又八沼に生息するシナイモツゴ) (3) 地域イベント参加による地域住民との交流(ジャズフェスティバル等) ■スポーツ科学科の取組 (1) スポーツ指導者を育成するための多様な実習 ダンス実習、水泳実習、カーリング実習、スキューバ、エアロビ実習等 (2) 特別支援学校との交流 県立青森第一高等養護学校、県立盲学校との交流 (3) 実技発表会の実施 ダンス、集団行動、器械運動等、授業で学んだこと等を発表 ■進路関係の取組 (1) 大学体験講座 1・2学年を対象として、進路を選択する上で参考とさせるために、毎年10月に大学の教授等を招聘して模擬講義を実施している。 (2) 冬季宿泊学習合宿の実施。 県の「進学力を高める高校支援事業」を活用し、毎年冬季休業中に1・2学年が2泊3日にわたって冬季宿泊学習合宿を実施している。																																											

青森北高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学 科	学年		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	合 計
	性別					
普 通 科	男		90	94	105	289
	女		70	64	88	222
スポーツ科学科	男		33	29	27	89
	女		7	9	12	28
計			200	196	232	628

(2) 出身市町村別生徒数

地 域	青 森 市	東 津 軽 郡				上 北 ・ 十和田 ・ 三 沢	三 戸 ・ 八 戸	下 北 ・ む つ	南 黒	中 弘	北 五	西	県 外	そ の 他	計
		外 ヶ 浜	蓬 田	今 別	平 内										
人 数	536	18	11	5	21	15	2	8	1	1	8	2	0	0	628

(3) 通 学 方 法

種 類	列 車	バ ス	列 併 車 と バ ス を用	自 転 車	列 併 車 と 自 転 車 を 用	徒 歩	そ の 他	計
人 数	89	13	5	384	119	11	7	628

学校名(課程)	青森南高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18																																					
学科・コース	■普通科5学級(2年次から文系・理系に分かれて進路志望に応じて科目選択) ■外国語科1学級																																											
学校の特徴	昭和50年に開校した普通科高校である。地域に根ざし地域に愛される進学校として、三綱領「自主」「協和」「創造」を掲げ、学校教育目標である『国際理解教育』を推進し、本校の目指す生徒像である「広く国際的な視野に立って社会の発展に貢献できる人間」の育成に全職員で取り組んでいる。本校が目指す国際理解教育とは、単に「国際交流」に留まらず、「異文化理解学習」やボランティアなどの「貢献活動」を通して、生徒が「話す力」「考える力」を伸ばし、さらに「自分の才能」を見つけてそれを伸ばせるように導く取組である。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>89</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>93</td> <td>7</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>182</td> <td>7</td> <td>31</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 国公立大…弘前大(27人)、岩手大(5人)、山形大(4人)、東北大(1人)、筑波大(1人)、青森公立大(21人)、青森県立保健大(15人)、秋田県立大(3人)</p> <p>私立大…青森中央学院大(22人)、東北学院大学(21人)、駒沢大(7人)、青山学院大(3人)、東京理科大(2人)、上智大(1人)、明治大(1人)</p> <p>■就職: 公務員(4人)…青森市職員、青森市消防、国家公務員刑務官など</p>								進学			就職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	89	0	13	3	1	9	115	女	93	7	18	2	1	3	124	計	182	7	31	5	2	12	239
	進学			就職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	89	0	13	3	1	9	115																																					
女	93	7	18	2	1	3	124																																					
計	182	7	31	5	2	12	239																																					
特色ある教育活動	<p>■教育課程研究指定校事業(国立教育政策研究所)【令和元年度から2年間】</p> <p>指定校となったことを契機に、本校の教育目標を学校の教育活動全てにおいて実現すべくカリキュラム・マネジメントの確立に取り組んでいる。生徒の実態を把握するためにアンケートを実施し、その結果をもとに、教員による全員ワークショップを年数回実施している。生徒に身に付けさせたい力や、教科横断的な授業をどのように行うかなど、小グループに分かれて実施し内容を共有している。</p> <p>■未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業(県事業)</p> <p>ICT機器の本格的整備に取り組みながら、コロナ禍においても、フィリピンの英語学校CNE1のオンラインによる語学研修を実施した。また、県内各地の高校と連携して英語ディベート交流会を開催したり、ロシアの姉妹校サンクトペテルブルク583番校との相互交流をビデオメッセージのやり取りで継続したりするなど、ICT機器の利点を最大限に活用する取組を行った。</p> <p>■進学力を高める高校支援事業(県事業)</p> <p>外国語科1学年が、福島県の英語研修施設ブリティッシュ・ヒルズで宿泊研修を実施し、英国のマナーや文化に触れながら生きた英語を学び、異文化理解を深めている。(今年度は9月から12月に延期して実施する予定である。)</p>																																											

青森南高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	性別	学年			計	
		1年	2年	3年		
普通科	男子	104	115	107	326	599
	女子	98	84	91	273	
外国語科	男子	14	8	13	35	119
	女子	26	32	26	84	
計		242	239	237	718	

(2) 出身市町村別生徒数

種別	市町村	1年		2年		3年		男子	女子	合計
		男子	女子	男子	女子	男子	女子			
市	青森市	113	117	118	110	115	107	346	334	680
	弘前市									
	五所川原市						1		1	1
	黒石市									
	平川市									
	八戸市						1		1	1
	十和田市					2		2		2
	三沢市			1				1		1
	むつ市		2						2	2
	つがる市		1				1		2	2
東郡	平内町	2	1				2	2	3	5
	外ヶ浜町	1		1			2	2	2	4
	今別町	1					1	1	1	2
	蓬田村	1		1	3	2		4	3	7
上北郡	野辺地町		1	1	1		1	1	3	4
	六ヶ所村						1		1	1
	おいらせ町			1				1		1
下北郡	東通村				1				1	1
	風間浦村									
	佐井村									
北郡	中泊町									
西郡	鱒ヶ沢町									
	深浦町									
南郡	藤崎町		1						1	1
県外			1		1	1		1	2	3
合計		118	124	123	116	120	117	361	357	718

(3) 通学方法

	列車	バス	列車・バス併用	自転車	徒歩	列車・自転車併用	その他	計
1学年	2	2	10	202	9	11	6	242
2学年		2	3	219	6	8	1	239
3学年			1	221	4	8	3	237
計	2	4	14	642	19	27	10	718

学校名(課程)	青森中央高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	5	5	5	0	15																																					
学科・コース	【単位制】 ■総合学科5学級(2年次から5系列に分かれる) (人文科学系列、自然科学系列、生活科学系列、情報ビジネス系列、美術系列)																																											
学校の特徴	創立115年の歴史ある伝統校。以前の女子校から平成8年度に男女共学に、平成15年度からは総合学科に改編された。1年次の「産業社会と人間」で自分を知り先輩の話を聞いて進路希望を決め、2年次から上記の5系列に分かれ専門科目を学習する。生徒個々の適性や興味・関心に基づいた科目選択が可能で、充実した授業を受けられる。部活動、行事も盛んである。青森市のほぼ中央に位置し、近隣には商業施設・娯楽施設が多数ある。公式マスコット「けっばるべあ」がいる。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>23</td> <td>5</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>13</td> <td>21</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36</td> <td>26</td> <td>53</td> <td>49</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>189</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 弘前大、青森公立大、秋田県立大、青森大、青森中央学院大、八戸工業大、盛岡大、東北学院大、仙台大、東北芸術工科大、立正大 など ■就職: 自衛官候補生、青森銀行、みちのく銀行、青い森鉄道、ホテル青森、ユニバース、日本郵便東北支社、JFEウイング、はとバス など								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	23	5	17	15	5	1	66	女	13	21	36	34	18	1	123	計	36	26	53	49	23	2	189
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	23	5	17	15	5	1	66																																					
女	13	21	36	34	18	1	123																																					
計	36	26	53	49	23	2	189																																					
特色ある教育活動	■ 2・3年次の課題研究の時間では、各自でテーマを設定して研究活動を行う。テーマは多岐にわたり、研究方法も実験、クラウドファンディング、アンケート調査など多様である。12月の学習成果発表会で校内最優秀発表を決める。 ■ 青森県教育庁の「高校生縄文案内人養成事業」に参加し、青森市の小牧野遺跡でのガイド体験等を通して、青森県の文化財の保存・活用の学習を行っている。 ■ 美術系列の発表の場として、ねぶたの家「ワ・ラッセ」、青森県総合社会教育センター、青い森信用金庫大野支店などで、毎年作品展示を行っている。平成30年度黒板アートコンクールでは北海道・東北ブロックで最高賞のエリア賞を獲得した。 ■ 部活動が盛んで、県高校総体女子総合優勝「明朗旗」獲得11回、総合準優勝「友情杯」獲得4回。全国大会では、ボート部がインターハイで2回、国体で1回優勝している。演劇部が全国大会で最優秀賞3回、優秀賞4回獲得しており、全国大会入賞数は全国1位である。活動の様子は各種メディアで取り上げられている。 ■ 結成7年目の「読み聞かせ隊」が、青森市民図書館や保育所などで、定期的に絵本の読み聞かせ活動を行っている。「読み聞かせ隊」は、県教育委員会の「ドリカム人づくり推進事業」の一つとして、夏休みに、東日本大震災復興活動のため、岩手県宮古市近隣で幼児への読み聞かせ活動や地元高校生との交流活動を行っている。																																											

青森中央高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学 科	1 年 次			2 年 次			3 年 次			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総 合 学 科	60	139	199	55	142	197	71	123	194	186	404	590

(2) 出身市町村別生徒数

青 森 市	5 5 1	
東 郡	平 内 町	1 6
	外ヶ浜町	4
	今 別 町	0
	蓬 田 村	6
南 郡	2	
上 北 郡	3	
西 郡	0	
北 郡	0	
下 北 郡	3	
そ の 他	5	
合 計	5 9 0	

(3) 通学方法(夏季)

列 車	3
バ ス	8
自 転 車	5 2 6
列 車 と バ ス	2 6
列 車 と 自 転 車	1 8
徒 歩	7
保護者運転の自家用車	2
合 計	5 9 0

学校名(課程)	浪岡高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	2	2	2	0	6																																					
学科・コース	■普通科2学級(2年次から教養コース、商業実務コース)																																											
学校の特徴	令和2年度に創立90周年をむかえた歴史と伝統のある学校で、普通科に進学を目指す教養コースと就職を目指す商業実務コースを設置している高校である。各コースともその特徴を生かしながら、校訓である「誠実 勤勉 友愛」のもと、空き缶壁画活動・北畠祭りなどの活動を通して地域社会の発展に貢献する人財育成を目指すとともに、電卓技能検定などの資格取得やバドミントン部などの部活動にも力を入れている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 青森公立大学(1人)、弘前医療福祉大学(1人)、弘前学院大学(1人)、日本大学(1人)、北翔大学(1人)、敬和学園大学(1人)</p> <p>■就職: (株)ユニバース、(株)青南商事、青森オリンパス(株)、(株)協和輸送、日本通運(株)仙台航空支店</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	5	0	8	14	2	3	32	女	2	4	5	8	1	0	20	計	7	4	13	22	3	3	52
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	5	0	8	14	2	3	32																																					
女	2	4	5	8	1	0	20																																					
計	7	4	13	22	3	3	52																																					
特色ある教育活動	<p>■進学指導や資格取得など本校独自の特色ある取組(県事業を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高校生の就職総合支援プロジェクト事業」、「進学力パワーアッププログラム」キャリア形成講座を夏季休業中は3学年対象に、冬季休業中は2学年対象に講師を招き講義や実演を実施し、就職に向けてのキャリア教育を行っている。危険物取扱者資格取得のための講習会を夏季・冬季休業中に講師を招いて全学年希望者に実施し、職業に直結する資格取得に向けた取組を行っている。県内外の大学等から複数の講師を招き、進路選択の幅を広げることを目的に、1・2学年(3学年は希望者)を対象に大学模擬講義を実施している。 <p>■地域・企業等と連携した教育活動(県事業を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事力養成推進事業 2学年の生徒全員を対象に、キャリア教育の一環として、3日間地区の事業所を中心に、企業等の協力を得ながらインターンシップを実施している。総合的な探究の時間を活用し、事前には事業所探究を、事後には礼状書き・報告書の作成、1学年への企業説明を兼ねたプレゼンテーション(報告会)を実施している。 <p>■地域と連携した教育活動(探究活動)、地元の祭りへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学年「総合的な探究の時間」を活用した、「地域の歴史と祭りについて学ぶ」というテーマで、浪岡地区の歴史講義(北畠氏)やねぶたに関する活動を実施している。 <p>■ねぶたや灯籠を制作し、1・2学年全員で北畠祭りへ参加</p>																																											

浪岡高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学年 学科 性別		第1学年	第2学年	第3学年	計
		普 通 科	男	15	19
	女	14	17	22	53
	計	29	36	57	122

(2) 出身市町村別生徒数

	青森市浪岡	左記以外の青森市	藤崎町	左記以外の南郡	弘前市	黒石市	五所川原市	平川市	その他	計
計	48	47	5	0	4	2	1	2	13	122

(3) 通学方法

	自転車	徒歩	列車	バス	その他	計
計	54	8	54	1	5	122

学校名(課程)	青森工業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	7	7	7	0	21																																					
学科・コース	■工業科7学級(機械科、電子機械科、電気科、電子科、情報技術科、建築科、都市環境科)																																											
学校の特徴	<p>令和4年に110周年を迎える歴史と伝統の学校である。</p> <p>本校は7学科で構成され、それぞれの学科において、将来の日本社会を担う工業人の育成に力を注いでいる。さらに、資格取得や部活動の指導を通じた人間力の育成も学校の柱としている。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>44</td> <td>106</td> <td>3</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37</td> <td>4</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>120</td> <td>3</td> <td>242</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 青森公立大学(1人)、公立はこだて未来大学(1人)</p> <p>■就職: 東北電力株【専門職】(3人)、日本製鉄株【製造業】(5人) 青い森鉄道株【専門職】(1人)、青森市役所【専門職】(2人)、 青森県庁【専門職】(1人)</p>								進学			就職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	37	2	27	44	106	3	219	女	0	2	3	4	14	0	23	計	37	4	30	48	120	3	242
	進学			就職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	37	2	27	44	106	3	219																																					
女	0	2	3	4	14	0	23																																					
計	37	4	30	48	120	3	242																																					
特色ある教育活動	<p>■平成27・28年度探究型学習によるたくましい高校生育成事業(県事業)</p> <p>研究指定校に選ばれ、都市環境科が人工漁礁の製作とアマモを活用した「海域環境改善」に取り組んだ。現在でもアマモを利用した陸奥湾の環境保全についての研究を進めている。</p> <p>■青森大学との高大連携事業(平成26年度～)</p> <p>現在は、アプリケーションや製品の開発を目的とした事業とETロボコンへの参加を中心に実施している。アプリケーション開発は年間30回程度の活動をしている。ETロボコンでは主に大学側が設計を担当、高校側がコース走行プログラムを担当し、一昨年度は東北大会2位で、全国大会(チャンピオンシップ大会)へ出場した。昨年度は東北大会3位であった。</p> <p>■ドリカム人づくり推進事業(県事業)</p> <p>令和元年度はねぶた部が地域に密着した元祖浅虫ねぶたへ参加した。今年度は、自動車部がエコラン出場に向けて、より燃費の良い自動車の製作を目標に活動している。加工技術等について地域の技術者からアドバイスをいただきながら製作しており、その結果が期待される。</p> <p>■工事担任者試験DD第3種の資格取得</p> <p>電子科2学年を対象に行っている。取得のための養成課程で所定の授業を受け、修了試験に合格することによって、国家試験免除で資格を取得することができる。電子科では、平成27年度から継続実施しているが、工業高校で実施している例は稀であるとともに、東北地方では唯一である。全国的にも珍しい教育活動である。</p>																																											

青森工業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

科	1学年		2学年		3学年		合計	
	32 1	33 33	34 0	34 34	31 3	34 34	97 4	101
R	33 2	35 35	33 2	35 35	33 2	35 35	99 6	105
E	33 1	34 34	32 2	34 34	34 0	34 34	99 3	102
C	32 3	35 35	33 2	35 35	31 4	35 35	96 9	105
S	31 4	35 35	29 6	35 35	30 5	35 35	90 15	105
A	25 10	35 35	32 3	35 35	25 9	34 34	82 22	104
U	23 9	32 32	22 10	32 32	29 6	35 35	74 25	99
計	209 30	239	215 25	240	213 29	242	637 84	721

(2) 出身市町村別生徒数

学 科	学 年	青 森 市	東 郡				上北郡		五 所 川 原 市	つ が る 市	む つ 市	そ の 他	合 計
			外 ヶ 浜 町	平 内 町	蓬 田 村	今 別 町	野 辺 地 町	東 北 町					
機 械 科	1	31	2										33
	2	31	1				1					1	34
	3	32	1			1							34
	計	94	4	0	1	0	1	0	0	0	0	1	101
電 子 機 械 科	1	33	1				1						35
	2	31	1	1	1		1						35
	3	32	1	2									35
	計	96	3	3	1	0	2	0	0	0	0	0	105
電 気 科	1	32		1			1						34
	2	33					1						34
	3	29	1	2			2						34
	計	94	1	3	0	0	4	0	0	0	0	0	102
電 子 科	1	34										1	35
	2	32	1	1		1							35
	3	31		2	2								35
	計	97	1	3	2	1	0	0	0	0	0	1	105
情 報 技 術 科	1	27	4	1			1	2					35
	2	31	1	3									35
	3	29		1			5						35
	計	87	5	5	0	0	6	2	0	0	0	0	105
建 築 科	1	32		1			2						35
	2	30		1	1		2					1	35
	3	32		1		1							34
	計	94	0	3	1	1	4	0	0	0	0	1	104
都 市 環 境 科	1	29		2	1								32
	2	31		1									32
	3	34		1									35
	計	94	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	99
総計		656	14	21	6	2	17	2	0	0	0	3	721

(3) 通学方法

		列 車	バ ス	自 転 車	徒 歩	そ の 他	計
1年	夏季	136	3	98	0	2	239
	冬季	194	26	0	15	4	239
2年	夏季	151	4	85	0	0	240
	冬季	192	21	0	5	19	240
3年	夏季	153	2	82	3	2	242
	冬季	182	18	0	14	28	242

		列 車	バ ス	自 転 車	徒 歩	そ の 他	計
夏季		440	9	265	3	4	721
冬季		568	68	0	34	51	721

学校名(課程)	青森商業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計	
		(R2.5.1)	5	5	6	0	16	
学科・コース	【くくり募集】 1学年：(商業科5学級(くくり募集)) 2学年：(商業科4学級(商業コース3、会計コース1)、情報処理科1学級) 3学年：(商業科5学級(商業コース4、会計コース1)、情報処理科1学級)							
学校の特徴	令和2年度に創立118周年を迎えた歴史と伝統のある学校で、商業人としての高い理想と高度な知識・技能を持ち、社会に貢献できる人財を育成することを教育目標としている。商業科、情報処理科を設置し、社会のニーズに応えられるよう、最新の情報機器等を活用した学習を展開し、資格取得も奨励し進路の実現に取り組んでいる。運動部・文化部の活動も盛んで、文武両道を目指して日々練習に励んでいる。							
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 ※卒業生は232名。就職進学が再掲。 (単位：人)							
	進 学			就 職		その他	合計	
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外			
	男	35	1	25	25	11	0	97
	女	19	11	33	55	19	0	137
	計	54	12	58	80	30	0	234
	【主な進路先】 ■進学：青森公立大学(2人)、岩手県立大学(1人)、駒澤大学(2人)、専修大学(1人)、青森大学(12人)、青森中央学院大学(13人)、青森中央短期大学(6人)、明の星短期大学(5人) ■就職：自衛隊(6人)、青森銀行(1人)、みちのく銀行(1人)、青い森信金(1人)、日本郵便(1人)、北海道旅客鉄道(1人)、アイリスオーヤマ(3人)、ヨークマート(2人)、成城石井(1人)							
特色ある教育活動	■起業体験プログラムの取組を通じた起業家教育 2・3学年の各クラスは、株主となる1学年生徒と学校に対し、事業計画のプレゼンを行い投資を募る。その後集めた資金を元手に模擬株式会社を設立し、仕入・販売計画を立て、文化祭において商品の販売活動に取り組んでいる。文化祭終了後には株主総会を開催し、株主に対して事業報告、決算報告及び配当決議を行うなど、株式会社を起業・運営する一連の流れを体験的に学習する教育活動を行っている。 ■台湾の高校生と連携した商品開発(ドリカム人づくり推進事業(県事業)の活用) 昨年度から本格的に連携をスタートさせ、台湾人が好む青森県の特産物を使った新商品の開発を進めている。昨年11月には本校生徒が台湾へ行き、日台交流イベントにおいてテストマーケティングを実施した。12月には台湾の高校生が本県を訪問し、パッケージデザインを決定した。現在は新型コロナウイルス感染症の影響により互いに往来が難しくなったため、テレビ会議システムによる打合せを実施するなど、開発商品の販売に向けて準備を進めている。 ■商業科の拠点校としての取組 商業の学習分野を商業科の拠点校である本校が中心となり、生徒及び教員対象の研修や資格取得に関する講習会等の企画・運営を行っている。							

青森商業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学 科	性 別	1 年	2 年	3 年	計		
商業・情報処理科	男	90	/	/	90		
	女	110			110		
商 業 科	男	/			64	85	149
	女				91	104	195
情 報 処 理 科	男				14	13	27
	女				26	26	52
合 計			200	195	228	623	

(2) 出身市町村別生徒数

市 町 村		1 年	2 年	3 年	計
青	森 市	175	166	200	541
八	戸 市	0	1	1	2
弘	前 市	1	0	1	2
十	和 田 市	1	1	0	2
五	所 川 原 市	1	0	1	2
つ	が る 市	0	0	1	1
三	沢 市	0	0	1	1
む	つ 市	2	1	1	4
東 郡	平 内 町	10	7	11	28
	外 ケ 浜 町	1	8	2	11
	今 別 町	0	1	2	3
	蓬 田 村	3	1	2	6
上北郡	野 辺 地 町	2	6	2	10
	横 浜 町	1	1	0	2
	東 北 町	0	1	0	1
	六 ケ 所 村	0	0	1	1
下北郡	大 間 町	0	0	1	1
	東 通 村	1	0	0	1
三戸郡	階 上 町	1	0	0	1
	五 戸 町	1	0	0	1
県 外	岩手県盛岡市	0	0	1	1
	宮城県多賀城市	0	1	0	1
合 計		200	195	228	623

(3) 通学方法

区 分	徒 歩	バ ス	自 転 車	列 車	列車 バス 併用	列車 自転車 併用	その他	計
1 年	5	0	146	18	0	25	6	200
2 年	6	1	122	20	2	41	3	195
3 年	4	0	162	15	1	35	11	228
合 計	15	1	430	53	3	101	20	623

学校名(課程)	北斗高校(定時制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	3	3	3	3	12
学科・コース	【単位制・3部制】 ■普通科3学級(午前部、午後部、夜間部)						
学校の特徴	昭和7年、青森市立青森青年学校として創立され、平成24年に創立80周年を迎えた。これまで、4,800余名の卒業生が青森市はもとより、県内外において活躍している。平成4年から、県内初の単位制による定時制高等学校となり、平成6年から昼間部(現在の午後部)、更に平成18年からは午前部も設置された。「自主・協和・研学」の校訓のもと、基礎学力と教養及び基本的な生活習慣の習得に力を入れている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	5	1	9	11	4	2	32
女	1	5	6	16	3	0	31
計	6	6	15	27	7	2	63
	【主な進路先】 ■進学: 青森大学(2人)、青森中央学院大学(1人)、学習院大学(1人)、札幌学院大学(1人)、青森明の星短期大学(2人)、青森中央短期大学(3人) ■就職: AUKプレート株【機械オペレーター】(1人)、株工藤パン【製造スタッフ】(1人)、ジー・エス・エフ東日本支社【清掃業務】(1人)、(一社)慈恵会【介護員】(1人)、西濃運輸株【運転手】(1人)						
特色ある教育活動	■通級による指導の実施(平成30年度～) 生徒の困り感の改善・克服を目指した指導が行われ、自立や社会参加を図るために必要な能力の育成につながることを期待される。また、学校全体で「わかる授業」の実践に取り組んでおり、ユニバーサル・デザインの視点を持った授業づくりの充実に努めている。 ■スクールソーシャルワーカー配置事業、スクールライフサポーター配置事業(県事業) 特別な支援を要する生徒への対応について、スクールソーシャルワーカーによる本人、保護者、指導者への適切な助言が様々なケースにおいて大変役立っている。スクールライフサポーターによる授業時の支援は、一斉授業において個別の対応が必要な生徒にとって、授業内容の理解につながっている。 ■特別な支援を要する生徒に対し、地域の事業所等において産業現場等における実習を実施 就労体験で自己の適性や課題が明らかになることにより、自立や社会参加のための必要な能力を身につけるとともに、卒業後の進路選択、決定につながる貴重な機会となっている。						

北斗高校（定時制）

【生徒の状況】

〔午前部〕

(1) 在籍生徒数

科	性別	年次				合 計
		1年次	2年次	3年次	4年次	
普通科	男	23	20	14	6	63
	女	18	19	13	8	58
合 計		41	39	27	14	121

(2) 出身市町村別生徒数

市町村別	年次				合 計
	1年次	2年次	3年次	4年次	
青 森 市	35	37	26	12	110
八 戸 市				1	1
弘 前 市			1		1
三 沢 市		1			1
む つ 市	1				1
東 津 軽 郡	2	1			3
西 津 軽 郡	1				1
上 北 郡	1			1	2
下 北 郡	1				1
合 計	41	39	27	14	121

(3) 通学方法

区 分	バ ス	電 車	自 転 車	徒 歩	自 動 車	そ の 他
合 計	14	7	88	5	0	7

〔午後部〕

(1) 在籍生徒数

科	性別	年次				合 計
		1年次	2年次	3年次	4年次	
普通科	男	20	13	15	14	62
	女	14	20	11	6	51
合 計		34	33	26	20	113

(2) 出身市町村別生徒数

市町村別	年次				合 計
	1年次	2年次	3年次	4年次	
青 森 市	32	30	21	18	101
東 津 軽 郡	1	1	2	1	5
上 北 郡	1	2	1		4
下 北 郡					
県 外			2	1	3
合 計	34	33	26	20	113

(3) 通学方法

区 分	バ ス	電 車	自 転 車	徒 歩	自 動 車	そ の 他
合 計	17	9	59	15	0	13

〔夜間部〕

(1) 在籍生徒数

科	性別	年次				合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	
普通科	男	6	2	6	5	19
	女	1	0	5	6	12
合計		7	2	11	11	31

(2) 出身市町村別生徒数

市町村別	年次				合計
	1年次	2年次	3年次	4年次	
青森市	7	2	11	11	31
合計	7	2	11	11	31

(3) 通学方法

区分	バス	電車	自転車	徒歩	自動車	その他
合計	1	0	20	4	0	6

学校名(課程)	北斗高校(通信制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			2	2	3	0	7																																					
学科・コース	【単位制】 ■普通科2学級(3年次は3学級)																																											
学校の特徴	<p>通信制の課程は、平成11年4月に開設され令和元年度に創立20周年を迎えた。教育目標「社会人としてしっかりと生きていく力を育む」を目指し、毎日登校することが困難でも、自ら学習する意欲のある生徒、学業と仕事を両立させたい生徒、学ぶことを通して人生を豊かにしたい生徒が「自分のペース」で学習することができる。10代から30代までの幅広い年齢層の生徒が在籍している。</p> <p>■通信制の学習方法</p> <p>(1) 自学自習を補うため、各教科担当から直接指導を受けるスクーリング(面接指導)があり、日曜日と水曜日それぞれ月3~4回、月曜日に前期・後期それぞれ10回実施される。各科目で必要な出席回数が決めている。</p> <p>(2) 各科目の単元ごとに学習のまとめとしてレポート(報告書)を作成、提出し、添削指導を受け合格しなければいけない。各科目で提出するレポートの枚数が決めている。</p> <p>■単位制の特徴</p> <p>(1) 留年がなく一度修得した単位は無効にならない。</p> <p>(2) 他の高校で修得した単位や高等学校卒業程度認定試験の合格科目も、卒業に必要な単位として認定される。</p> <p>(3) 必履修科目を含め、卒業に必要な74単位以上修得すれば最短3年で卒業できる。</p> <p>(4) 単位を半期認定しているので、前期(4月~9月)、後期(10月~3月)それぞれの単位が修得できる。</p> <p>(5) 平成30年度から後期入学生を募集している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>24</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学先: 岩手大学(1人)、東北女子短期大学(1人) 埼玉東萌短期大学(1人)、青森県営農大学校(1人) 青森市医師会立青森准看護学院(1人)</p> <p>■就職先: 青森日産自動車株【営業】(1人)、(有)須藤善石油【事務】(1人)、(株)流通サービス【事務企画】(1人)、高栄警備保障株【セキュリティ・アテンダントスタッフ】(1人)、アースサポート株アースサポート仙台【介護】(1人)</p>								進 学			就 職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	0	0	1	1	0	9	11	女	1	2	8	2	6	15	34	計	1	2	9	3	6	24	45
	進 学			就 職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	0	0	1	1	0	9	11																																					
女	1	2	8	2	6	15	34																																					
計	1	2	9	3	6	24	45																																					
特色ある教育活動	<p>■卒業後の進路実現に向けた進路指導として、進学講習(前期、後期それぞれ10回)、就職対策講習(7回)を実施している。さらに、外部機関と連携した企業見学会やジョブカフェあおもり・ハローワークヤングプラザ訪問を実施している。</p> <p>■遠足、北斗祭、ボウリング教室及び芸術鑑賞教室等の学校行事やホームルーム活動は、特別活動に単位認定される。</p>																																											

北斗高校（通信制）

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

(5/1現在)

	1年次		2年次		3年次		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
男女別計	10	8	13	24	13	43	36	75
年次別計	18		37		56		111	

(2) 出身市町村別生徒数

	1年次	2年次	3年次	合計
青森市	12	19	36	67
八戸市		1		1
弘前市	1	1	5	7
黒石市				
三沢市		1		1
むつ市		6	6	12
五所川原市	1	1	2	4
つがる市		1		1
平川市				
十和田市			1	1
東津軽郡				
西津軽郡				
南津軽郡	1			1
北津軽郡	1	1		2
中津軽郡				
上北郡	2	5	4	11
下北郡		1	2	3
県外				
計	18	37	56	111

(3) 通学方法

	バス	電車	電車・ バス併用	自転車	徒歩	自動車	その他	合計
1年次	3	3	1	7	1	1	2	18
2年次	4	1	7	13		1	11	37
3年次	6	3	7	10		9	21	56
計	13	7	15	30	1	11	34	111

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (西北地区)

目 次

【全日制課程】

五所川原高校	1
木造高校	3
鱒ヶ沢高校	5
五所川原農林高校	7
五所川原工科高校	9

【定時制課程】

五所川原高校	10
--------	----

学校名(課程)	五所川原高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	5	5	5		15
学科・コース	【くくり募集】 ■ 1学年：普通科・理数科5学級(くくり募集) ■ 2学年：普通科4学級、理数科1学級 ■ 3学年：普通科4学級、理数科1学級						
学校の特徴	令和元年度に創立110周年を果たした県下有数の歴史ある伝統校である。入学時はくくり募集を実施、2学年から県内唯一となる理数科を設置している。生徒は、「敬愛、叡知、進取」の校訓の下、学業は勿論、生徒会活動、27ある部活動・同好会、学校行事等に積極的に取り組み、学校標語「力行天下第一」を体現している。高い志をもつ友と切磋琢磨しながら学ぶ姿は地域から絶大なる信頼を得ている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位：人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	72	0	2	1	0	17	92
女	79	3	8	1	1	12	104
計	151	3	10	2	1	29	196
	【主な進路先】 ■ 進学：北海道大学、弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、山形大学、東京工業大学、信州大学、茨城大学、新潟大学、東京学芸大学、青森県立保健大学、東京都立大学、津田塾大学、中央大学、法政大学、明治大学						
特色ある教育活動	■ 五所川原市が立ちねぶた祭りを復活させてから21年連続して参加している。1～3年の各学年、同窓生が一日ずつ踊り手となり、祭り期間5日間のうち4日間市内を練り歩いている。在校生に加えて、卒業生、保護者の協力を得ながらの制作は、4月に始まり、6月からの紙貼りで本格化し、8月の祭りでフィナーレを迎える。生徒達は、異年齢の人々との触れ合いを通して、郷土愛を育み、社会性、公共性を身につけながら、何よりも感謝の気持ちを醸成する一助となっている。 ■ 県内唯一の理数科では、県事業「未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業」の総合発表会を最終目標として、12月に開催される「青森県高等学校理数系課題研究発表会(弘前大学が会場)」や「高校生科学研究コンテスト(青森大学が主催)」に向けて、数学、理科の分野で生徒自らがテーマを探し求めて課題研究を行っている。部活動の日々の活動、大会がある中で、平日の放課後や土日に時間を捻出し、グループを作って、実験、観察、データ整理、分析、考察といった活動を体験することにより、主体的かつ探究的な態度を育成している。 ■ 年3回開催されている「理数科講演会」、校内課題研究発表会、関東方面研修旅行、1、2年生合同の学習合宿等に取り組んでいる理数科の生徒は、普通科の生徒にも刺激を与えており、もとより中学生体験入学や授業公開時には地域の中学生にも学ぶことの意義や切磋琢磨する姿勢の大切さを少なからず気づかせてもいる。						

五所川原高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

科	学 年		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	計
	性 別					
普 通 科	男			66	65	131
	女			86	90	176
	計			152	155	307
理 数 科	男			21	26	47
	女			20	13	33
	計			41	39	80
普通科・理数科	男		88			88
	女		107			107
	計		195			195
合 計	男		88	87	91	266
	女		107	106	103	316
	計		195	193	194	582

(2) 出身市町村別生徒数

市 町 村		学 年			計
		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	
五 所 川 原 市		97	109	103	
つ が る 市		43	37	37	
弘 前 市		3	2	1	
西郡	鱒ヶ沢町	9	9	5	
	深 浦 町	10	5	5	
北郡	板 柳 町	9	8	5	
	鶴 田 町	17	16	19	
	中 泊 町	7	7	13	
南郡	藤 崎 町	0	0	0	
そ の 他		0	0	8	
計		195	193	194	582

(3) 通学方法

区 分	列 車			バ ス			列 車 バ ス 併 用			自 転 車			徒 歩			自 転 車 列 車 併 用			自 転 車 バ ス 併 用			そ の 他			計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
計	37	35	38	4	12	6	0	0	0	75	86	85	13	7	1	17	11	9	2	0	1	47	42	54	582
	110			22			0			246			21			37			3			143			

学校名(課程)	木造高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	4	4	4		12
学科・コース	【単位制】 ■総合学科4学級(2年次より、人文科学、自然科学、流通ビジネス、情報システムの4系列からいずれかを選択)						
学校の特徴	<p>明治35年(1902年)開設の旧制中学校を始祖とする、「西北五」地域における伝統校である。高等学校としては約2万2千名の卒業生(稲垣、車力分校、深浦校舎を含む)を誇り、県内外の多方面で活躍している。</p> <p>平成15年度からは、普通科と商業科を統合した総合学科としてスタートし、進学、公務員、就職と生徒のあらゆる進路希望に応じたカリキュラム編成や、きめ細やかな指導により、着実に成果を挙げている。</p>						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	45	0	6	7	0	8	66
女	44	10	21	8	6	1	90
計	89	10	27	15	6	9	156
	【主な進路先】 ■進学: 弘前大学(11人)、岩手大学、秋田大学、千葉大学、青森公立大学(5人)、青森県立保健大学(8人) 他 ■就職: 公務員(青森県庁(6人)、つがる市(3人)、弘前市、五所川原市、鶴田町他)、飛島歯科医院、日本郵便 他						
特色ある教育活動	■「文武両道」を具現化する校風 <p>校訓「誠實、勤勉、親切」を具現化する本校生徒は、学習面はもとより、部活動や礼節の面においても地域から高い評価を得ており、さらなる飛躍を期待されている。進路面においては、国公立大学の進学実績が向上しており、多くの生徒が進学している。部活動では、陸上競技部、柔道部が常に全国大会へ駒を進めており、文化部においても競技かるた部、吹奏楽部、演劇部の躍進がめざましい。</p> ■地域とともに歩む「学び」 <p>「総合的な探究の時間」の学習、流通ビジネス系列の学習などにおいて、地域との連携や貢献を主眼とした学びの場が設けられている。「駅からハイキング」(JR東日本)のガイドや、商品の開発などを通して地域の課題解決に向けた取組を行っており、つがる市をはじめとした周辺地域からも大きな「人財」として注目されている。また、吹奏楽部も各種イベント等における演奏の依頼が多数あり、その爽やかなパフォーマンスによって地域の活性化に寄与している。</p> ■独自の公務員試験対策 <p>本校では公務員(国家・地方)希望者も多く、民間の予備校と提携して2年次の早期から対策を行い、ひたむきな生徒の努力と相まって、例年多数の公務員試験合格者を出しており、合格者数は県内の高等学校では上位である。この点においても保護者や中学生からの本校への期待が高く、本校進学の大きな理由となっている。</p>						

木造高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科・性別		年次	1年次	2年次	3年次	合計
総合学科	男		80	63	73	216
	女		80	78	83	241
	計		160	141	156	457

(2) 出身市町村別生徒数

市町村別 性別	つがる市	五所川原市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町	板柳町	その他	合計
男	85	65	4	12	19	13	11	7	216
女	86	75	17	12	20	12	9	10	241
計	171	140	21	24	39	25	20	17	457

(3) 通学方法

区分	汽 車		バ ス			自動車・バス併用		自家 用車	自転車	徒歩	合計
	五所川原 方面	鱒ヶ沢 方面	五所川原 方面	十 三 方 面	鱒ヶ沢 方面	五所川原 方面	鱒ヶ沢 方面				
計	62	52	23	25	0	2	1	138	145	9	457

学校名(課程)	鱒ヶ沢高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	1	1	1		3																																					
学科・コース	■普通科1学級(2年次より2つのコースに分かれる) Aコース…就職・専門学校希望 Bコース…四年制大学・短期大学・看護系専門学校希望																																											
学校の特徴	かつての大規模校の面影は無くなったが、校訓「自律、進取、和協」のもと、1年次では義務教育段階のつまずきを把握した上で英数の習熟度少人数授業を展開した個の学力に応じたきめ細かい指導を行い、2・3年次では(上記に示した)各コース10名前後での授業を展開し、少人数のメリットを最大限に活用した教育を提供するなど、生徒一人ひとりを大事にする手厚い支援・指導を行うとともに、あらゆる教育活動を通した「生きる力」の育成と地域とともに生徒の未来を創る取組を行っている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right;">(就職進学者1名を含む)</p> 【主な進路先】 ■進学: 青森公立大(1人)、弘前学院大(1人)、東北女子短大(3人) ■就職: (県内) 鱒ヶ沢町役場(2人)、日本郵便(2人)、水軍の宿(1人)、深浦消防署(1人) (県外) 青木石油【GSスタッフ】(1人)、SUBARU【技能】(1人)、東ハト【生産】(1人)、堀ノ内病院【看護補助】(1人)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	2	1	1	7	7	0	18	女	0	2	6	5	4	0	17	計	2	3	7	12	11	0	35
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	2	1	1	7	7	0	18																																					
女	0	2	6	5	4	0	17																																					
計	2	3	7	12	11	0	35																																					
特色ある教育活動	■資格取得の奨励 資格取得(主に商業系)に積極的に取り組み、1級取得者を毎年輩出している。過去には全商3種目1級合格、情報処理検定4種目1級合格、電卓検定四段合格と頑張った生徒もいる。昨年度も情報処理検定3種目1級合格者が出ている。 ■地域と連携した行事 学校行事(流し踊り)や授業(生と性を考える教室)の実施、ボランティア活動(白神ブナ植林・保育ボランティア・鱒ヶ沢トライアスロン等)への参加等で異年齢者との関わりを持たせながら、地域への貢献を通して自己有用感や自己肯定感を育てている。今年度は、町伝統の流し踊りを小中高で合同実施する計画であったがコロナ禍により行事は中止となった。次年度は、鱒ヶ沢中学校との合同運動会も検討中であり、さらなる地域と密着した関係を築いていきたい。 ■SBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)活動 鱒ヶ沢町から金銭的な支援を得ながら、地元企業や大学からはプレゼンテーションや商品の共同開発の誘いを受けイベントの出店依頼も数多くあり、生徒たちは意欲的に活動している。文科省や県教委・各種団体からも高い評価を得ている。昨年度は、県外高校生との交流を通して「鱒高胸キュンポスター」を作成し、地域活性化に協力した。今年度は、町役場の若手職員が中心となって町の活性化に係る組織ができあがり、これに本校生徒が積極的にアイデアを出すなど、地域をリードする立場になりつつある。																																											

鱒ヶ沢高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数（5月1日現在）

普通科	第1学年	第2学年	第3学年	計
男	6	13	9	28
女	4	10	9	23
計	10	23	18	51

(2) 出身市町村別生徒数

性別	学年	鱒ヶ沢町	深浦町	つがる市	弘前市	合計
男	1	3	2	1	0	6
	2	12	0	0	1	13
	3	6	2	1	0	9
女	1	4	0	0	0	4
	2	7	1	2	0	10
	3	7	2	0	0	9
合計		39	7	4	1	51

(3) 出身中学校別生徒数

性別	学年	鱒ヶ沢	大戸瀬	深浦	森田	木造	裾野	合計
男	1	3	2	0	0	1	0	6
	2	12	0	0	0	0	1	13
	3	6	1	1	0	1	0	9
女	1	4	0	0	0	0	0	4
	2	7	0	1	1	1	0	10
	3	7	2	0	0	0	0	9
合計		39	5	2	1	3	1	51

(4) 通学方法別生徒数

列車	バス	自転車	徒歩	送迎	合計
8	14	4	7	18	51

学校名(課程)	五所川原農林高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			4	4	4		12																																					
学科・コース	■農業科4学級(生物生産科、森林科学科、環境土木科、食品科学科)																																											
学校の特徴	生物生産科、森林科学科、環境土木科、食品科学科の4つの科を設置している高校である。各科ともその特徴を生かしながら、農業教育を通して「志の高い人材」育成を目指すとともに、GLOBALG. A. P.をはじめとする認証取得に関わる取組や資格取得、部活動やボランティア活動にも力を入れている。																																											
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>30</td> <td>41</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学:新潟大学(1人)、東京農業大学(2人)、酪農学園大学(1人)、札幌大学(1人)、青森大学(2人)、弘前学院大学(1人)、青森県営農高等学校(5人)</p> <p>■就職:国家公務員(4人)、北海道庁(4人)、一般曹候補生(4人)、青森アップルシュウス(株)(3人)、(株)ユニバース(2人)、(株)キタセキ(2人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	7	0	17	33	21	1	79	女	3	8	13	8	9	4	45	計	10	8	30	41	30	5	124
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	7	0	17	33	21	1	79																																					
女	3	8	13	8	9	4	45																																					
計	10	8	30	41	30	5	124																																					
特色ある教育活動	<p>■農業の国際認証取得</p> <p>平成27年に日本の高校で初となる「GLOBALG. A. P. 認証」を取得し、平成30年には「FSC 森林管理認証」を取得した。いずれも、持続可能な農業及び林業のため、生徒自らが改善点に気づき問題の解決を図る取り組みである。認証取得の成果を活かし、海外での販売実習やGLOBALG. A. P. 認証のためのコンサルタント活動を行いコミュニケーション力等の育成につなげている。</p> <p>■地域及び企業との連携</p> <p>地域の企業から講師を招聘し、先進的な農業機械の実演を行うスマート農業講習会の実施や特別非常勤講師による技術指導や出前講座、県農林水産課と連携した幼稚園児に対する食育講座に取り組んでいる。また、市役所や商工会議所主催のビジネスプランコンテストにも参加している。地域とのつながりを大切にしながら、積極的に地域の教育資源を活用し専門性の高い授業に取り組んでいる。</p> <p>■学び直しによる基礎基本事項の定着</p> <p>3年間、学校設定科目「五農チャレンジ」と呼ばれる学び直しの時間を設定し国語、数学、英語の基礎知識の定着及び学力の向上に取り組んでいる。テキストを活用し、自学自習により自ら問題に取り組み、その内容の確認テストをクリアすることで、生徒にできるという実感を少しでも持たせるきっかけになっており、自己肯定感の向上につながっている。</p> <p>■生産物の販売実習(五農市)</p> <p>生徒が育てた米、野菜やりんご、加工した味噌、ジャム、ジュース等を毎月開催している五農市で生徒が販売実習をしている。また、地域イベント等に参加し、積極的に販売活動をしている。</p>																																											

五所川原農林高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	学年		第1学年			第2学年			第3学年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
生物生産科 (G)	14	21	35	17	17	34	15	19	34	46	57	103		
森林科学科 (F)	35	0	35	35	0	35	28	2	30	98	2	100		
環境土木科 (E)	32	3	35	29	6	35	31	4	35	92	13	105		
食品科学科 (C)	2	33	35	5	30	35	2	32	34	9	95	104		
合計	83	57	140	86	53	139	76	55	133	245	167	412		

(2) 出身市町村別生徒数

区分	学年	生物生産科 (G)				森林科学科 (F)				環境土木科 (E)				食品科学科 (C)				合計			
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
五所川原市		20	18	14	52	18	13	7	38	11	17	13	41	19	15	20	54	68	63	54	185
つがる市		6	5	9	20	8	11	16	35	13	9	11	33	3	5	8	16	30	30	44	104
弘前市		1	1	2	4	1		1	2		1		1		1		1	2	3	3	8
青森市			1	1	2					1			1					1	1	1	3
北津軽郡	板柳町	1		1	2					2			2	1	2	2	5	4	2	3	9
	鶴田町	2	4		6	1	3	4	8	1	1	2	4	1	2	1	4	5	10	7	22
	中泊町		2	5	7	5	2	1	8	4	3	5	12	7	7	2	16	16	14	13	43
西津軽郡	鱒ヶ沢町	2	2	1	5	2	3		5	1	1	4	6	4	2	1	7	9	8	6	23
	深浦町	3	1	1	5		2		2	2	2		4		1		1	5	6	1	12
南津軽郡																					
その他						1	1	2		1		1							2	1	3
合計		35	34	34	103	35	35	30	100	35	35	35	105	35	35	34	104	140	139	133	412

(3) 通学方法

区分	学年	生物生産科 (G)				森林科学科 (F)				環境土木科 (E)				食品科学科 (C)				合計			
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
1	J R + 津軽鉄道	8	5	13	26	5	10	4	19	8	7	6	21	4	10	3	17	25	32	26	83
2	バス + 津軽鉄道	2	1	1	4		1	2	3	4			4	3	1	1	5	9	3	4	16
3	自転車 + 津軽鉄道	2	7	1	10	4	4	1	9	2	6	1	9	6	6	4	16	14	23	7	44
4	徒歩 + 津軽鉄道	2	1		3	3			3	1	2	3	6	5	4	2	11	11	7	5	23
5	自動車 + 津軽鉄道													1			1				1
6	自転車	14	10	8	32	16	17	6	39	12	16	9	37	6	8	6	20	48	51	29	128
7	徒歩	2		2	4		3	1	4	1	2	1	4	1	3		4	4	8	4	16
8	自動車(家人)	5	6	9	20	7		11	18	7	2	15	24	9	3	15	27	28	11	50	89
9	その他		4		4			5	5							3	3		4	8	12
合計		35	34	34	103	35	35	30	100	35	35	35	105	35	35	34	103	140	139	133	412

学校名(課程)	五所川原工科高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)					

学科・コース

- 普通科2学級(2年次より、文類型、理類型を選択)
- 工業科3学級(機械科・電子機械科・電気科)

学校の特徴

普通科と工業科を併置し、令和3年4月に現在の五所川原工業を校舎として、金木、鶴田、板柳、五所川原工業を統合する形で新たに開校する。

令和3年度は、本校1年生と五所川原工業の2,3年生が同じ校舎で学ぶ。

校訓「誠実」「創造」「礼節」のもと、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び工業教育を実践し、幅広い知識と教養を身に付けさせ、主体的に社会の発展に寄与する人財の育成を目指す。

卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)

【進路状況全体】 (単位:人)

	進 学			就 職		その他	合 計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外		
男							
女							
計							

【主な進路先】

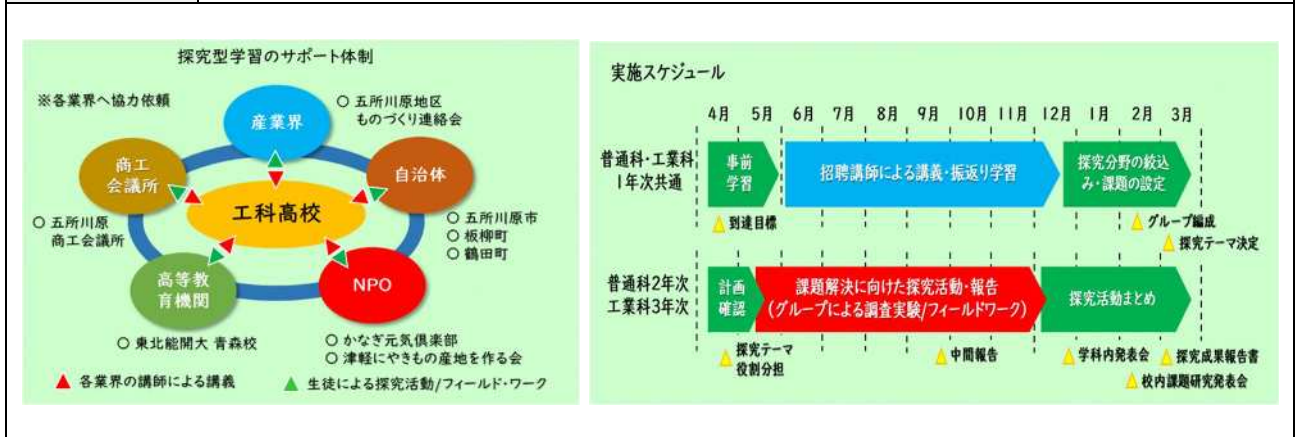
特色ある教育活動

■本校では、普通科、工業科ともに探究型学習を教育の柱に教育活動を実践する。

1年次には、共通で学習する総合的な探究の時間において、【地域産業・経済】・【環境・資源】・【人口・ジェンダー】・【健康・福祉】・【文化・芸術】・【国際理解】を探究分野とし、探究分野に関連する社会的課題について、各業界から招聘する講師を交えて広く学び、地域の様々な分野の現状と課題、地域ビジョンをイメージするなど、課題発見と探究活動の基礎作りをする。

普通科は2年次の総合的な探究の時間で、工業科は3年次の課題研究において、自らが設定する探究課題の解決に向けて、教科横断的な探究活動を通して探究型学習のサイクルを実現し、主体的な学びへと発展させていく。

この探究型学習を通して、グローバルな視点に立った新たな価値を創造できる感性、好奇心・探究心といった『課題発見力』と課題を解決するための思考力、判断力、表現力といった『問題解決力』を育み、それぞれの希望進路を獲得できる確かな学力を培う。



学校名(課程)	五所川原高校(定時制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	1	1	1	0	3
学科・コース	【単位制】 ■普通科1学級						
学校の特徴	単位制の夜間部定時制高校であり、学年を前期と後期に分けて、二期制を定めている。卒業については、3年間での卒業、4年間での卒業、いずれも可能である。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	3	0	0	1	1	1	6
女	0	0	1	3	0	3	7
計	3	0	1	4	1	4	13
	【主な進路先】 ■進学: 東北学院大学(2人)、金沢工業大学、町田福祉保育専門学校 ■就職: (株)エノモト、ヤマダ電機テックランド、(株)奥田柏縫製、ホームヘルプエム、(株)柏奥田縫製						
特色ある教育活動	■ 通信制での学習を組み合わせることにより、3年間での卒業が可能となる。 【充実した学校行事】 ・前期(4月~9月) 交通安全教室、陶芸教室、薬物乱用防止教室、県定通総体、金魚ねふた制作体験、遠足、五高祭(モザイク壁画)、心肺蘇生講習会 ・後期(10月~3月) 生活体験発表会、五所川原地区体育大会、芸術鑑賞、性教育講座、修学旅行、定時制だけの芸術鑑賞、卒業生を送る会 ■ 毎年、五高祭の時にモザイク壁画の制作を行っている。その年の立ちねふたの絵柄を縦6メートル、横4メートルの大きさで作り、校舎の外壁に吊し、来校者に見てもらっている。今年は立ちねふたまつりも五高祭も中止となったため、立ちねふたの館に寄贈し、1年間展示してもらうことになった。五所川原市広報の表紙にも採用された。生徒達にとって、とても成就感のある行事となった。						

五所川原高校（定時制）

【生徒の状況】

（1）在籍生徒数

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
普通科	男	7	2	2	/	11
	女	5	4	3		12
合計		12	6	5		23

（2）出身市町村別生徒数

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
五所川原市		8	3	2	/	13
つがる市		2	1	2		5
北津軽郡	鶴田町	2	1	1		4
	中泊町		1			1
合計		12	6	5		23

（3）通学方法

徒歩	自転車	バイク	自家用車	列車	バス	列車バス	送迎	合計
1	7	0	1		0	0	14	23

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (中南地区)

目 次

【全日制課程】

弘前高校	1
弘前中央高校	3
弘前南高校	5
黒石高校	7
柏木農業高校	9
弘前工業高校	11
弘前実業高校	15

【定時制課程】

尾上総合高校	18
--------	----

【通信制課程】

尾上総合高校	20
--------	----

学校名(課程)	弘前高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			6	6	6	0	18																																					
学科・コース	■普通科6学級																																											
学校の特徴	<p>創立137年の歴史と伝統を有する進学校である。目指す人間像「持って生まれたものを深くさぐって強く引き出す人」を拠り所として、教育目標「自学自習、規律ある自由、体力の増進」の実現に向けて教育活動に取り組んでいる。勉強、学校行事、部活動の全てに全力で取り組むことを奨励しており、知、徳、体のバランスがとれ、将来的に社会の発展に貢献できる人財の育成に努めている。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>27</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>186</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学:弘前大学(61人、うち医学科12人)、東北大学(31人、うち医学科2人)、東京大学(4人)、岩手大学(11人)、千葉大学(8人)、秋田大学(5人)、新潟大学(4人)、東京都立大学(2人)、中央大学(4人)、明治大学(4人)、立教大学(5人)、早稲田大学(2人)</p>								進学			就職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	88	0	0	0	0	27	115	女	98	0	1	0	0	17	116	計	186	0	1	0	0	44	231
	進学			就職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	88	0	0	0	0	27	115																																					
女	98	0	1	0	0	17	116																																					
計	186	0	1	0	0	44	231																																					
特色ある教育活動	<p>■探究型学習の推進【未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業(県事業)】</p> <p>全学年とも「総合的な探究(学習)の時間」において、課題研究に取り組んでいる。特に、2学年においては、大学教員による出前講義を実施し、研究の内容に関して助言をいただくとともに、1・2学年生徒を対象に研究発表会も実施している。</p> <p>■弘高ねぶたの制作及び運行(今年度は新型コロナウイルス感染症のため中止)</p> <p>65年にも及ぶ伝統行事で、約2週間かけてクラスごとに1台のねぶたを制作する。テーマ選びから設計、制作まで生徒の力だけで行い、様々な問題を乗り越えながらも完成させた時の成就感は何ものにも代えがたい経験となっている。また、ねぶた運行によって、地域との連携が一層強くなっている。</p> <p>■最難関大学志望者合同進学合宿【進学力を高める高校支援事業(県事業)】</p> <p>※今年度は宿泊なしで実施</p> <p>東京大学など選抜性の高い最難関大学を志望する生徒の学びを深めるため、青森高校・八戸高校・弘前高校の3校が協力し、予備校講師による講義や少人数でのワークショップを実施している。併せて、教員による英語・数学・国語の入試問題解説会も実施しており、教員の教科指導力向上につなげている。</p> <p>【重点校としての取組】</p> <p>■学力向上セミナー及び医師講演会の実施【医師を志す高校生支援事業(県事業)】</p> <p>医師を志し、医学科合格を目指す生徒の学力向上を目的として、地区の他校の生徒を交えて、春・夏に予備校講師による英語・数学・国語の講義と併せて、医師による講演会やケーススタディ学習会を実施しており、医師の仕事や責務に真摯に向き合い、医師になるという強い意志を育む機会となっている。</p>																																											

【生徒の状況】

弘前高校

(1) 在籍生徒数

学科・性別		学年			
		第1学年	第2学年	第3学年	合計
普通科	男	120	129	120	369
	女	120	111	118	349
	計	240	240	238	718

(2) 出身市町村別生徒数

出身市町村		第1学年	第2学年	第3学年	計
弘前市		160	173	167	500
黒石市		12	7	16	35
五所川原市		5	10	7	22
青森市		4	2	7	13
むつ市		0	0	0	0
つがる市		4	4	1	9
平川市		21	14	15	50
八戸市		0	0	0	0
三沢市		1	0	0	1
十和田市		0	1	1	2
南津軽郡	大鰐	4	3	4	11
	田舎館	5	7	2	14
	藤崎	11	7	4	22
中津軽郡	西目屋	0	1	0	1
北津軽郡	板柳	4	5	5	14
	鶴田	5	3	5	13
	中泊	2	1	0	3
西津軽郡	鱒ヶ沢	1	0	0	1
	深浦	1	0	2	3
上北郡	横浜町	0	0	0	0
他県		0	2	2	4
計		240	240	238	718

(3) 通学方法

区分	列車	バス	列車・バス併用	列車・自転車併用	自転車	徒歩	保護者の自家用車	合計
第1学年	12	1	7	50	154	5	11	240
第2学年	2	6	5	51	161	7	8	240
第3学年	5	1	8	54	156	8	6	238
計	19	8	20	155	471	20	25	718

学校名(課程)	弘前中央高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18																																					
学科・コース	■普通科6学級																																											
学校の特徴	<p>令和2年度に創立120周年を迎え、「自律・誠実・進取」の校訓のもと、生徒個々の知性と品性を育む指針に「文武両道」の理念を掲げ、生徒と教職員が一体となって、学習のみならず、部活動・生徒会活動・学校行事等に積極的に取り組んでいる活気に溢れた学校である。720名の生徒が在籍しており、ほとんどは大学進学を目指し、その半数以上は国公立大学へ進学するなど県内屈指の進学実績をあげている。また、部活動においても、平成30年度には青森県高等学校総合体育大会女子学校対抗総合第二位である友情杯を獲得するなど顕著な戦績を残している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>62</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>123</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>185</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>30</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 弘前大(46人)、岩手大(4人)、東北大(2人)、宮城教育大(5人)、秋田大(3人)、山形大(3人)、福島大(3人)、千葉大(2人)、新潟大(3人)、青森公立大(7人)、青森県立保健大(4人) 弘前医療福祉大(8人)、東北学院大(6人)、明治大(2人)</p> <p>■就職: 青森県職員(1人)、自衛官一般曹候補生(1人)、(株)Lxgic(1人)</p>								進 学			就 職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	62	1	3	0	2	19	87	女	123	2	15	1	0	11	152	計	185	3	18	1	2	30	239
	進 学			就 職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	62	1	3	0	2	19	87																																					
女	123	2	15	1	0	11	152																																					
計	185	3	18	1	2	30	239																																					
特色ある教育活動	<p>■進学指導に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上と進路志望達成に向けて、長期休業中に講習を実施 ・医師を志す高校生支援事業(県事業)を利用し、医学部医学科へ進学を希望する生徒を対象に、医師による講演会に参加 ・看護師・薬剤師を希望する生徒を対象に、市内の病院や調剤薬局での看護体験、薬剤師体験に参加 <p>■キャリア教育に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が、職業人としての自分の進路を自分で決めていく力を養うため、1学年生徒を対象に職業人講話、2学年生徒を対象に大学模擬講義を実施 <p>■地域と連携した教育活動の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間を利用して、地域の課題を考えるために、弘前市役所の出前講座を実施 ・総合的な探究の時間では、自分の興味関心に基づき、地域をフィールドとして課題を設定・行動し、その内容を発信 																																											

弘前中央高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

(人)

学科	性別	学年			合 計
		第1学年	第2学年	第3学年	
普通科	男・女	240 (男 90・女 150)	237 (男 101・女 136)	236 (男 105・女 131)	713 (男 296・女 417)

(2) 出身市町村別生徒数

(人)

出身地		学年				出身地		学年				
		1年	2年	3年	計			1年	2年	3年	計	
市	弘前市	128	156	131	415	中津軽郡	西目屋村	1	1	0	2	
	黒石市	16	20	18	54							
	平川市	26	21	22	69							
	五所川原市	7	0	4	11		小 計	1	1	0	2	
	青森市	8	11	18	37	北津軽郡	板柳町	10	5	17	32	
	つがる市	6	1	3	10		鶴田町	2	1	0	3	
							中泊町	2	0	0	2	
	小 計	191	209	196	596		小 計	14	6	17	37	
南津軽郡	藤崎町	16	9	11	36	西津軽郡						
	大鰐町	1	3	5	9							
	田舎館村	9	6	6	21							
							小 計	0	0	0	0	
	小 計	26	18	22	66	その他の市町村	8	3	1	12		
		合 計				240				237	236	713

(3) 通学方法

(人)

区 分	電 車	バ ス	電車とバス を併用	自 転 車	徒 歩	そ の 他	合 計
人 数	247	7	6	399	14	40	713

学校名(課程)	弘前南高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18
学科・コース	【単位制】 ■普通科6学級(2年次から文類型、理類型、SSHコースの3類型に分かれる)						
学校の特徴	校訓は「自由」「規律」「友情」。昭和38年創立、58年目の伝統ある進学校である。平成20年度入学生より進学重視型単位制を導入した。また、平成28年度には文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定され、新たな一歩を踏み出した。白亜の近代的な校舎、施設・設備を含めた教育環境は県内屈指のものである。生徒のほとんどが進学を目指しており、高い実績を上げている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進学			就職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	78	2	9	0	4	10	103
女	81	8	26	5	0	4	124
計	159	10	35	5	4	14	227
	【主な進路先】 ■進学: 弘前大(32人)、北教大函館(1人)、岩手大(3人)、秋田大(2人)、筑波技術大(1人)、群馬大(1人)、新潟大(2人)、東京藝術大(1人)、千歳科学技術大(1人)、釧路公立大(1人)、青森県立保健大(7人)、青森公立大(14人)、秋田県立大(1人)、秋田公立美術大(1人)、会津大(1人)、東北女子大(11人)、弘前学院大(37人)、弘前医療福祉大(19人)、青森大(10人)、青森中央学院大(6人)、東北学院大(6人)、東北福祉大(2人)、日本大(2人) ■就職: 自衛隊一般曹候補生(2人)、弘前市職員(2人)、青森市消防(1人)、弘前郵便局(1人)、一般企業等						
特色ある教育活動	■ 単位制の特性を生かし、生徒の進路志望に応じた多くの学校設定科目を設置している(例えば、音大、美大志望生徒のための探究音楽、探究美術など)。 ■ 平成24年度からSSHの指定を目指す取組を始め、平成28年度にSSHの指定を受けた。これは5年間の事業であり、今年度がI期目の最終年度となることから、II期目に向けて再び指定を受けられるよう取組を進めている。SSHへの取組については、本校ホームページ内にある「サイエンスの扉」に多くの写真とともに紹介がなされている。 ■ 県内外の大学・研究機関・企業と連携した取組に数多く取り組んでいる。 ■ 総合的な探究(学習)の時間を「南陵Dプラン」と呼び、SSHの学校設定科目「南陵ラボI~III」「南陵ゼミI~III」と連動させ探究的な学習に取り組んでいる。 ■ 「南陵ラボI~III」では科学倫理やデータの分析の仕方、レポートの作成やプレゼンテーションの方法について学ぶとともに実際の探究活動を行う。 ■ 「南陵ゼミI~III」は英文パンフレットの作成(I)や科学英語の読解(II)、海外の高校との英語交流(II)、英語による研究発表(III)など、実践的な英語学習に取り組む科目である。 ■ 1年次生徒は全員SSHに参加し、「南陵ラボI・ゼミI」を学ぶ。3ER(青森県の3つの科学資源~生態系資源・エネルギー資源・産業資源)についての探究活動を行い、ポスター発表などに取り組んでいる。 ■ 2年次以降、SSHコースに進んだ生徒は自然科学に関する研究テーマを1つ決めて課題研究に取り組む。その中で、大学や研究機関の研究室を訪問したり、課題研究について研究者から指導を受けることができる。 ■ 2年次以降、SSHコースに進まなかった生徒に対しても、サイエンスセミナーや文型プロジェクトなどと銘打った自然科学、人文社会科学に関する企画を設け、科学的な経験をすることができる。						

弘前南高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

性別	年次	1年	2年	3年	計
		普通科	普通科	普通科	普通科
男		129	118	115	362
女		112	118	112	342
計		241	236	227	704

(2) 出身市町村別生徒数

市町村		年次	1年	2年	3年	計
県	弘前市		162	166	155	483
	黒石市		23	20	20	63
	平川市		21	20	22	63
	青森市		8	6	5	19
	五所川原市		0	0	0	0
内	南津軽郡	藤崎町	18	11	9	38
		大鰐町	3	7	5	15
		田舎館村	4	2	4	10
	北津軽郡	板柳町	1	3	7	11
		鶴田町	0	0	0	0
		中泊町	0	0	0	0
	中津軽郡	西目屋村	1	0	0	1
	その他			0	1	0
県外			0	0	0	0
計			241	236	227	704

(3) 通学方法別生徒数

方法		年次	1年	2年	3年	計
徒歩			4	7	5	16
自転車			140	136	135	411
バス			9	8	10	27
弘南鉄道	大鰐線	自転車	0	4	0	4
	及び	バス	0	0	0	0
	黒石線	自転車	30	23	28	81
	及び	バス	2	9	4	15
JR東日本	奥羽本線	自転車	10	12	7	29
	及び	バス	8	11	4	23
	五能線	自転車	7	1	9	17
	及び	バス	1	7	6	14
その他			30	18	19	67
計			241	236	227	704

学校名(課程)	黒石高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	専攻科	計																																					
			5	0	0	1	6																																					
学科・コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普通科3学級(2年次から文類型、理類型、スキルアップ型(家庭コース、情報コース、福祉コース)に分かれる) ■ 商業科1学級(情報デザイン科) ■ 看護科1学級 ■ 専攻科1学級(看護科) 																																											
学校の特徴	<p>黒石高校と黒石商業高校が統合し、新しい黒石高校(中南地区統合校)として令和2年4月に開校した。</p> <p>普通科を基盤としながらも、県内唯一の情報デザイン科、県立高校唯一の看護科を併置し、職業教育にも取り組む。</p> <p>看護教育については、校内に併設する専攻科看護科も含めた5年一貫教育を行い、看護師国家試験では高い合格率を維持している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男								女								計							
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男																																												
女																																												
計																																												
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普通科においては、2年次からの類型に、文類型、理類型の他、スキルアップ型を設定した。文類型、理類型では主に四年制大学進学を念頭に置いた教育課程を展開し、スキルアップ型では、家庭コース、情報コース、福祉コースから自分の希望進路に合致する資格取得につなげるための就職から進学まで幅広い進路に対応した教育課程を展開する。 ■ 情報デザイン科においては、マーケティング活動等に活用できる情報デザインに関する専門的な知識・技能を身に付け、地域経済の発展に貢献する人財の育成を目指し、マーケティングと美術を融合した商業教育を行う。 ■ 看護科においては、看護に関する専門的な知識・技能を身に付け、地域医療を支える人財の育成を目指し、約60名の外部講師による授業や、2年次から専攻科2年までの豊富な臨地実習を行い、実践的看護教育を行う。 ■ 高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業(県事業) 28名の有志の生徒が参加し、5チームに分かれてそれぞれのテーマに沿った課題解決のための探究活動を行っている。事業終了後は研究成果を総合的な探究の時間にフィードバックし、探究方法の質を高める。 ■ 情報デザイン科:特別非常勤講師を招き、3日間10時間で実施する特別授業を実施 ■ 看護科:病院、介護施設、保育施設等、多くの施設で看護臨地実習を実施 ■ 8月15日、黒石よされまつりに学校として参加 ■ 黒石市の「こみせまつり」に部活動単位で参加 																																											

【生徒の状況】

黒石高校

(1) 在籍生徒数

学年	学科 性別	普通科			情報デザイン科			看護科			合計
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1	学 年	44	75	119	9	30	39	1	39	40	198
2	学 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	学 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合	計	44	75	119	9	30	39	1	39	40	198

学年	学科 性別	専攻科 看護科		合計
		男子	女子	
1	学 年	2	37	39
2	学 年	-	-	-
合	計	2	37	39

(2) 出身市町村別生徒数

市町村	学年	普通科			情報デザイン科			看護科			看護科 専攻科		合計
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	
青森市		7	-	-	3	-	-	9	-	-	1	-	20
弘前市		7	-	-	11	-	-	16	-	-	14	-	48
黒石市		63	-	-	11	-	-	7	-	-	13	-	94
平川市		25	-	-	8	-	-	4	-	-	3	-	40
五所川原市			-	-		-	-		-	-	3	-	3
つがる市			-	-		-	-		-	-	1	-	1
南 津 軽 郡	藤崎町	9	-	-	3	-	-	1	-	-		-	13
	大鰐町	2	-	-		-	-	2	-	-	1	-	5
	田舎館村	5	-	-	3	-	-		-	-	2	-	10
中津軽郡			-	-		-	-		-	-		-	0
北津軽郡		1	-	-		-	-	1	-	-	1	-	3
西津軽郡			-	-		-	-		-	-		-	0
東津軽郡			-	-		-	-		-	-		-	0
そ の 他			-	-		-	-		-	-		-	0
合	計	119	-	-	39	-	-	40	-	-	39	-	237

(3) 通学方法

科	区分	JR・弘南 鉄道	バス	JR・弘南 鉄道とバスを併用	自転車	徒歩	その他	合計
		普通科						
情報デザイン科		42	11	4	112	5	24	198
看護科								
専攻科看護科		12	0	5	11	4	7	39
合	計	54	11	9	123	9	31	237

学校名(課程)	柏木農業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	4	4	4	0	12																																					
学科・コース	■農業科4学級(生物生産科、環境工学科、食品科学科、生活科学科)																																											
学校の特徴	<p>令和7年度に創立百周年を迎える農業の専門高校で、産業の担い手として社会の発展に貢献できる人財の育成を目指している。</p> <p>それぞれの学科の専門分野の学習のみならず、全校田植え大会・稲刈り大会をはじめとする様々な行事等を通して、農業について学ぶことができる。また、異校種共同学習や校外での農産物販売実習などを通して、異世代や地域の方々との交流を推進している。</p> <p>長年にわたり緑豊かな地域社会づくりに励むとともに、環境教育の充実に努めている。その取組が評価され、平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>48</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>30</td> <td>65</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>127</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 酪農学園大学(2人)、東京農業大学(1人)、名古屋産業大学(1人)、東北女子短期大学(3人)、営農大学校(4人)、弘前高等技術専門学校(4人)</p> <p>■就職: (株)タカシン【製造業】(4人)、弘果弘前中央青果(株)【卸売業】(3人)、山崎製パン(株)【製造業】(2人)、日本郵便(株)【複合サービス事業】(1人)</p>								進学			就職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	3	1	19	48	8	4	83	女	1	5	11	17	10	0	44	計	4	6	30	65	18	4	127
	進学			就職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	3	1	19	48	8	4	83																																					
女	1	5	11	17	10	0	44																																					
計	4	6	30	65	18	4	127																																					
特色ある教育活動	<p>■本校は、中南地区のりんご栽培教育を担っている。地域の主力農産物であるりんごの栽培や販売、加工などについて、生物生産科における学校設定科目「りんご栽培」と「果実加工」を組み入れたカリキュラムでの継続的な体験学習を通して、広くかつ深く学ぶことができる。2学年からは、学校農場で生徒個々が栽培管理するりんご樹1本を決めて名前を掲げている。このほか、卸売市場における本校産りんごの競売見学、修学旅行先でのりんご販売実習などを行っている。</p> <p>■生徒会の委員会組織の一つとして、有志で構成している『柏農ねふた委員会』がある。普段は扇ねふたや前灯籠などの制作と囃子の練習を行っている。また、近隣の保育施設や団体等から依頼があれば、依頼先に出向いて囃子を披露している。8月には地元の「平川ねふたまつり」に参加し、『柏農ねふた』を運行している。柏農ねふた委員が囃子手となり、3学年生徒が流し踊りを披露する。</p> <p>■農業科目『農業と環境』(1学年全学科履修)で「農業生産工程管理(GAP)」について学習。学校農場では、GAPを経営の柱にしており、生徒も実習でGAPを実践している。生徒が主体となって国際標準であるGLOBALG.A.P.認証の取得に取り組んでおり、令和2年度はりんご研究部(文化部の一つ)がリンゴ、生物生産科2学年の課題研究・作物班がコメで審査を受けた。(審査結果は11月末頃に判明する予定)</p>																																											

柏木農業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

	第1学年			第2学年			第3学年			小計		合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
生物生産科	30	5	35	23	5	28	31	4	35	84	14	98
環境工学科	25	0	25	35	0	35	33	0	33	93	0	93
食品科学科	19	12	31	13	14	27	20	13	33	52	39	91
生活科学科	2	22	24	4	25	29	2	29	31	8	76	84
合 計	76	39	115	75	44	119	86	46	132	237	129	366

(2) 出身市町村別生徒数

		平	黒	弘	大	田	藤	西				計
		川	石	前	鰯	舎	崎	目				
		市	市	市	町	館	町	屋				
		村	村	村	村	村	村	村				
生物生産科	1年	10	9	14	0	2	0	0				35
	2年	9	13	6	0	0	0	0				28
	3年	8	12	10	3	2	0	0				35
	計	27	34	30	3	4	0	0				98
環境工学科	1年	6	8	9	2	0	0	0				25
	2年	17	11	3	3	0	1	0				35
	3年	10	7	12	1	3	0	0				33
	計	33	26	24	6	3	1	0				93
食品科学科	1年	9	9	6	0	3	4	0				31
	2年	4	7	8	2	5	1	0				27
	3年	10	8	11	3	1	0	0				33
	計	23	24	25	5	9	5	0				91
生活科学科	1年	6	7	8	1	1	0	1				24
	2年	11	6	10	2	0	0	0				29
	3年	7	11	8	2	3	0	0				31
	計	24	24	26	5	4	0	1				84
合 計		107	108	105	19	20	6	1				366

(3) 通学方法

	徒歩	自転車	電車	自転車 電車	J R 電車	バス 電車	自転車 J R 電車	その他	計
1年	0	77	12	10	1	1	2	12	115
2年	0	69	9	25	7	1	0	8	119
3年	0	83	15	24	1	0	0	9	132
計	0	229	36	59	9	2	2	29	366

学校名(課程)	弘前工業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	6	6	7	0	19
学科・コース	■工業科6学級(3学年のみ7学級) 1・2学年:機械科、電気科、電子科、情報技術科、建築科、土木科 3学年:機械科、電気科、電子科、情報技術科、建築科、土木科、インテリア科						
学校の特徴	県内初の工業学校として創立以来、令和2年度で創立110周年を迎え、同窓生28,735名を輩出する歴史と伝統を誇る工業高校である。インテリア科は今年度で閉科し建築科に統合されるが、各科とも校訓をもとに、ものづくりは人づくりを旨とし、使命を持って勤労に励み、品性ある工業人を目指して常に全力を尽くして何事にも取り組む姿勢を堅持している。特に、資格取得や部活動には力を入れており、常にトップクラスの成績を収めている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進学			就職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	53	2	13	45	81	10	204
女	2	1	10	6	16	4	39
計	55	3	23	51	97	14	243
	【主な進路先】 進学、就職とも100%を達成している。 進学:弘前大学、岩手大学、岩手県立大学、公立ほこだて未来大学、青森公立大学、日本大学、日本工業大学、東北工業大学、千葉工業大学、八戸工業大学 就職:【県内】青森オリンパス、キャノンプレジジョン、弘前航空電子、マルノ建築設計、弘前ガス など 【県外】アイシン、関電工、JFEスチール、NEC、京王電鉄、大成建設、東日本旅客会社 など						
特色ある教育活動	■地域の産業界との連携を強化 (1) 機械科では、弘前地区溶接協会からの支援により、「高校生溶接塾」と称して熟練者によるアーク溶接の実技指導を年6回実施している。 (2) 青森県職業能力開発協会による「ものづくりマイスター派遣事業」を活用し、青森オリンパス(株)より講師を招いて2級技能検定機械検査「機械検査作業」の実技試験対策を実施している。 (3) 弘前航空電子(株)による「平面研削加工セミナー」に参加し、3級技能検定機械加工「平面研削盤作業」の実技試験対策を実施している。 (4) 建築科では、ものづくりコンテストにおいて、ものづくりマイスター制度を活用し、専門的な指導体制を確立することにより東北大会出場者が出るなど大きな成果を上げてきている。 ■拠点校としての取組(五所川原工業高校と合同実施) (1) 電気科では、ものづくり電気工事部門において全国技能五輪で入賞した選手を招聘して、講習会を実施し大きな成果を上げている。 (2) 情報技術科では、東北能開大青森校との高大連携をすることにより、生徒・教員の技術力の向上に繋がっている。 本校の成果として、国公立大学へ最近5年間で24名が合格しており、県内の工業高校では最も多い。さらに、全国レベルのコンテストに出場しており、中でも若年者ものづくり競技大会では常に上位で入賞を果たしている。						

弘前工業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

性別 学科	1 学年			2 学年			3 学年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
機 械 科	34	1	35	34	1	35	34	0	34	102	2	104
電 気 科	31	4	35	34	1	35	35	0	35	100	5	105
電 子 科	32	3	35	29	6	35	34	1	35	95	10	105
情 報 技 術 科	29	6	35	27	8	35	28	7	35	84	21	105
建 築 科	19	16	35	23	12	35	23	12	35	65	40	105
土 木 科	28	7	35	34	1	35	31	4	35	93	12	105
インテリア科							8	27	35	8	27	35
計	173	37	210	181	29	210	193	51	244	547	117	664

(2) 通学方法

学年	区分	徒歩	自転車	J R	私鉄	バス	自家用車	自転車と J R 又は私鉄併用	バスと J R 又は私鉄併用	合計
1 学 年		7	118	1	5	0	16	63	0	210
2 学 年		1	109	0	2	5	8	82	3	210
3 学 年		5	159	3	5	6	5	61	0	244
合 計		13	386	4	12	11	29	206	3	664

(3) 出身市町村別生徒数

市町村		科 学年 人数	機 械 科				電 気 科				電 子 科			
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
弘 前 市		409	25	19	20	64	27	18	24	69	23	16	25	64
黒 石 市		41	0	1	7	8	1	1	1	3	0	3	2	5
平 川 市		77	2	8	2	12	3	8	5	16	4	4	4	12
青 森 市		20	2	1	0	3	0	1	0	1	0	3	0	3
八 戸 市		1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
五 所 川 原 市		5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
つ が る 市		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十 和 田 市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
む つ 市		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中郡	西 目 屋 村	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
南郡	大 鰐 町	26	1	2	1	4	1	1	1	3	0	3	1	4
	藤 崎 町	38	5	3	1	9	1	2	1	4	5	3	2	10
	田 舎 館 村	22	0	1	0	1	0	1	1	2	2	2	0	4
北郡	板 柳 町	17	0	0	3	3	2	2	0	4	0	1	1	2
	鶴 田 町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 泊 町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
西郡	鱒ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	深 浦 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北郡	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		664	35	35	34	104	35	35	35	105	35	35	35	105

市町村		情報技術科				建 築 科				土 木 科				インテリア科	
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	3	計
弘 前 市		20	16	22	58	21	19	21	61	21	24	22	67	26	26
黒 石 市		2	7	1	10	1	6	4	11	0	1	2	3	1	1
平 川 市		3	4	2	9	6	4	2	12	2	5	5	12	4	4
青 森 市		2	2	2	6	1	3	1	5	2	0	0	2	0	0
八 戸 市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五 所 川 原 市		0	0	1	1	2	0	0	2	0	1	0	1	0	0
つ が る 市		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十 和 田 市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
む つ 市		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中郡	西 目 屋 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
南郡	大 鰐 町	0	1	2	3	0	1	3	4	2	2	2	6	2	2
	藤 崎 町	4	1	3	8	1	2	2	5	0	0	2	2	0	0
	田 舎 館 村	1	3	1	5	2	0	1	3	4	1	2	7	0	0
北郡	板 柳 町	1	0	1	2	1	0	1	2	4	0	0	4	0	0
	鶴 田 町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 泊 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
西郡	鱒ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	深 浦 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北郡	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		35	35	35	105	35	35	35	105	35	35	35	105	35	35

学校名(課程)	弘前実業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	7	7	7	0	21
学科・コース	【総合選択制(H15導入)】 ■普通科1学級(スポーツ科学科) ■商業科3学級(商業科2学級、情報処理科) ■農業科1学級(農業経営科) ■家庭科2学級(家庭科学科、服飾デザイン科)						
学校の特徴	<p>本校は、農業、商業、家庭並びに体育に関する学科を持ち、専門的な学習や実践的な活動を通して、人間性豊かで社会に貢献できる人財の育成を目指している。</p> <p>学校の特徴として、所属する学科の学習を基本としながら、興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じて、学科の枠を越えて主体的に希望する教科・科目を選択できる総合選択制を導入している。この仕組みの中で、本校の生徒は、それぞれの学科の専門性を生かした進路選択に加え、他の学科の科目を学ぶことが刺激となって、様々な職種への就職や多様な分野への進学など幅広い進路選択を行っている。</p>						
進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進学			就職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	30	5	20	23	11	6	95
女	38	17	82	25	16	4	182
計	68	22	102	48	27	10	277
	【主な進路先】 ■進学: 弘前大学、青森公立大学、東北女子大学、弘前医療福祉大学、弘前学院大学、東北学院大学、東北福祉大学、駒澤大学、法政大学、東京農業大学、千葉商科大学、順天堂大学、弘前市医師会看護専門学校、青森県へアアチスト専門学校 ■就職: (株)青森銀行、弘前中央青果(株)、社会福祉法人愛成会、小田急電鉄(株)、東北電力(株)、日本郵便(株)東北支社、(株)虎屋、トヨタ自動車(株)、公務員(17人)						
特色ある教育活動	■資格取得に向けた特色ある取組 ・専門的知識や技能のスキルアップに向けた休日及び放課後の特別講習(外部講師活用含む) ■県事業を活用した取組 ・第四次産業革命を担うIT人財確保事業(商業科) 県内IT企業が講師となり、電子商取引サイトの構築、運営等を学ぶ実践的学習活動 ・高校生縄文案内人養成事業(商業科、情報処理科) 文化財の保存・活用により地域活性化を図る活動 ・震災復興支援サポート事業(農業経営科) 被災地釜石市鶴住地区での桜植樹及び現地での各種ボランティア活動 ■地域・企業等と連携した教育活動 ・高大連携事業:弘前大学、青森大学(商業科) ・特別支援学校とのスポーツ交流活動(スポーツ科学科) ・特別支援学校との農福連携活動(農業経営科) ・地元商店街との商品開発活動(商業科、情報処理科) ・地域の専門家を招聘した特別授業(家庭科学科、服飾デザイン科)						

【生徒の状況】

弘前実業高校

(1) 在籍生徒数

学 科	学 年	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	合 計
		男	女	計	
農 業 経 営 科	男	23	26	25	74
	女	17	14	15	46
	計	40	40	40	120
商 業 科	男	35	25	34	94
	女	45	55	46	146
	計	80	80	80	240
情 報 処 理 科	男	13	17	22	52
	女	27	23	18	68
	計	40	40	40	120
家 庭 科 学 科	男	0	1	0	1
	女	40	39	40	119
	計	40	40	40	120
服 飾 デ ザ イ ン 科	男	0	0	0	0
	女	40	39	37	116
	計	40	39	37	116
ス ポ ー ツ 科 学 科	男	29	21	28	78
	女	11	19	12	42
	計	40	40	40	120
合 計	男	100	90	109	299
	女	180	189	168	537
	計	280	279	277	836

(2) 出身市町村別生徒数

出身地	学 科	農 業 経 営 科				商 業 科				情 報 処 理 科				家 庭 科 学 科				服 飾 デ ザ イ ン 科				ス ポ ー ツ 科 学 科				合 計
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計					
青 森 市		1		2	3	4	3	7	14				0	1			1	1	2	3	3	4	4	11	32	
東 津 軽 郡					0				0				0				0							0	0	
五 所 川 原 市					0	1		1	2				0			2	2	1		1	3	3	4	10	15	
つ がる 市				1	1				0				0		1		1		1	2	1		3	6		
西 津 軽 郡					0				0			1	1						0			1	1	2		
北 津 軽 郡		3		1	4	2	2	6	10			2	2	3	1	1	5	5	1	3	9	2	4	4	10	40
弘 前 市		26	30	17	73	50	46	40	136	24	25	26	75	27	29	30	86	24	25	24	73	19	10	15	44	487
黒 石 市		4	5	4	13	11	7	13	31				0	3	2		5	2	3	4	9	5	3	3	11	69
平 川 市		4	2	2	8	5	10	6	21	7	6	4	17	3	3	2	8	3	7	3	13	3	2	1	6	73
中 津 軽 郡					0		1		1				0				0			0				0	1	
南 津 軽 郡		2	3	13	18	7	9	7	23	9	9	7	25	3	4	5	12	4	2	1	7		9	7	16	101
十 和 田 市					0				0				0				0			0				0	0	
三 沢 市					0				0				0				0			0				0	0	
上 北 郡					0				0				0				0			0	2		1	3	3	
む つ 市					0				0				0				0			0	1			1	1	
下 北 郡					0				0				0				0			0		2		2	2	
八 戸 市					0		2		2				0				0			0				0	2	
三 戸 郡					0				0				0				0			0		1		1	1	
県 外					0				0				0				0			0		1		1	1	
合 計		40	40	40	120	80	80	80	240	40	40	40	120	40	40	40	120	40	39	37	116	40	40	40	120	836

(3) 通学方法 (夏季)

区 分	1 学年	2 学年	3 学年	合計
電 車	7	13	4	24
バ ス	4	3	2	9
自転車	161	157	138	456
徒 歩	4	6	3	13
電車・バス	7	3	15	25
電車・自転車	88	88	101	277
自家用車	5	7	13	25
バス・自転車	4	2	1	7
合 計	280	279	277	836

学校名(課程)	尾上総合高校(定時制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	3	3	3	3	12																																					
学科・コース	【単位制・3部制】 ■総合学科3学級(I部(午前)、II部(午後)、III部(夜間)、I・II部合わせ募集) I・II部:2年次から総合人間系列、地域ビジネス系列、環境・情報系列に分かれる III部:2年次から総合人間系列と地域ビジネス系列に分かれる																																											
学校の特徴	令和元年度に創立20周年を迎えた、単位制による3部制の定時制高校である。昼の時間帯の1校時から学ぶI部、3校時から学ぶII部、夜の時間帯の7校時から学ぶIII部があり、自分のペースで学習したり、アルバイトや正規の仕事しながら自分に合った生活の時間帯を選んで学ぶことができる。また、社会的・職業的自立に向け、社会体験の機会を多く設定し、自分の生き方やあり方を考えるキャリア教育を重視した取組を行っている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 青森大学(1人)、弘前学院大学(1人)、北海道医療大学(1人) ■就職: 陸上自衛隊【公務員】(1人)、日清医療食品㈱【サービス業】(1人)、 (株)町田アンド町田商会【卸売業】(1人)、(株)北奥水道【建設業】(1人)、 山形砕石㈱【砕石業】(1人)、(株)タカシン【製造業】(1人)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	1	0	10	11	3	4	29	女	2	0	4	6	0	4	16	計	3	0	14	17	3	8	45
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	1	0	10	11	3	4	29																																					
女	2	0	4	6	0	4	16																																					
計	3	0	14	17	3	8	45																																					
特色ある教育活動	■自分の興味・関心、進路に合わせた授業選択ができるカリキュラム 豊富な選択科目・3つの系列(III部は2つの系列)の中から、自分の興味・関心、進路に合わせて、系列(科目群)の枠に縛られることなく、好きな科目を選択することができる。総合人間、地域ビジネス、環境・情報の各系列の選択科目のほか、家庭科や芸術の系列外科目など、幅広い科目を開講している。 ■自分の人生や生き方を考え、人生設計・仕事選びにつながるキャリア教育の実践 1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「総合的な探究の時間」では、田んぼアート田植え・稲刈り、職業人インタビュー、インターンシップ、社会人ライフプラン講話など様々な体験活動を通して、自分の生き方・あり方を考えるキャリアデザインの授業を行っている。また、「総合スキルI・II」では、学び直しやパソコン操作、コミュニケーションスキルなど、学校生活や社会生活において必要となるスキルを身に付けるための授業を展開している。 ■インクルーシブ教育の実践 授業のユニバーサルデザイン化や2人担任制のほか、スクールソーシャルワーカーなどの社会福祉の専門家と連携しながら発達障害等の困難を抱えた生徒へのサポートを行うなど、様々な手法によりきめ細やかな対応を実践し、生徒の社会的・職業的自立を図っている。																																											

尾上総合高校（定時制）

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

年次 性別	1年次			2年次			3年次			4年次			計
	I部	II部	III部	I部	II部	III部	I部	II部	III部	I部	II部	III部	
男	20	9	1	28	13	3	19	5	1	5	3	1	108
女	19	13	1	20	8		10	6	1	2	3		83
計	39	22	2	48	21	3	29	11	2	7	6	1	191

(2) 出身市町村別生徒数

出身 年次	弘前市	黒石市	平川市	青森市	田舎館	藤崎町	大鰐町	その他	計
1年次	28	18	12	1		3	1		63
2年次	42	9	16		2	1	2		72
3年次	26	6	8			1		1	42
4年次	8	2	2			2			14
計	104	35	38	1	2	7	3	1	191

(3) 通学方法

区分	列車 (電車)	バス	列車 バス 併用	列車 自転車 併用	バス 自転車 併用	自転車	保護者 自家用車	徒歩	計
人数	69	0	21	45	2	30	21	3	191

学校名(課程)	尾上総合高校(通信制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	2	2	3	0	7
学科・コース	【単位制】 ■普通科2学級(3年次は3学級)						
学校の特徴	<p>平成11年4月、北斗高校の分室として尾上総合高校内に開設した。平成25年4月より、尾上総合高校通信制の課程となった。</p> <p>週1回のスクーリングとレポートによる自学自習を基本としており、就労・育児等と学習の両立が可能である。スクーリングは原則として日曜日であるが、就労等の事情により、水曜日に変更することもできる。</p> <p>また、単位制であり、前籍校で修得した単位を本校の卒業単位に含められるため、修得単位数により2年次あるいは3年次への転入学・編入学が可能である。</p>						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進学			就職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	3	0	1	1	0	2	7
女	0	0	3	0	0	5	8
計	3	0	4	1	0	7	15
	【主な進路先】 ■進学: 東北工業大学(1人)、弘前医療福祉大学(1人)、放送大学(1人)、SKK情報ビジネス専門学校(1人)、赤門鍼灸柔整専門学校(1人)、サンモードスクールオブデザイン専門学校(1人)、青森県立障害者訓練校(1人) ■就職: (株)角弘(1人)						
特色ある教育活動	■自分の興味・関心、進路に合わせた授業選択ができるカリキュラム 国語・社会・数学・芸術・外国語・商業・家庭の教科で、豊富な自由選択科目を開講し、生徒が自由に科目を選択することができる。						
	■一人一人のニーズへの対応 基礎学力の向上を目指した「平日勉強会」、進学希望者のための「進学講習」を実施している。また、レポート学習でつまづいた生徒に対する「レポート指導」など、スクーリング以外の日も、一人一人のニーズに合わせた個別指導を行っている。						
	■インクルーシブ教育の実践 スクールソーシャルワーカーやスクールライフサポーターなどの社会福祉の専門家と連携しながら、発達障害等の困難を抱えた生徒へのサポートを行うなど、きめ細やかな対応を実践し、生徒の社会的・職業的自立を図っている。						

尾上総合高校（通信制）

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	年次 性別	1年次	2年次	3年次	計
	普通科	男	9	15	17
女		14	18	17	49
計		23	33	34	90

(2) 出身市町村別生徒数（非活動生は除く）

出身 年次	弘前市	黒石市	平川市	青森市	田舎館村	藤崎町	大鱒町	板柳町	その他	計
1年次	13	3	0	0	1	2	1	3	0	23
2年次	22	3	4	2	0	0	1	1	0	33
3年次	19	6	4	0	1	2	0	0	0	32
計	54	12	8	2	2	4	2	4	0	88

(3) 通学方法（非活動生は除く）

区分	列車 (電車)	バス	列車 バス 併用	列車 自転車 併用	バス 自転車 併用	自転車	保護者 自家用車	自動車	徒歩	計
人数	27	0	6	0	0	4	38	13	0	88

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (上北地区)

目 次

【全日制課程】

三本木高校	1
三沢高校	3
野辺地高校	5
七戸高校	7
百石高校	9
六ヶ所高校	12
三本木農業恵拓高校	14
十和田工業高校	15
三沢商業高校	18

【定時制課程】

三沢高校	20
------	----

学校名(課程)	三本木高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18																																					
学科・コース	【併設型中高一貫教育】 ■普通科6学級(普通コース文系・理系、グローバルサイエンスコース文系・理系)																																											
学校の特徴	<p>平成28年度に創立90周年を迎えた歴史と伝統のある学校で、「規律ある進学校」「文武両道」を校是とし、選抜制の高い大学への進学指導を重視する「普通科・重点校」として、青森県教育委員会の指定を受けている。</p> <p>県内公立高校で唯一の併設型中高一貫校として、英語・数学では学習進度に配慮した指導法を取り入れ、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の流れを汲むGSコース(グローバルサイエンスコース)を設置し、グローバル社会を担う人財を育成する。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>91</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>102</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>193</td> <td>6</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>232</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 東北大学(11人)、弘前大学(18人)、岩手大学(18人)、埼玉大学(6人)、筑波大学(3人)、東京学芸大学(3人)、東京工業大学(2人)、東京外国語大学(2人)、青森県立保健大学(7人)、青森公立大学(3人)、中央大学(4人)、明治大学(2人)、早稲田大学(1人)、慶應義塾大学(1人)、法政大学(1人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	91	0	5	0	0	8	104	女	102	6	13	0	2	5	128	計	193	6	18	0	2	13	232
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	91	0	5	0	0	8	104																																					
女	102	6	13	0	2	5	128																																					
計	193	6	18	0	2	13	232																																					
特色ある教育活動	<p>■GSコース(グローバルサイエンスコース)の取組</p> <p>「未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業」(県事業)を利用し、グローバル教育や理科・数学教育等の特定の分野における先進的な取組等を行う。</p> <p>(1)「大学・企業連携セミナー」の実施</p> <p>総合的な探究の時間で、生徒が探究活動を進める手法を理解し、探究の基礎力を身につけるため、大学教授や企業の一流講師等によるセミナーを実施する。</p> <p>(2)校内課題研究発表会の実施</p> <p>生徒が、総合的な探究の時間(課題研究)での取組状況や研究成果を発表する。中高一貫校の特色を生かし、附属中学校生に対しての事前発表会では鋭い質問が出ることもあり、プレゼンテーション能力の育成にも繋がっている。</p> <p>■弘前大学医学部医学科総合選抜型入試対策合同ワークショップ</p> <p>本校OBによる弘前大学医学部医学科総合選抜型入試対策としてのワークショップを実施。生徒が先輩に対して学生生活や授業について、直接聞くことができ、医学科志望生徒の資質向上と相互の刺激のための良い機会となっている。</p> <p>■三本木高校英語指導力向上事業に係る研究会(進学力向上対策事業(県事業))</p> <p>東京学芸大学の教授から助言をいただき、「三本木Model」によるコミュニケーション英語の授業を中心に教科指導力の更なる向上を図っている。今後は、県内の高校や近隣の中学校に、「縮約版を用いた授業」の公開及びビデオ紹介を行い、広報活動にも努める予定である。</p>																																											

三本木高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学年 性別	第1学年	第2学年	第3学年	合 計
男	110	94	115	319
女	119	143	120	382
合 計	229	237	235	701

(2) 出身市町村別生徒数

区 分	十和田市	三沢市	七戸町	六戸町	おいらせ町	東北町	野辺地町	六ヶ所村	横浜町	五戸町	新郷村	南部町	八戸市	その他・県外	合 計
1 年	138	22	20	16	9	10	3	1	0	4	2	1	1	2	229
2 年	143	25	21	12	13	8	0	1	0	6	2	1	2	3	237
3 年	143	21	17	20	14	8	0	1	0	8	1	0	0	2	235
合 計	424	68	58	48	36	26	3	3	0	18	5	2	3	7	701

(3) 通学方法別生徒数

夏季

区 分	徒歩	自転車	バス	保護者の自動車	合 計
1 年	10	121	57	41	229
2 年	10	115	52	60	237
3 年	6	124	47	58	235
合 計	26	360	156	159	701

冬季

区 分	徒歩	自転車	バス	保護者の自動車	合 計
1 年	43	0	62	124	229
2 年	25	0	62	150	237
3 年	33	0	56	146	235
合 計	101	0	180	420	701

学校名(課程)	三沢高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計
			6	6	6	0	18
学科・コース	■普通科6学級(3学年は5学級) ■英語科1学級(3学年のみ・令和2年度末閉科)						
学校の特徴	普通科: 1学年(均質クラス)、2・3学年(文型2、理型3の均質クラス) 英語科: 3か年通して均質クラス 生徒90%以上が進学希望であり、授業の改善、講習・土曜講座の充実、三者面談や保護者連絡会を設け、職員一丸となり生徒の希望達成に向けて努力している。 バレーボール、陸上競技、ソフトボール、弓道、ソフトテニス、野球など、部活動にも力を入れ、勉学と両立できる体制を作り上げている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	75	2	14	2	4	1	98
女	76	9	41	4	6	1	137
計	151	11	55	6	10	2	235
	【主な進路先】 ■進学: 弘前(8人)、岩手(3人)、東北(1人)、宮城教育(2人)、山形(2人)、新潟(2人)、青森県立保健(3人)、青森公立(10人)、青森中央学院(7人)、八戸学院(4人)、八戸工業(4人)、東北学院(6人)、東北福祉(4人)、白鷗(4人)、国際医療福祉(3人)、国士舘(2人) ■就職: 警察庁(1人)、自衛隊(7人)、宝紙業【製造業】(2人)、三沢エンジニアリング(1人)						
特色ある教育活動	■生徒の進路実現を支えるキャリア教育の充実 社会的・職業的自立(「10年後の自分」)に必要な資質・能力の育成を目指し、主に総合的な探究(学習)の時間を活用し、職業観と勤労観の醸成、「諦めない、怠らない」という意識の醸成を図っている。具体的には職業人セミナー、大学模擬講義、進路講演会、モスプロジェクト(課題解決型学習)等を実施している。 ■モスプロジェクト(課題解決型学習)を中心とした探究活動の充実 多様で変化の激しい社会の中で主体的に切り拓いていく「力」の育成を目指し、批判的思考力、コミュニケーション能力、自己デザイン力を培うために、2学年を中心に課題解決型学習を実施している。課題解決型学習の進め方について三沢市職員、大学教授等の専門家を招き、課題設定の仕方を学び、仮説→検証→考察で得られた研究成果を1・2学年と保護者に報告会を実施し、冊子にまとめた。今年度は、1年次において課題設定の内容充実を図るための取組を開始し、3年次においては2年次での研究を発展させる取組を実践させ、3か年を通じたプロジェクトに深化させている。 ■外国語学校設定科目「GoGlobal」の実施による特色化の実践 1年次における「GoGlobal I」ではグローバル社会が抱える諸問題について広く知り、2年次(文型選択者)における「GoGlobal II」ではテーマの理解を深めた後、トピックを設定し、リサーチしてプレゼンを実施している。また、従来英語科で実施されていた国内語学研修、英語集中セミナー、小学校との交流等も当科目で実施している。						

三沢高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学 科	学年	1	2	3	合 計
	性別				
普 通 科	男	115	90	95	300
	女	124	149	103	376
	計	239	239	198	676
英 語 科	男			6	6
	女			32	32
	計			38	38
合 計	男	115	90	101	306
	女	124	149	135	408
	計	239	239	236	714

(2) 出身市町村別生徒数（出身中学校の所在地）

市町村	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	三沢市	八戸市	十和田市	おいらせ町	六戸町	東北町	七戸町	六ヶ所村	野辺地町	横浜町	他都市	県外	
普通科	253	11	65	111	35	67	36	34	36	0	6	2	676
英語科	16	2	7	9	2	0	1	0	0	0	1	0	38
合計	269	13	72	120	37	67	37	34	36	0	7	2	714

(3) 通学方法

学 科	1	2	3	4	5	6	合計
	列 車	バ ス	列 車・ バス 併用	自 家用 車送 迎	自 転 車	徒 歩	
普通科	154	78	6	115	183	140	676
英語科	3	5	1	7	16	6	38
合計	157	83	7	122	199	146	714

学校名(課程)	野辺地高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	2	2	2	0	6																																					
学科・コース	<p>■普通科2学級(2年次から進路志望に応じて各コースに分かれる) 令和2年入学生: I型(スポーツ科学・総合)、II型(進学)から選択 平成30年・令和元年入学生: ①スポーツ科学コース、②総合コース、③進学コースから選択</p>																																											
学校の特徴	<p>大正15年に開校し、本年に95周年を迎える歴史と伝統のある学校である。質実剛健・自治協同・能率増進を綱領に掲げ、生徒一人一人の可能性を引き出す教育活動を展開している。</p> <p>文武両道をモットーに放課後は進学講習や部活動に取り組んでおり、部活動ではスキー部やハンドボール部が県大会等で好成績を収めている。また、近年、文化部では、書道部の活躍がめざましい(県高総文一位、全国高総文特別賞)。</p> <p>また、公務員試験対策講座の開講や資格取得のための担当教員による放課後特別指導など、就職対策にも積極的に取り組んでいる。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 岩手大(1人)、青森公立大(1人)、青森県立保健大(2人)、青森中央学院大(1人)、八戸学院大(5人)、青森明の星短大(2人)ほか</p> <p>■就職: 海上自衛隊一般曹候補生、日本原燃株【製造業】(3人)、株ユニバース【小売業】(1人)、株あさやホテル【サービス業】(1人)ほか</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	9	0	6	14	10	1	40	女	5	4	16	12	3	3	43	計	14	4	22	26	13	4	83
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	9	0	6	14	10	1	40																																					
女	5	4	16	12	3	3	43																																					
計	14	4	22	26	13	4	83																																					
特色ある教育活動	<p>■ 県事業「就職総合支援プロジェクト事業」や「進学力を高める高校支援事業」などを活用し、小規模校で個人負担だけでは実施が困難な、生徒の進路希望に応じたセミナーや大学訪問などを実施している。</p> <p>■ コロナ禍において大学のオープンキャンパスが中止又は制限されたが、弘前大学はじめいくつかの大学とオンラインツールを利用した大学生との対話を企画し、生徒の進学意識の向上と学生生活に関する理解の深化を図っている。</p> <p>■ 野辺地町の行政機関や商工会議所青年部などの協力を得ながら、「総合的な学習の時間」や「課題研究」において、地域社会が抱える課題の解決に向けた探究的な活動に重点的に取り組み、地域の将来を担う人材の育成を図っている。</p> <p>※研究テーマ例: 「野辺地町活性化計画」、「介護の課題について」、「野辺地町の高齢者が住みやすい生活を送るためには」、「地球温暖化とゴミ問題」、「野辺地町の地域医療」、「老後を快適に過ごすために」、「野辺地町の観光資源」、「野辺地町の公共交通機関と人口問題」、「祭りの比較(京都と野辺地)」等</p> <p>■ 登山を通して、自然を大切にする心と励まし合いの精神を育て、相互の人間関係をより深め、困難に打ち勝つ強い意志と体力を培い、社会に貢献できるたくましい実行力を持つ人間を育成することを目的として、「烏帽子岳耐久登山」を実施している。本校の伝統行事であり、今年度の実施で43回を数える。</p>																																											

野辺地高校

【生徒の状況】

(1) 学年男女別在籍生徒数

	1年	2年	3年	計
男	21	31	34	86
女	31	43	41	115
計	52	74	75	201

(2) 出身市町村別生徒数

	上 北 郡							平内町	その他市町村	合 計	
	野辺地町	東北町	七戸町	横浜町	六戸町	おいらせ町	六ヶ所村				計
1年	37	5	1	4	0	0	0	47	3	2	52
2年	42	21	1	1	0	1	0	66	3	5	74
3年	50	14	2	4	0	0	0	70	4	1	75
計	129	40	4	9	0	1	0	183	10	8	201

(3) 主な通学方法別生徒数

列車	バス	列車・バス	自転車	徒歩	その他	計
61	1	1	40	41	57	201

学校名(課程)	七戸高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	3	3	4	0	10																																					
学科・コース	【単位制】 ■総合学科3学級 (2年次から各系列に分かれる。3年次は4学級) 2年次:人文科学系列、自然科学系列、福祉健康系列、情報ビジネス系列 3年次:人文科学系列、自然科学系列、福祉健康系列、情報ビジネス系列、食品科学系列																																											
学校の特徴	令和7年度に創立100周年を迎える歴史と伝統のある学校で、総合学科としての特色は、自分の将来をより深く考察(1年目)、学びたいこと・進路志望を明確にした学習活動(2年目)、専門科目を生かした進路達成(3年目)が挙げられる。また、地域と連携・協働した取組が多く、地域素材を生かし、フィールドワークや地域の方を講師に招聘する等、実践的な授業を行っている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】 ※1人進学(または1人就職)については、人数の記載を省略</p> ■進学: 室蘭工業大学(2人)、弘前大学、福島大学、県立保健大学、青森公立大学、はこだて未来大学、公立千歳科学技術大学、名寄市立大学、青森中央学院大学(3人)、八戸学院大学(4人)、青森中央短期大学(4人) ■就職: 中部上北広域事業組合(2人)、七戸町役場、青森県警察、北海道警察								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	10	2	23	21	6	0	62	女	13	11	18	14	12	0	68	計	23	13	41	35	18	0	130
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	10	2	23	21	6	0	62																																					
女	13	11	18	14	12	0	68																																					
計	23	13	41	35	18	0	130																																					
特色ある教育活動	■各系列における特色ある教育活動の一例 (1) 人文科学系列の多様な科目選択(多様な進路志望に対応) 保育科目も選択可能で、保育園実習等地域と連携した活動 (2) 自然科学系列のフィールドワーク(八甲田等における植物・水質調査) 2年次及び3年次にそれぞれ2回実施予定(令和2年度は1回のみ) (3) 福祉健康系列の豊富な実習及び地域社会福祉の担い手としての取組 介護実習、手話・点字実習等外部講師による授業の充実 (4) 情報ビジネス系列の商業科目の履修から各種検定の取得の充実 地域と連携したニンニクドリルの作成、観光甲子園出場 その他、どの系列でも選択できる科目の充実(総合スポーツ、時事研究等) ■高校生が考える人口減少対策プログラム(県事業) 2年次生徒が「総合的な探究の時間」で取り組んでいる内容の一部 ・七戸町地域おこし総合戦略課との連携 ・ 県庁関係課6課から聴取 ・青森公立大学地域みらい学科の先生による講義 ■地域・企業と連携した教育活動 食品科学系列の生徒が七戸町観光課及び地元産業と連携して、地元素材を用いた料理のレシピを開発し、イベント等で発表。 【上記教育活動の更なる充実のための取組】 本校の教育活動の在り方を常に省察・改善し、高校魅力化へ向けた取組 (1) 総合学科の特色を生かすため、チームでの不断の検討(自主研究等) (2) 教職員研修・若手教員育成研修の充実(前年比約1.5倍) (3) 七戸町及び七戸町教育委員会との協働強化(合同視察実施、会議多数実施)																																											

七戸高校

【生徒の状況】

(1) 生徒在籍数

学科		年次		合 計	
		1年次	2年次		3年次
総合学科	男	33	40	45	118
	女	74	57	82	213
	計	107	97	127	331

(2) 出身市町村別生徒数

年次	市町村								合 計
	七戸町	十和田市	東北町	六戸町	野辺地町	三沢市	その他		
1年次	32	51	21	1	0	2	0	107	
2年次	29	51	16	1	0	0	0	97	
3年次	53	50	19	2	2	0	1	127	
合 計	114	152	56	4	2	2	1	331	
%	34.4	45.9	16.9	1.2	0.6	0.6	0.3		

(3) 主な通学方法

年次	方法				合 計
	バ ス	自 転 車	徒 歩	自家用車送迎	
1年次	47	10	4	46	107
2年次	25	11	7	54	97
3年次	33	6	19	69	127
合 計	105	27	30	169	331
%	31.7	8.2	9.1	51.1	

学校名(課程)	百石高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			3	3	4	0	10																																					
学科・コース	■普通科2学級(3学年は3学級) ■家庭科1学級 (食物調理科: 県内公立高校で唯一、卒業と同時に調理師免許を取得)																																											
学校の特徴	今年度で創立72年目となる歴史と伝統ある学校で、地域と連携したキャリア教育を推進しており、平成27年にはキャリア教育優良校として文部科学大臣表彰を受け、現在も活動を継続している。特に食物調理科が年8回開催する高校生レストラン「キッチンいちよの森」は、地域住民から高く評価されている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>27</td> <td>51</td> <td>41</td> <td>7</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	5	0	9	27	24	3	68	女	8	5	18	24	17	4	76	計	13	5	27	51	41	7	144
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	5	0	9	27	24	3	68																																					
女	8	5	18	24	17	4	76																																					
計	13	5	27	51	41	7	144																																					
	【主な進路先】 ■進学: 青森公立大、八戸工業大(3人)、八戸学院大(2人)、青森大、東北女子大、仙台大、日本経済大、日本工業大、八戸学院短期大(3人) ■就職: 株あさやホテル【サービス・調理】(2名)、株キャピタル東洋亭【調理】、株京王プラザホテル【調理】、下鴨茶寮【調理】、株金剛【サービス】、株八戸パークホテル【サービス・調理】(3名)、株サンデー【販売】(2名)、株マエダ【販売】、八戸製錬株【製造】(2名)、八戸東洋株【製造】(2名)、八戸中央青果株【販売】(2名)、有東北ファーム【製造】(2名)、プライフーズ株【製造】(2名)、ル・スップラン【製造】、スターゼンプロセッサ株【製造】(3名)、株三沢奥入瀬観光開発星野リゾート青森屋・奥入瀬溪流ホテル【サービス】、三菱製紙エンジニアリング株【製造】他																																											
特色ある教育活動	■県内中学生を対象とする「地産地消レシコンテスト(百高カップ2020)」 「ドリカム人づくり推進事業」(県事業)を活用し、普通科と食物調理科の有志37名が、企画から運営までを担い、企画運営に必要な知識・技術について実践を通して様々な視点から学んでいる。 ■地元おいらせ町についての調査研究 1学年の総合的な探究の時間で、自己と地域社会の関わりを理解するために、グループで地域の隠れた魅力を発掘したり、地域活性化のためのアイデアを高校生の視点から考えることで、社会の中での自分の役割を見いだす力を養わせる。例年2月に生徒と町長が語り合う「町長とフレッシュトーク」を実施し、地域との連携を深めながら地域に貢献できる人財の育成に努めている。 ■高校生レストラン 食物調理科の希望者で組織する調理クラブ(18名)が、学校、企業(社会福祉法人)、(一財)百石高校後援会、行政(町)と連携し、年8回(今年度は3回)運営している。学校で身に付けた知識や技術を活かす実践の場であり、職業観や勤労観を育成し、自己有用感を高めるとともに、郷土を愛するところを育み、地域に浸透した活動となっている。																																											

【生徒の状況】

百石高校

(1) 在籍数

学年	科	組	男	女	計
1	普	1	17	23	40
	〃	2	16	24	40
	食	3	12	29	41
	合計			45	76
2	普	1	16	24	40
	〃	2	15	24	39
	食	3	22	17	39
	合計			53	65
3	普	1	15	19	34
	〃	2	15	18	33
	〃	3	16	23	39
	食	4	20	18	38
	合計			66	78
総計			164	219	383

普通科			
学年	男	女	計
1	33	47	80
2	31	48	79
3	46	60	106
計	110	155	265

食物調理科			
学年	男	女	計
1	12	29	41
2	22	17	39
3	20	18	38
計	54	64	118

(2) 出身市町村別生徒数

市町村名	1学年			2学年			3学年			全校生徒		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
八戸市	15	25	40	19	24	43	21	27	48	55	76	131
おいらせ町	16	22	38	18	21	39	26	26	52	60	69	129
三沢市	9	16	25	7	10	17	10	17	27	26	43	69
十和田市	1	4	5	3	2	5	1	2	3	5	8	13
五戸町	3	6	9	1	1	2	6	3	9	10	10	20
階上町	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
六戸町	0	2	2	3	4	7	0	1	1	3	7	10
東北町	1	0	1	1	1	2	0	2	2	2	3	5
三戸町	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
田子町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
東通村	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
県外	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2
合計	45	76	121	53	65	118	66	78	144	164	219	383

(3) 通学方法

種別 学年	徒 歩	自 転 車	バ ス	鉄 道	自家用車	合計
1 年	11	21	43	1	45	121
2 年	11	26	36	2	43	118
3 年	14	22	46	2	60	144
合 計	36	69	125	5	148	383

学校名(課程)	六ヶ所高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			2	2	2	0	6																																					
学科・コース	■普通科2学級(2年次から普通コース・ビジネスコースに分かれる)																																											
学校の特徴	<p>本校は、昭和53年に開校し、創立以来の建学精神である「流汗悟道」のもと、校訓に「創造・自律・勤勉」を掲げ、自ら進んで創造性を高め、未来のために尽くす人間、厳しく自らを律し、連帯して事に当たる人間、誠実に勤めに励み社会の発展に寄与できる人間を育成することを教育目標としている。</p> <p>本校は、2年次から進路に合わせて普通コースとビジネスコースのコース別授業を行っている。普通コースでは、文系・理系に対応したカリキュラムを選択することができる。ビジネスコースでは、商業科目を学び各種の資格を取得することができる。特に、令和2年度からは「原価計算」を新設し、簿記学習に重点を置くことにより、更なる上級資格取得にも対応している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>32</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 青森公立大学経営経済学部経済学科、八戸工業大学工学部システム情報工学科、盛岡大学文学部児童教育学科保育幼児教育コース、青森明の星短期大学子ども福祉未来学科保育専攻(2人)</p> <p>■就職: 日本原燃(株)(6人)、日本原燃分析(株)(3人)、(株)ジェイテック(3人)、六ヶ所村役場(2人)、自衛官候補生(航空2人)、北部上北広域事務組合(消防2人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	1	0	4	19	3	0	27	女	3	5	7	13	3	1	32	計	4	5	11	32	6	1	59
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	1	0	4	19	3	0	27																																					
女	3	5	7	13	3	1	32																																					
計	4	5	11	32	6	1	59																																					
特色ある教育活動	<p>■村内企業研究会〈全校生徒対象〉</p> <p>地域企業と本校生徒の相互理解を図るため、複数の地域企業による個別の説明会を実施している。1学年のうちから、複数の企業担当者に直接話を伺うことで、キャリア形成を段階的に図っている。</p> <p>■インターンシップ〈2学年対象〉</p> <p>生徒が就職先として考えている企業を中心にインターンシップを実施している。上記、村内企業研究会、就職前の職場見学(3学年就職希望者)と合わせ、自分自身の将来設計をより具体的にイメージする機会としている。</p> <p>■六ヶ所高等学校活性化事業〈全校生徒対象〉</p> <p>大学・企業見学会、スタディサプリの導入、学習合宿、公務員試験対策講習などを実施し、生徒の多様な進路希望に沿ったキャリア形成を図っている。</p> <p>■仕事力養成推進事業(県事業)の活用による検定試験対策〈希望者対象〉</p> <p>「危険物取扱者」について外部講師による講習を実施している。</p> <p>■東北大スタディーツアー〈2学年対象〉</p> <p>東北大学から講師を招き、原子力エネルギーをテーマにした測定実習や講義を行い、日本のエネルギー問題について理解を深めている。</p>																																											

六ヶ所高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

性別		学年			計
		1 学年	2 学年	3 学年	
普通科	男	13	22	35	70
	女	27	25	29	81
	計	40	47	64	151

(2) 出身市町村別生徒数

性別		学年			計
		1 学年	2 学年	3 学年	
六ヶ所村		30	35	51	116
三 沢 市		6	4	5	15
十和田市		0	0	0	0
横 浜 町		2	5	7	14
東 北 町		2	2	1	5
その他		0	1	0	1
計		40	47	64	151

(3) 出身中学校別生徒数

中 学 校	1 学 年			2 学 年			3 学 年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
泊	1	6	7	10	5	15	10	4	14	21	15	36
六ヶ所第一	4	10	14	7	9	16	10	9	19	21	28	49
六ヶ所第二	0	3	3	0	2	2	5	6	11	5	11	16
千 歳	3	3	6	0	2	2	5	2	7	8	7	15
横 浜	0	2	2	1	4	5	2	5	7	3	11	14
東 北	2	0	2	0	2	2	0	1	1	2	3	5
三 沢 第 二	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2
三 沢 第 三	3	2	5	3	0	3	3	2	5	9	4	13
下 長	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計	13	27	40	22	25	47	35	29	64	70	81	151

(4) 生徒通学方法

通学方法 学年	スクールバス	自 転 車	徒 歩	そ の 他 (保護者送迎)	計
1 学年	34	4	0	2	40
2 学年	44	0	0	3	47
3 学年	57	4	3	0	64
計	135	7	3	6	151

学校名(課程)	三本木農業恵拓高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
学科・コース	<p>■普通科2学級(2年次より文理総合コース、地域・観光コースに分かれる)</p> <p>■農業科4学級(植物科学科(2年次より農業経営コース、施設園芸コースに分かれる)、動物科学科(2年次より産業動物コース、社会動物コースに分かれる)、環境工学科、食品科学科)</p>																																											
学校の特徴	<p>十和田西高校、六戸高校、三本木農業高校の統合により、令和3年4月新たに三本木農業恵拓高校として開校する。校是「未来拓創(みらいたくそう)」、校訓「自主・創造・敬愛」の下、統合となる高校の歴史、伝統、教育実践を継承しつつ、これまで培った農業教育を生かし、普通科においては農業教育との連携を図り、農業の各学科においては専門教育の更なる充実を図る。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="411 846 1390 1048"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男								女								計							
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男																																												
女																																												
計																																												
特色ある教育活動	<p>■学校独自の特色ある取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通科は、2・3年次において農業に関する学校設定科目「栽培と資源活用」を全員履修する。 全学科とも、英検取得等に向けて、通年試験に向けた個別指導を実施する。 農業の各学科については学習内容に関連した資格を取得させる。 (例:測量士補、土木施工管理技士、愛玩動物飼養士等) 文部科学省指定の寄宿舎「志岳寮(しがくりょう)」で1年間の寮教育(義務入寮:植物科学科・動物科学科、希望入寮:その他の学科)を展開する。 <p>■県事業を活用した取組(※三本木農業高校の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内ベンチャー「三農発『観光・スマート農業』推進プロジェクト事業」として、本県の観光農業の活性化及び農業の省力化を図るため、観光農業のPRや教育旅行受入モデルの開発を行うとともに、スマート農業としてドローンによる画像解析を活用した農産物の生産支援システム構築の研究に取り組んでいる。また、ドリカム人づくり推進事業では「しあわせプロジェクト」と称して、地域活性化と異年齢交流をメインに生徒による自発的な活動を行っている。 <p>■地域・企業と連携した教育活動(※三本木農業高校の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業体験に訪れる保育園・幼稚園児、小学生等を生徒が案内するファームナビゲーターに取り組んでいる。 「きみがらスリッパの生産」、「命の花プロジェクト」、月面農業の可能性を探る「ルナプロジェクト」のほか、食品会社と協力した「三農ゴロっとりんごパン」や「三農納豆」の開発等により地域や企業と連携している。 																																											

学校名(課程)	十和田工業高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			4	5	5	0	14																																					
学科・コース	■工業科4学級(2・3学年は5学級) 1 学 年:機械・エネルギー科、電気科、電子科、建築科 2・3学年:機械・エネルギー科、電子機械科、電気科、電子科、建築科																																											
学校の特徴	上北地方の工業高校として昭和38年に開校し、平成24年度に創立50周年を迎え今年で創立58年の学校である。高度な資格の取得や部活動の奨励、そして、ものづくりを通じた実践的な学習や職場体験学習等に力を入れ、確かな専門知識と技術が身に付くよう取り組んでいる。社会変化に即した生徒一人一人の希望進路の実現を確かなものとし、開校以来卒業生は様々な業界から高い評価を得ている。																																											
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>34</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>42</td> <td>63</td> <td>3</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>21</td> <td>43</td> <td>66</td> <td>3</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 長岡造形大学、八戸工業大学(11人)、日本大学工学部(5人)、東北工業大学(4人)、金沢工業大学(2人)、八戸学院大学(2人) ■就職: 日本原燃株【非鉄金属製造業】(8人)、J R 東日本株【鉄道・運輸業】(2人)、東北電力株【電気業】(4人)、日本製鉄株【鉄鋼・製鉄業】、NTT 東日本株南関東【運輸・通信業】								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	34	2	15	42	63	3	159	女	2	0	6	1	3	0	12	計	36	2	21	43	66	3	171
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	34	2	15	42	63	3	159																																					
女	2	0	6	1	3	0	12																																					
計	36	2	21	43	66	3	171																																					
特色ある教育活動	■企業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・1学年での企業見学の実施。 ・2学年を対象に、近隣企業に勤める先輩を講師として、職業講話を実施。 ・建設業協会 上北支部による出前授業並びに建設現場見学会の実施。 ・八戸地域高度技術振興センターによる教員対象の企業見学会へ参加。 ・文化祭における地元企業展の開催。 ・東北電力による企業見学。東京電力による出前授業。 ・ものづくりマイスターによる出前講座。 ・上十三・三沢電気工事協同組合青年部と高校生との交流事業。 ・NTT 東日本による出前授業。 ・八戸工業高校と I T H (ドローン技術系企業) による合同講演会を実施。 ■地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生ものづくり体験教室の実施。近隣の小学生を本校に招き技術指導。 ・地域ボランティア活動での地域の清掃活動を実施。 ・十和田秋祭りへの参加。 ・夏休み寺子屋・木工体験の実施。 ・サイエンスフェスティバル2019において球状ロボットの体験、マイクロビットの実演。 ・特別支援学校とのものづくり交流による教材教具の製作。 ・台湾新北市東海高級中学訪問団との交流会を実施。 																																											

十和田工業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍者数

科 \ 学年	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	合 計
機 械 ・ エ ネ ル ギ ー 科	男 29	男 34	男 35	男 98
	女 1	女 1	女 0	女 2
	計 30	計 35	計 35	計 100
電 子 機 械 科	—	男 30	男 32	男 62
	—	女 4	女 0	女 4
	—	計 34	計 32	計 66
電 気 科	男 32	男 35	男 28	男 95
	女 3	女 0	女 1	女 4
	計 35	計 35	計 29	計 99
電 子 科	男 26	男 31	男 28	男 85
	女 9	女 4	女 5	女 18
	計 35	計 35	計 33	計 103
建 築 科	男 25	男 21	男 23	男 69
	女 11	女 12	女 12	女 35
	計 36	計 33	計 35	計 104
合 計	男 112	男 151	男 146	男 409
	女 24	女 21	女 18	女 63
	計 136	計 172	計 164	計 472

(2) 市町村別生徒数

市町村名		性 別		合 計
		男	女	
十和田市		232	48	280
三沢市		47	1	48
八戸市		1	0	1
上北郡	七戸町	26	2	28
	おいらせ町	37	5	42
	六戸町	18	0	18
	東北町	28	6	34
三戸郡	五戸町	17	1	18
	南部町	2	0	2
	新郷村	1	0	1
合 計		409	63	472

(3) 通学方法

区 分		バ ス	列車・電車 バス併用	保 護 者 用 自 家 用	自 転 車	徒 歩	合 計
人 数	男	75	11	98	200	25	409
	女	2	0	22	32	7	63
	合計	77	11	120	232	32	472

学校名(課程)	三沢商業高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			3	3	3	0	9																																					
学科・コース	【くくり募集】 ■商業科3学級(商業科、情報処理科) 1 学年:商業科・情報処理科3学級(くくり募集) 2・3学年:商業科2学級、情報処理科1学級																																											
学校の特徴	令和5年に創立60周年を迎える歴史と伝統のある学校で、商業科と情報処理科を設置している高校である。将来におけるビジネスの諸活動に主体的、合理的、かつ倫理観を持って取り組むことができる人財の育成を目標として、地域社会の発展に貢献する人財の輩出を目指している。また、資格取得や部活動にも力を入れており、成果を上げている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>21</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>39</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>39</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 青森中央学院大学(5人)、八戸学院大学(4人)、東北学院大学(3人)、中央大学(1人)、日本大学(1人)、専修大学(1人)、岩手県立大学宮古短期大学部(1人)、青森明の星短期大学(4人) ■就職: 東北町役場(2人)、青森県警(1人)、みちのく銀行(2人)、日本原燃(7人)、東京厚生信用組合(2人)、東北電力(1人)、自衛隊(6人)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	21	2	9	17	12	0	61	女	18	14	18	22	24	0	96	計	39	16	27	39	36	0	157
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	21	2	9	17	12	0	61																																					
女	18	14	18	22	24	0	96																																					
計	39	16	27	39	36	0	157																																					
特色ある教育活動	■資格検定の取得への取組について 平成27年度よりスーパー・アカウンティング・ハイスクール(SAH)の指定を受け、大学と連携して全校生徒で日商簿記2級取得に向けて取り組んでいる。 ■多様なしごと創出プロジェクト(県事業) 2学年情報処理科の生徒を対象に関係する地元企業の技術者より、コンピュータシステム開発に係る講演と基礎的なプログラミング技法の実習を実施。情報処理関係科目での技能習得に向けた意欲の向上と将来のビジネスの現場で通用するコンピュータスキルを養う。 ■地域・企業等と連携した教育活動について 3学年118名が課題研究の授業で地域・企業と連携した活動を行っている。課題研究は週3時間で実施しており、6部会編成となっている。実体験推進委員会を年2回実施し、市役所・漁業協同組合・商工会等の方々と情報交換を行っている。生徒も部会ごとに指導・助言をいただいている。 ○地元企業と連携し、地産地消をテーマに商品開発を実施。 (空自唐揚げ、ピクルス、イカピザ、スープ、ごぼう茶プリン) ○三沢市のPR動画を制作し、三沢駅構内で放映。 (観光地紹介・飲食店紹介など現在3動画が放映中) ○地元企業と連携し、各種コンテストへの参加。 (スマイルフードプロジェクト、P-1グランプリ)																																											

三沢商業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学年	クラス	1組	2組	3組		合計
1年	男子	12	12	12	/	36
	女子	28	27	27		82
	計	40	39	39		118
2年	学科	商業科			情報処理科	
	クラス	1組	2組	計	3組	合計
	男子	14	13	27	15	42
	女子	26	27	53	21	74
	計	40	40	80	36	116
3年	学科	商業科			情報処理科	
	クラス	1組	2組	計	3組	合計
	男子	13	13	26	19	45
	女子	27	27	54	19	73
	計	40	40	80	38	118
全校 学科別	学年	1学年	商業科	情報処理科	合計	
	男子	36	53	34	123	
	女子	82	107	40	229	
	計	118	160	74	352	

※全校学科別は1学年がぐくり募集のため商業科・情報処理科は2・3学年の合計

(2) 出身市町別生徒数

	1学年			2学年			3学年			合計		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	総計
青森市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おいらせ町	12	25	37	4	7	11	13	12	25	29	44	73
五戸町	0	1	1	0	3	3	1	2	3	1	6	7
三戸町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南部町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七戸町	0	1	1	2	2	4	4	5	9	6	8	14
東北町	6	11	17	6	10	16	7	11	18	19	32	51
十和田市	1	10	11	7	10	17	3	7	10	11	27	38
野辺地町	1	0	1	0	1	1	1	1	2	2	2	4
八戸市	2	10	12	1	11	12	2	7	9	5	28	33
三沢市	12	15	27	20	24	44	11	18	29	43	57	100
むつ市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六戸町	0	6	6	2	4	6	3	6	9	5	16	21
六ヶ所村	1	1	2	0	2	2	0	4	4	1	7	8
東通村	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
県外	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総計	36	82	118	42	74	116	45	73	118	123	229	352

(3) 主要な通学方法

区分	列車 (青い森鉄道)	バス (十鉄)	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
人数	138	32	13	81	53	35	352

学校名(課程)	三沢高校(定時制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計
			1	1	1	0	3
学科・コース	【単位制】 ■普通科1学級						
学校の特徴	<p>働きながら学ぶ生徒が明るく楽しい中に「強く逞しく」学校生活を送れるよう、学習指導、生徒指導、進路指導、学校行事などを有機的に結合させている。</p> <p>生徒全員が各部に所属し活動している。スクールソーシャルワーカーが常駐し、スクールカウンセラーなど外部とも連携を図り、生徒一人一人に寄り添った教育を行っている。全日制と同じ制服・運動着を着用し、施設も共有している。</p>						
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	1	0	0	3	2	0	6
女	0	0	2	3	2	4	11
計	1	0	2	6	4	4	17
	【主な進路先】 ■進 学 ：八戸学院大学(1人)、神戸電子専門学校(1人)、日本工学院専門学校(1人) ■就 職 ：プライフーズ株【製造管理】(1人)、株三沢警備保障【総合警備職】(1人)、名糖運輸株埼玉物流センター【事務】(1人)等 ■就職進学 ：ヘアーモードケイ株(1人)、東京商科・法科学院専門学校(1人)						
特色ある教育活動	■自校三修制による夜間定時制 他校通信制課程との併修をせずに、高校卒業に必要な74単位を3年間で修得し卒業することができる。						
	■総合的な探究の時間を活用した在学期間を見通したキャリアプランニング 1・2年次では地域の方々による就職ガイダンスを実施している。今年度は、自衛隊青森地方協力本部、プライフーズ株式会社、株式会社小坂工務店の人事の方々から講話をしていただいた。2年次にはインターンシップ、3年次にはハローワークによる就職ガイダンスを実施している。						
	■地域と連携した教育活動 2年次には三沢市学校給食センターの栄養教諭による食育教室を実施している。						
	■在学中によく取得している資格 ビジネス文書検定や英語検定を取得することができる。						

三沢高校（定時制）

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計
男	17	11	8	0	36
女	8	5	7	0	20
計	25	16	15	0	56

(2) 出身町村別生徒数（出身中学校の所在地）

市町村名	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
三 沢 市	11	3	7	3	6	4			34
十 和 田 市	3	2	2						7
おいらせ町	1	1	1	1	2	1			7
六 戸 町		1				1			2
東 北 町	2	1							3
六ヶ所村			1						1
県 外				1		1			2
そ の 他									
計	17	8	11	5	8	7			56

(3) 通学方法

電車 バス	電車	バス	自転車	自家用車 (送迎含む)	徒歩	計
0	0	3	19	14	20	56

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (下北地区)

目 次

【全日制課程】

田名部高校	1
大湊高校	3
大間高校	5
むつ工業高校	7

【定時制課程】

田名部高校	9
-------	---

学校名(課程)	田名部高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	5	5	6	0	16
学科・コース	【単位制】(令和元年度導入) ■普通科5学級(2年次から理型コース、文型コースを選択) ■英語科1学級(3学年のみ・令和2年度末閉科)						
学校の特徴	創立104年を数え、普通科の2・3学年に理型コースと文型コース並びに3学年に英語科を設定している高校である。各コースともにその特徴を生かしながら、「ラウエの継承と明日への挑戦」の精神で、多くの生徒が主体的な学びを取り入れ、4年制大学進学を目指している。また、各種活動なども活発で、文武一道の精神で日々の教育活動を展開している。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	55	4	9	2	5	4	79
女	74	11	23	2	5	5	120
計	129	15	32	4	10	9	199
	【主な進路先】 ■進学: 東京大学、北海道大学、千葉大学、東京海洋大学、弘前大学(15人)、岩手大学(10人) 他 ■就職: 青森県職員、むつ市職員、東京都特別区職員、青森県警、防衛大学校(2人)						
特色ある教育活動	■大学入学共通テスト問題研究ワークショップ(数学) 【進学力パワーアップ事業(県事業)】 大学入学共通テスト関連問題の見方、考え方、生徒への指導方法等を教員間で話し合うことにより、受験で求められる学力を理解し、必要な授業力を向上させるために予備校講師を招聘し、ワークショップを実施する。 ■総合的な探究の時間における課題研究 【未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業(県事業)】 生徒が課題研究に向けて、地域の課題を解決するための方策を模索する中で、自己の在り方生き方を考えることを目的とする。生徒が課題を設定し、それを解決するための方法等について各種講演会と指導する教員のための研修会を実施する。 ■田名部高校英語指導力向上事業に係る研究会【英語指導力向上事業(県事業)】 ペアワークとグループワークを多用できない中で、授業効果を上げるための授業方法を考察する。また、コミュニケーション力を育みながら、文法の教え方を考えるとともに、大学入試で出題される文法を知ること、定着につながる指導方法を模索するために、大学講師を招聘し、「高校英語授業における文法指導を考えるー「文法」を「教える」とは?」というテーマで研究協議を実施している。						

田名部高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	学年 性別	1年次			2学年			3学年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科		77	114	191	98	96	194	80	76	156	255	286	541
英語科		-	-	-	-	-	-	9	30	39	9	30	39
合計		77	114	191	98	96	194	89	106	195	264	316	580

(2) 出身市町村別生徒数

学科	市町村 学年	むつ市	東通村	風間浦村	大間町	佐井村	上北郡	その他	合 計
		普通科	1年次	167	13	0	3	2	5
2学年	167		8	1	7	4	7	0	194
3学年	130		10	3	2	2	9	0	156
計	464		31	4	12	8	21	1	541
英語科	1年次	-	-	-	-	-	-	-	-
	2学年	-	-	-	-	-	-	-	-
	3学年	34	4	0	0	0	1	0	39
	計	34	4	0	0	0	1	0	39
合計		498	35	4	12	8	22	1	580

(3) 通学方法別生徒数

学科	区分 学年	列車	バス	列車・バス	自転車	徒歩	その他	合計
		普通科	1年次	6	25	0	124	20
2学年	6		30	2	117	25	14	194
3学年	12		26	0	89	17	12	156
計	24		81	2	330	62	42	541
英語科	1年次	-	-	-	-	-	-	-
	2学年	-	-	-	-	-	-	-
	3学年	1	8	0	20	8	2	39
	計	1	8	0	20	8	2	39
合計		25	89	2	350	70	44	580

学校名(課程)	大湊高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			4	5	5	0	14																																					
学科・コース	【単位制】 ■総合学科4学級 (2年次から各系列に分かれる。2・3年次は5学級) 人文科学系列、自然科学系列、健康福祉系列(福祉コース・家庭コース)、 情報ビジネス系列(情報コース・ビジネスコース)																																											
学校の特徴	創立は昭和23年で、平成30年度に創立70周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。本校は総合学科で、個性を生かした主体的な学習や将来の職業選択を視野に入れた自己進路の自覚を深めさせる学習を行っている。また、少人数指導も取り入れ、一人ひとりを大切に授業を実施している。 2年次からは4つの系列に分かれ各系列の特徴を生かしながら、キャリア教育に重点を置き、将来を真剣に考えるために「産業社会と人間」、「針路学(総合的な探究の時間)」を通じて地域社会の発展に貢献する人財育成を目指している。また、部活動や資格取得にも力を入れ、文武両道をモットーに教育活動を行っている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>26</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>39</td> <td>28</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>45</td> <td>24</td> <td>55</td> <td>39</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>176</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 札幌市立大学(1人)、青森公立大学(4人) 公立千歳科学技術大学(1人)、山形県立米沢女子短期大学(1人) 他 ■就職: 日本郵便株式会社【サービス業】(4人)、自衛隊(9人) 他								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	26	3	16	11	1	0	57	女	19	21	39	28	12	0	119	計	45	24	55	39	13	0	176
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	26	3	16	11	1	0	57																																					
女	19	21	39	28	12	0	119																																					
計	45	24	55	39	13	0	176																																					
特色ある教育活動	■むつ市役所との連携による教育活動 (1) 2年次全員が「総合的な探究の時間」でむつ市企画政策部ジオパーク推進課と連携し、「下北ジオパーク」をテーマに、現地見学での情報収集、整理・まとめ、発表による探究活動の実施。なお、「観光甲子園2020」へ参加予定である。 (2) 3年次健康福祉系列福祉コース6名が「介護や認知症に係る福祉に係る体験授業」での連携事業の実施。内容は①認知症高齢者の模索模擬訓練、②介護予防事業と高齢者の体力測定、③生活支援体制整備事業の地域の見守り活動の見学・会議への参加により、地域住民や高齢者との交流を深めている。 (3) 2年次健康福祉系列福祉コース10名が「むつ市の高齢者事業の取組や地域の人々との関わり方に関する出前講座」を計9回実施し、地域包括ケアシステム、介護保険、高齢者の福祉サービス、地域づくりの取組等への理解を深めた。 (4) 健康福祉系列家庭コースの生徒による(令和元年度24名)、地域の外部施設(大湊幼稚園、大平保育園、ゆきの子保育園、大湊カトリック幼稚園)での家庭科保育実習を実施している。令和元年度は計6回実施した。 ■大学との連携による教育活動(次年度より実施予定) (1) 青森中央学院大学・青森中央短期大学による遠隔授業や講義を実施するとともに、教科や部活動、進路指導への専門的なサポートにより双方の教育活動の活性化を図る。 (2) 青森明の星短期大学との教育に関わる交流・連携により、幼児教育等、進路に対する意識や学習意欲を高め双方の教育活動の活性化を図る。																																											

大湊高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科		年次		1 年	2 年	3 年	合 計
		男	女				
総合学科	男	54		54	58	70	182
	女		83	83	114	115	312
合計		137		137	172	185	494

(2) 通学方法別生徒数

通学方法	1年			2年			3年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
列車・バス	2	9	11	2	11	13	4	5	9	8	25	33
路線バス	12	19	31	17	32	49	15	31	46	44	82	126
スクールバス	11	23	34	11	31	42	16	32	48	38	86	124
自転車	5	3	8	5	1	6	2	1	3	12	5	17
徒歩	7	8	15	6	5	11	7	9	16	20	22	42
自家用車送迎	17	21	38	17	34	51	26	37	63	60	92	152
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	54	83	137	58	114	172	70	115	185	182	312	494

(3) 出身市町村別生徒数

市・郡	1 年			2 年			3 年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
むつ市	41	69	110	48	99	147	54	100	154	143	268	411
大間町	1	0	1	1	2	3	1	2	3	3	4	7
東通村	5	3	8	5	9	14	6	3	9	16	15	31
風間浦村	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0	5	5
佐井村	2	1	3	0	0	0	0	1	1	2	2	4
横浜町	2	5	7	1	1	2	5	3	8	8	9	17
六ヶ所村	2	2	4	1	0	1	0	1	1	3	3	6
その他(県内)	1	1	2	1	2	3	3	1	4	5	4	9
その他(県外)	0	1	1	1	0	1	1	1	2	2	2	4
合計	54	83	137	58	114	172	70	115	185	182	312	494

学校名(課程)	大間高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	2	2	2	0	6
学科・コース	■普通科2学級(2学年からは以下のコース別のカリキュラムで学習) I型(主に就職を希望する生徒を対象とするコース) II型(主に進学を希望する生徒を対象とするコース)						
学校の特徴	昭和50年に田名部高校大間分校から独立昇格し、今年で46年目を迎えた高校である。地域校として、少人数教育の強みを活かし、就職・進学ともにきめ細やかな学習指導・進路指導・生徒指導により、有為な人財を輩出している。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進 学			就 職		その他	合計
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	2	1	10	4	6	3	26
女	4	1	14	4	0	1	24
計	6	2	24	8	6	4	50
	【主な進路先】 ■進学: 福島大学、北海道教育大学、函館大学、青森中央学院大学等 ■就職: JP ビジネスサービス、キタセキ、日本郵政、自衛隊、警察、国土交通省等						
特色ある教育活動	■大間 GP (グラデュエーションポリシー): 大間高校のスクールポリシーとして大間 GP を定め、本校のあらゆる教育活動の実施において振り返りシートを作り、意識付けをしている。 ■北通り・大畑地区中高連携協議会: 大間高校を中心に北通り・大畑地区の中学校と連携し、年2回、授業研究を通じて学力向上と高校教育の理解を深めている。先日は、「地域の未来を創る!学校魅力化セミナー」というテーマで、一般町村民にも広く呼びかけ、約40名余りの参加をいただいた。 ■ボランティア活動部・めんちょこ活動部・生徒会の活動: 福祉・介護体験、大間町福祉マップ作製と町民文化祭出展、町内清掃活動、町おこし活動としてのフェリーターミナルでの「歓迎旗振り」、あおもりオペーション高校生動画チャレンジ制作・「オンライン夏祭り」参加など、町内で幅広く活動している。 ■進路指導・学習指導: 生徒の進路の多様性に対応し、少人数の強みを活かして、就職から進学まできめ細やかな指導をしている。今春、福島大学には一般入試から合格することができた。 学習指導: 学力評価として「学びの基礎診断テスト」を全学年で全学期に実施 進学指導: 学習メンター制、県事業「進学力を高める高校支援事業」、「親と子の進学ガイダンス」その他各種対策講座 就職指導: 県事業「高校生の就職総合支援プロジェクト事業」、「仕事力養成推進事業」を活用したインターンシップや「ぼくらの働き方講座」、公務員受験対策講座の実施等 資格試験・模擬試験等の受験料補助: PTA 会費・大間高校教育振興会資金(北通三町村からの支援金)の活用 その他: 県事業「大学生とカタル!キャリア形成サポート事業」の実施等 ■多種多彩な教職員研修: 教職員の予備校派遣研修、特別支援教育、生徒理解、学習指導、いじめ対応等に係る校内研修など、教職員の多様な役割に対応した研修を定期的に企画開催しスキルの向上に努めている。						

大間高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

クラス	1 年			2 年			3 年			合計
	11	12	計	21	22	計	31	32	計	
男	11	10	21	10	10	20	12	10	22	63
女	8	8	16	10	10	20	11	10	21	57
合計	19	18	37	20	20	40	23	20	43	120

(2) 出身町村別生徒数

市町村	大間		風間浦	佐井		むつ	その他	合計
中学校	大間	奥戸	風間浦	佐井	牛滝	大畑	県外	
1年	22	6	2	3	0	3	1	37
2年	19	7	3	8	1	2	0	40
3年	27	5	6	5	0	0	0	43
合計	68	18	11	16	1	5	0	120

(3) 通学方法別生徒数

区分 学年	バス	自転車	徒歩	送迎	合計
1年	8	1	12	16	37
2年	14	0	3	23	40
3年	8	1	6	28	43
計	30	2	21	67	120

学校名(課程)	むつ工業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	3	4	4	0	11																																					
学科・コース	■工業科3学級(2・3学年は4学級) 1 学年:機械科、電気科、設備・エネルギー科 2・3学年:機械科、電気科、電子科、設備・エネルギー科																																											
学校の特徴	令和5年に創立60周年を迎える歴史と伝統のある学校で、むつ・下北地域唯一の工業高校である。各学科の特性を生かし、地元企業へのインターンシップやものづくりによる地域連携等の活動を通して、産業経済の振興と発展と共に、地域に貢献できる地元出身技術者の育成を目指している。また、電気工事士や技能士、施工管理士等の資格取得にも力を入れ、さらには、バレーボール部やボート部、軟式野球部等の部活動も盛んで、県大会上位入賞を果たしている。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>26</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>38</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学: 日本工業大学基幹工学部機械工学科、東北工業大学建築学部建築学科(2人)、八戸工業大学工学部土木建築工学科・機械工学科・システム情報工学科(2人) ■就職: 東北電力株、トヨタ自動車東日本株、日産自動車株、東北電気保安協会、(株)NTT東日本ー東北、本田技研工業(株)、ユニオン建設(株)、(株)エアテック、公務員(青森県職員事務職(2人)、海上自衛官(6人)、航空自衛官)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	7	0	10	26	50	0	93	女	0	0	5	12	13	0	30	計	7	0	15	38	63	0	123
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	7	0	10	26	50	0	93																																					
女	0	0	5	12	13	0	30																																					
計	7	0	15	38	63	0	123																																					
特色ある教育活動	■特徴的な教育活動 (1) 他科との連携による講習会の実施により、電気工事士2種は全学科において取得可能な指導体制が確立している。 (2) 機械加工や機械検査、電子機器組立、建築配管等の技能士(厚生労働省)資格取得に向けて各学科が連携しながら講習会を実施し合格者数を更新している。 (3) 基礎学力定着のために朝学習に取り組んでいる。 (4) 進学希望者対象に長期休業中及び放課後に計画的な進学講習を実施している。 ■地域・企業等と連携した教育活動 (1) 電子科3学年が海洋研究開発機構(JAMSTEC)と洋上における風速測定用センサーの共同開発研究を行っている。 (2) 設備・エネルギー科1・2学年がエネルギーに関する教育支援事業(文部科学省事業)を活用し、新エネルギーに関する知識・技術習得のための講習会や出前授業を受講している。 (3) 各学科における地元企業見学及びインターンシップ(令和元年度45社)を実施している。 (4) 近隣の特別支援学校と交流し教材教具「集塵機製作・イスの手すり」を製作している。 (5) 近隣小学校対象の「工業見学会・ものづくり教室」を実施している。 (6) むつ市産業まつりへの出展を行っている。																																											

【生徒の状況】

むつ工業高校

(1) 在籍生徒数

() 内は女子の内数

	第1学年	第2学年	第3学年	合 計
機 械 科	35 (4)	33 (6)	34 (0)	102 (10)
電 気 科	35 (6)	34 (6)	29 (5)	98 (17)
電 子 科		35 (13)	33 (15)	68 (28)
設備・エネルギー科	35 (6)	32 (5)	35 (7)	102 (18)
合 計	105 (16)	134 (30)	131 (27)	370 (73)

(2) 出身市町村別生徒数

		むつ下北地区					上北地区			県内その他	県外	合 計
		むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	野辺地町	横浜町	六ヶ所村			
機 械 科	1年	30	1	1	0	0	0	3	0	0	0	35
	2年	27	1	1	1	0	0	2	1	0	0	33
	3年	32	1	0	0	0	0	0	0	1	0	34
	計	89	3	2	1	0	0	5	1	1	0	102
電 気 科	1年	31	0	2	0	0	0	2	0	0	0	35
	2年	28	0	6	0	0	0	0	0	0	0	34
	3年	24	0	5	0	0	0	0	0	0	0	29
	計	83	0	13	0	0	0	2	0	0	0	98
電 子 科	1年											
	2年	28	0	2	2	0	0	2	1	0	0	35
	3年	30	0	1	1	0	0	0	0	0	1	33
	計	58	0	3	3	0	0	2	1	0	1	68
設備・エネルギー科	1年	25	0	5	0	0	0	2	3	0	0	35
	2年	27	0	3	1	0	0	1	0	0	0	32
	3年	30	0	3	1	0	0	0	1	0	0	35
	計	82	0	11	2	0	0	3	4	0	0	102
合 計	1年	86	1	8	0	0	0	7	3	0	0	105
	2年	110	1	12	4	0	0	5	2	0	0	134
	3年	116	1	9	2	0	0	0	1	1	1	131
	計	312	3	29	6	0	0	12	6	1	1	370

(3) 通学方法別生徒数

	徒 歩	列 車	バ ス	自転車	自家用車	その他	合 計
1 学年	18	8	23	45	11	0	105
2 学年	13	5	35	60	21	0	134
3 学年	18	1	29	64	19	0	131
合 計	49	14	87	169	51	0	370

学校名(課程)	田名部高校(定時制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	1	1	1	1	4																																					
学科・コース	【単位制】 ■普通科1学級																																											
学校の特徴	<p>下北地区唯一の定時制高校として着実な歩みを続けている。夜間定時制高校であり、学業とアルバイト就労の両立に励む生徒も多い。</p> <p>■校訓 「自律」、「協和」、「純正」</p> <p>■教育目標 「全人的な人間教育の実現」</p> <p>■目指す学校 生徒一人一人に確かな夢を抱かせ、その夢を実現させる。</p> <p>■重点指導事項</p> <p>(1) わかりやすい学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い授業を行うために日々自己研鑽に努める。 ・考査問題の質を高める。 <p>(2) 生徒を第一に考えた温かみのある生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える生徒に寄り添い、的確な支援を実行する。 <p>(3) 丁寧かつ攻めの進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に対する意識啓発を図るために、的確かつ効果的な指導を計画的に行う。 ・進路講演会を年6回行うことで、進学・就職への意識を高めている。 																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 青森明の星短期大学、長崎リハビリテーション学院、代々木アニメーション学院、青森高等技術専門学校(各1人)</p>								進 学			就 職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	0	0	1	3	2	0	6	女	0	1	2	3	2	2	10	計	0	1	3	6	4	2	16
	進 学			就 職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	0	0	1	3	2	0	6																																					
女	0	1	2	3	2	2	10																																					
計	0	1	3	6	4	2	16																																					
特色ある教育活動	<p>■ 北斗高校の通信制を利用することにより、卒業に必要な単位を修得できる制度がある。(通常の授業のほかに、添削問題(レポート)、面接(スクーリング)、テストにより所定の単位を修得することができる。)</p> <p>■ 令和2年度から定時制では活動期間を設け、【総合運動部】か【総合文化部】かを「自分で選択」する形で、「部活動全員加入」とした。【総合運動部】を希望する生徒は「運動が好き」「体力をつけたい」「試合に出たい」などといった幅広い理由で選択し、【総合文化部】は、「絵を描くのが得意」「作品を出展してみたい」などの美術系活動、「漢字やワープロの資格を目指したい」などの資格取得系活動に分かれて活動をしている。</p>																																											

田名部高校（定時制）

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

普通科	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
男	12	6	9	7	34
女	7	13	8	4	32
計	19	19	17	11	66

(2) 出身市町村別生徒数

年次 市町村	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
むつ市	17	18	16	9	60
風間浦村	0	0	0	0	0
大間町	0	0	0	0	0
佐井村	0	0	0	0	0
東通村	2	1	1	2	6
上北郡	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	19	19	17	11	66

(3) 通学方法

区分	列車	バス	列車 バス併用	バイク (自二)	バイク (原付)	自転車	徒歩	自動車	合計
計	0	0	0	0	0	19	14	33	66

第2回地区意見交換会 参考資料

各県立高等学校の状況 (三八地区)

目 次

【全日制課程】

八戸高校	1
八戸東高校	3
八戸北高校	5
八戸西高校	7
三戸高校	9
名久井農業高校	11
八戸水産高校	13
八戸工業高校	16
八戸商業高校	18

【定時制課程】

八戸中央高校	20
--------	----

【通信制課程】

八戸中央高校	22
--------	----

学校名(課程)	八戸高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18																																					
学科・コース	■普通科6学級(2年次からは文型・理型に分かれて進路に応じた授業を実施)																																											
学校の特徴	<p>本年度創立127年を迎えた。八万平方メートルに及ぶ広大な敷地の中に校舎が位置し、自然体験学習のために整備した「八高の森」を加えると全国屈指の校地面積を誇っている。文武両道・質実剛健・自主自立の校風の下、「一須ク自重スヘシ一唯本分ニ向ツテ猛進セヨ一師ヲ敬シ友ヲ愛セヨ」の綱領が、学校生活の規範や行動指針として脈々と受け継がれている。国際的視野を持って社会の発展に寄与できる人材を育成することを目指して、生徒自らが学力を高めていける仕組みの構築、探究心を伸ばし能力を発揮する機会の積極的な提供等を柱に、未来を託せる輝きと誇りを持った生徒の育成を目指している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職(大学校のみ)</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>95</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>107</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>202</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 東京大・京都大・東京工業大(以上各1人)、大阪大(2人)、東北大(33人)、弘前大(18人)、岩手大(13人)、国公立大医学科(13人)、早稲田大(5人)、慶応大(3人)、明治大(4人)、中央大(3人)</p>								進学			就職(大学校のみ)		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	95	0	10	0	2	2	109	女	107	2	5	0	2	4	120	計	202	2	15	0	4	6	229
	進学			就職(大学校のみ)		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	95	0	10	0	2	2	109																																					
女	107	2	5	0	2	4	120																																					
計	202	2	15	0	4	6	229																																					
特色ある教育活動	<p>■「SDGs」を活用した課題研究</p> <p>【未来社会を切り拓く高校生の資質能力育成事業(県事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年では、SDGsを絡めてキャリア教育の基礎づくりを行う。 ・2学年では、17の目標に関連した課題研究を具体的に行う。研究を深めるために大学(八戸学院大学、八戸工業大学、岩手大学、東北大学)等を訪問して研究の指導を受ける。 <p>【八戸圏域高等学校地域活動促進事業(八戸市庁市民連携推進課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係課等の指導を受けつつ八戸圏域の地域資源をテーマに研究を行うことで「2030年の八戸」を提言する。 <p>■38Real Style Project</p> <p>【女子目線による地元の魅力の調査・発信・共有事業(三八地域県民局)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有志女子生徒が市内の大学生と共同で地域産業や地元の暮らしなどを調査し、地域への人財定着と地域振興につなげるための情報発信と情報共有をする。 <p>■プレゼンテーション・コミュニケーション能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年と2学年で「ビブリオバトル大会」、「ディベート大会」の実施等 <p>■グローバル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自で海外語学研修の実施等(今年度は中止) 																																											

八戸高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	学年		第1学年	第2学年	第3学年	計
	性別					
普通科	男		121	131	124	376
	女		119	113	102	334
	計		240	244	226	710

(2) 出身市町村別生徒数

市町村		人数
八戸市		492
三沢市		49
十和田市		23
県内その他の市		6
三戸郡	三戸町	14
	五戸町	18
	田子町	4
	南部町	20
	階上町	9
	新郷村	1

上北郡	おいらせ町	32
	七戸町	5
	東北町	4
	その他の町村	13
県内その他の町村		6
県外		14
計		710

(3) 通学方法

列車のみ	バスのみ	列車・バス	バス・自転車	列車・バス・自転車	自転車のみ	徒歩のみ	その他	計
0	223	108	43	13	87	73	163	710

学校名(課程)	八戸東高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	6	6	6	0	18
学科・コース	■普通科5学級(2年次から文型、理型に分かれる) ■表現科1学級						
学校の特徴	来年度創立120周年を迎える歴史と伝統をもつ学校である。普通科はほとんどの生徒が大学進学を希望し、その約半数が国公立大学へ進学している。全国唯一の学科である表現科も、表現力・創造力・コミュニケーション能力を高め、人文・教育・芸術系等の文系大学・学部へ数多く進学している。「勉学・健康・優雅・協調」の校訓の下、『学力と品性の向上』を行動の指針として学校運営を進めている。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
	進学		就職		その他	合計	
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	54	0	8	1	2	2	67
女	102	7	31	2	8	2	152
計	156	7	39	3	10	4	219
	【主な進路先】 ■進学:北海道教育大(3人)、弘前大(9人)、岩手大(14人)、東北大(1人)、秋田大(4人)、青森県立保健大(4人)、青森公立大(7人)、岩手県立大(5人)、長岡造形大(4人)、八戸工業大(9人)、八戸学院大(7人)、日大芸術学部(1人) ■就職:八戸市職員(2人)、自衛官(6人)、国家公務員・税務(1人)						
特色ある教育活動	■ドリカム人づくり推進事業【県事業】 (今年度まで11回指定) 表現科全生徒90人を対象に外部講師によるワークショップ等を実施し、表現力や創作力を高め、表現科公演において成果発表を行っている。 普通科の生徒は、表現科公演の鑑賞のほか、表現科の生徒と合同の体育・芸術・地理歴史の授業を通して表現力を高め、逆に表現科の生徒は普通科の生徒との対話を通して一般教養を広げている。普通科と表現科の生徒の互いに学び合う関係が築かれ、教科の学習をはじめキャリア教育において教育効果を高めている。 ■進学力を高める高校支援事業【県事業】 (今年度まで連続で6回指定) 1学年全230人を対象に、選抜性の高い上級学校への進学を目指す進路意識の高揚を図るため、学問研究(大学教員の講義等)、大学見学会を実施している。 ■企業と連携した教育活動及び地元で活躍できる人財育成を目指した進路指導 地域理解と職業観を養うことを目的に「校外体験学習」を実施。2学年230人が地元企業や公共機関約40の事業所に分散し訪問している。また、多くの生徒が国公立大学を志望し進学先は全国に広がっているものの、有益な人財が地元で活躍することを見据えて、八戸市内の上級学校への進路指導も行っている。 ■文化的活動を通じた地域貢献 表現科公演の一般公開のほか、書道部が地域の各イベントで書道パフォーマンスを披露。演劇部は八戸市、六戸町、洋野町で公演活動、音楽部は八戸市の成人式で合唱披露など、両部も地域の各種イベントに参加協力している。また、夏季休業中は、例年160人近くの生徒が近隣の小学校2校で学習支援ボランティアを務め、学習指導の補助を行っている。						

八戸東高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学年 学科	第1学年			第2学年			第3学年			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科	82	119	201	88	112	200	90	105	195	260	336	596
表現科	4	26	30	3	27	30	2	28	30	9	81	90
計	86	145	231	91	139	230	92	133	225	269	417	686

(2) 出身市町村別生徒数

市町村名	八戸市	三 戸 郡						上北郡	岩手県	その他	合 計
		三戸町	南部町	五戸町	四戸町	階上町	新郷村				
男	224	5	13	8	2	5	0	4	5	3	269
女	316	11	18	16	6	23	1	18	6	2	417
計	540	16	31	24	8	28	1	22	11	5	686

(3) 通学方法

区分	列車のみ	バスのみ	列車・バス	自家用車	自家用車・バス	自転車	徒 歩	合 計
計	105	217	2	93	57	94	118	686

学校名(課程)	八戸北高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計
			6	6	6	0	18
学科・コース	【単位制】 ■普通科6学級(2年次から文類型・理類型に分かれる)						
学校の特徴	令和4年創立60年を迎える歴史と伝統のある学校で、当初は普通科と理数科があったが平成20年に理数科が廃止となり、8学級から段階的に学級減となって現在は6学級の進学型単位制高校である。目指す学校像として「地域の期待に応え、保護者の願いを叶え、生徒の可能性を拓く学校」を掲げ、知徳体のバランスの取れた教育を行うとともに、将来地域のリーダーとなれる人財育成を行っている。						
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進学			就職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	94	0	6	0	2	4	106
女	99	5	23	0	1	3	131
計	193	5	29	0	3	7	237
	【主な進路先】 ■進学: 北海道教育大(4人)、大阪大学(1人)、横浜国立大学(2人)、弘前大学(11人)、岩手大学(14人)、秋田大学(7人)、山形大学(5人)、青森県立保健大学(4人)、早稲田大学(1人)、法政大学(4人)、神奈川大学(4人)、立命館大学(2人)、東北学院大学(10人)、東北福祉大学(6人)、八戸工業大学(7人)						
特色ある教育活動	■大学教員による出張講義(進学カパワーアップ事業) キャリア教育の一環として、1・2年次(480人)を対象に、10月に大学講師による出張講義を実施している。 ■職業人と語る会(先輩から後輩への夢相伝講座) 職業観育成のために、1年次(240人)を対象に、9月に職業人による出前講座を実施している。 ■難関大プロジェクト 生徒の進路志望達成のために、全年次希望生徒(各年次80人程度)を対象に、1年次10月から難関大プロジェクトを実施している。 ■学校推薦型・総合型選抜試験希望者への指導 学校推薦型・総合型選抜試験希望者(約80人)に全職員で4月から指導にあたっている。 ■SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の成果の継承と再指定のアプローチ SSH事業の成果の一部は現在も「総合的な探究の時間」における課題研究に継承されている。また現在、再指定に向け県教委と連携しながら文部科学省に申請を行っているところである。 【関連事業等】 <ul style="list-style-type: none"> ・「未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業」研究指定校として取り組んでいる。 ・ユネスコスクール申請中(昨年度国内審査通過、ユネスコ本部の審査待ち) 						

八戸北高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	性別	年次			合計
		1	2	3	
普通科	男	104	96	90	290
	女	136	142	146	424
	計	240	238	236	714

(2) 出身市町村別生徒数

市町村	年次				
	1	2	3	合計	
八戸市	186	172	183	541	
三沢市	10	18	8	36	
十和田市	3	1	1	5	
むつ市	1	2	0	3	
青森市	0	1	0	1	
三戸郡	五戸町	1	6	2	9
	三戸町	0	4	0	4
	南部町	11	5	7	23
	階上町	14	11	11	36
	田子町	0	1	0	1
	新郷村	1	2	1	4
上北郡	おいらせ町	7	9	6	22
	東北町	0	0	3	3
	六ヶ所村	0	0	2	2
東通村	0	0	1	1	

市町村	年次			
	1	2	3	合計
岩手県	6	6	10	22
山形県	0	0	1	1
合計	240	238	236	714

(3) 通学調べ

	列車	バス	列車バス併用	自転車	徒歩	その他	合計
計	188	201	1	102	126	96	714

学校名(課程)	八戸西高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			6	5	5	0	16																																					
学科・コース	■普通科5学級(2・3学年は4学級) ■スポーツ科学科1学級																																											
学校の特徴	<p>1975年4月に開校し、今年で創立46年を迎えた。創立当初から「文武両道」を目標にし、勉学・部活動に力を入れてきた。2001年4月にはスポーツ科学科が設置され、スポーツに関する専門的な教育を行い、体育・スポーツの指導者の育成を目指している。</p> <p>生徒の進路志望を達成させるため、大学受験に向けた充実したカリキュラムを組んでいる。また、9割以上の生徒が部活動に加入し、各部活動で掲げた目標に向かって日々努力し、輝かしい結果を残している。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>88</td> <td>3</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>32</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>120</td> <td>5</td> <td>54</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>197</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 岩手大(3人)、弘前大(3人)、北見工業大(1人)、室蘭工業大(1人)、愛媛大(1人)、青森公立大(2人)、青森県立保健大(3人)、札幌市立大(1人)</p> <p>■就職: 青森県警(3人)、自衛官(6人)、消防士(2人)、一般公務員(2人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	88	3	31	3	6	3	134	女	32	2	23	4	2	0	63	計	120	5	54	7	8	3	197
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	88	3	31	3	6	3	134																																					
女	32	2	23	4	2	0	63																																					
計	120	5	54	7	8	3	197																																					
特色ある教育活動	<p>■地域への貢献を意識した教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近隣の小学校への学習支援ボランティア・・・長期休業中に近隣の小学校に向き、小学生に勉強を教えている。 ○1・2学年による校舎周辺地域の清掃活動 ○スポーツ科学科の公開講座、新郷村チャレンジデーでの団体行動披露 ○八戸市歩行者天国でのせんべいカフェの出店 ○近隣の中学校との部活動での合同練習 ○八戸市が行う八戸駅西地区まちづくり計画(スポーツをコンセプトに飲食や娯楽の機能をコンパクトに集約した「スポーツ・スマートシティ」)への協力 <p>■学力の向上と生徒の多様な進路志望に応える進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学の授業では習熟度による、英語、体育の授業では少人数による授業の展開 ○進路志望を2年次の課題研究で深化 ○プレゼンテーション講座、グループディスカッション講座、グループワーク講座、講義レポート講座など外部講師を活用した先進的な進路講演会 <p>■スポーツ科学科の活動による学校活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弘前大学ラボバスによる授業(年4回) ○公開講座(ラグビー・剣道・ユニバーサルホッケー) ○車椅子バスケット交流、老人ホーム訪問、特別支援学校との交流 																																											

八戸西高校

【生徒の状況】

(1) 生徒在籍数

学科・性別		学年			合 計
		1 学年	2 学年	3 学年	
普 通 科	男 子	96	66	56	218
	女 子	104	93	104	301
ス ポ ー ツ 科 学 科	男 子	28	33	28	89
	女 子	12	7	12	31
合 計		240	199	200	639

(2) 出身市町村別生徒数

学年	市町村	八戸市	三沢市	県内その他の市	三戸郡						上北郡		県内その他の町村	岩手県	その他の県外	合 計
					三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他の町村				
第1学年		181	5	1	12	11	3	9	1	1	14	2	0	0	0	240
第2学年		154	5	2	4	12	0	9	3	3	4	3	0	0	0	199
第3学年		146	3	1	6	8	1	14	7	2	10	2	0	0	0	200
合 計		481	13	4	22	31	4	32	11	6	28	7	0	0	0	639

(3) 通学方法

区 分	電 車	バ ス	電車 バス併用	自 転 車	徒 歩	そ の 他	合 計
第1学年	109	55	7	27	15	27	240
第2学年	102	41	1	23	13	19	199
第3学年	97	43	7	18	9	26	200
合 計	308	139	15	68	37	72	639

学校名(課程)	三戸高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計
			2	2	2	0	6
学科・コース	■普通科2学級(2年次から各コースに分かれる) 人文数理探究コース、総合教養コース、ビジネスマネジメントコース						
学校の特徴	平成29年度に創立90周年をむかえた歴史と伝統のある学校で、普通科に人文数理探究・総合教養・ビジネスマネジメントの3つのコースを設置している高校である。各コースともにその特徴を生かしながら、「高きを仰ぎ 広きを知り 深きを探る」の綱領のもと、体験活動の充実を図り、地域と協働した郷土愛の育成や地域の未来を担う人財育成に力を入れている。						
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進 学			就 職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	5	0	9	2	3	1	20
女	2	4	7	5	5	0	23
計	7	4	16	7	8	1	43
	【主な進路先】 ■進学: 岩手大学(1人)、岩手県立大学(1人)、日本赤十字秋田看護大学(1人) 岩手県立大学宮古短期大学部(1人)、八戸学院大学(2人) ■就職: 南部病院【事務】(1人)、日本郵便(株)東北支社【窓口業務】(1人) 東北三吉工業(株)【製造業】(1人)、三菱重工冷熱(株)【製造業】(1人)						
特色ある教育活動	■高校から取り組む人口減少対策プロジェクト(県事業) ・地域活性化に取り組んでいる青森公立大学及び岩手県立大学を訪問し、どのような研究と実践を行っているかを学ぶ。 ・八戸学院大学から教員を招き、地域の課題を見つけ出すワークショップを行う。 ・2学年の生徒が地域活性化活動に取り組んでいる先進地域を訪問し、その活動について学ぶ。 ■高校生の就職総合支援プロジェクト(県事業) ・ビジネスマネジメントコースの生徒を対象に、地元企業の方を招いて年間6回の授業を実施している。内容は、地域産業の理解と地場産品の現状、新商品の開発等における手法、商品販売に向けた販路開拓とPR法等である。 ・総合教養コースの生徒を対象に、地元の企業に出向いて伝統の和菓子を作ったり、三戸郷土料理を学ぶ授業を実施している。 ■大学生とカタル! キャリア形成サポート(県事業) 2学年を対象に、大学生とのワークショップ(コミュニケーションブレインストーミング法)を実施する中で、意欲を引き出し、自らの夢に向かい主体的に行動できることを目的に実施している。 ■ 三戸大学と称し、全校生徒を対象に県内の大学、ジョブカフェあおもりの方を招いて講演を実施している。 ■ さんのへ秋祭に全校生徒が参加し、よさこいソーランを披露している。 ■ 三戸城山公園清掃活動等のボランティア活動に数多く参加している。(昨年度は延べ人数250人以上参加)						

三戸高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科・性別		学年			合計
		1学年	2学年	3学年	
普通科	男	11	11	17	39
	女	22	38	17	77
	計	33	49	34	116

(2) 出身市町村別生徒数

三戸	田子	南部	八戸	その他	合計
52	20	35	0	9	116

(3) 通学方法

列車	バス	列車・バス	自家用車・ 列車・バス	自転車	徒歩	自家用車	合計
4	14	13	0	1	30	54	116

学校名(課程)	名久井農業高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計																																					
			2	3	3	0	8																																					
学科・コース	■農業科2学級(2・3学年は3学級) 1 学 年：生物生産科、環境システム科 2・3学年：生物生産科、園芸科学科、環境システム科																																											
学校の特徴	本校は南部町に位置し、今年創立76周年の三八地区唯一の農業高校である。校訓である「強く 正しく 明るく そして責任を持つ」のもと、生徒は勉学、研究活動、部活動に励んでおり、園芸作物の栽培や加工品製造、それらの販売実習から、幼稚園、小学生、高齢者を対象とした異年齢交流や体験学習の受入れなど地域に根ざした教育活動を実践している。また、第二の校訓といわれる「緑育心」の精神のもと、環境緑化教育や国際理解教育にも力を入れており、地域社会の発展に貢献できる産業人の育成を目指している。																																											
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位：人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>28</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>40</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> 【主な進路先】 ■進学： 秋田県立大学(1人)、八戸工業大学(2人)、八戸学院大学(1人)、酪農学園大学(1人)、星槎道都大学(1人)、青森県営農大(2人)、八戸工科学院(5人) ■就職： 太子食品工業【製造業】(1人)、あべはんグループ【製造業】(5人)、三菱製紙エンジニアリング【製造業】(1人)、積水武蔵化工【製造業】(1人)								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	6	0	12	28	10	1	57	女	0	0	4	12	7	1	24	計	6	0	16	40	17	2	81
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	6	0	12	28	10	1	57																																					
女	0	0	4	12	7	1	24																																					
計	6	0	16	40	17	2	81																																					
特色ある教育活動	■本校の特徴的な取組 ○プロジェクト学習：各科とも「課題研究」を8単位設定し、プロジェクト学習を充実させ、その成果を基に各種コンテストにも応募している。昨年は2019年コカ・コーラ環境フォーラム次世代支援部門文部科学大臣賞、第63回全国学芸サイエンスコンクール内閣総理大臣賞、今年には2020年ストックホルム青少年水大賞国際大会グランプリ、気候変動アクション環境大臣表彰を受賞している。 ○環境緑化活動：昭和56年学校環境緑化コンクール特選、昭和60年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞したことから始まった校内の環境美化活動「環境緑化の日」を全校生徒で年2回春と秋に実施している。 ■地域と連携した教育活動 ○農作業支援活動：数人で班編成し、農家へ出向き農作業を支援する奉仕活動を1学年全員が年2回春と秋に実施している。 ○地区分会活動：生徒が利用する青い森鉄道各駅や地域商店街、公共施設等、出身地域の環境美化活動を全校生徒が地区ごとに分かれ年2回実施している。 ○名川秋まつり参加：郷土の歴史と伝統を知るとともに、地域活動への参加を通じて、郷土愛を育む目的で全校生徒が毎年参加している。(9月) ■県事業(ドリカム人づくり推進事業、高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業)を活用した取組 ○ドリカム人づくり：身近な資源や資材の活用が農作物の生育や収量、機能性などに与える影響について研究している。 ○人口減少対策：「持続可能な社会」を目指すため、校内のさまざまな専門力を駆使しながら、持続可能な食料・農業・農村について研究している。																																											

名久井農業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	学年		第1学年			第2学年			第3学年			合計		
	性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
生物生産科			16	16	32	20	15	35	19	14	33	55	45	100
園芸科学科						9	23	32	7	8	15	16	31	47
環境システム科			27	8	35	32	2	34	31	2	33	90	12	102
合計			43	24	67	61	40	101	57	24	81	161	88	249

(2) 出身市町村別生徒数

市町村	学科	生物生産科				園芸科学科			環境システム科				合計			
		1	2	3	計	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
三戸郡	南部町	13	12	14	39	6	4	10	15	9	25	49	28	27	43	98
	三戸町	5	2	6	13	3		3	6		1	7	11	5	7	23
	田子町	1			1	2		2	3	6	1	10	4	8	1	13
	五戸町		3	3	6			0	2	1	1	4	2	4	4	10
	階上町				0		1	1				0	0	0	1	1
	新郷村	2		1	3			0	1			1	3	0	1	4
八戸市		10	18	9	37	19	10	29	8	18	5	31	18	55	24	97
三沢市				0			0				0	0	0	0	0	0
上北郡		1			1			0			0	1	0	0	1	
下北郡					0			0			0	0	0	0	0	
その他					0	2		2				0	0	2	0	2
合計		32	35	33	100	32	15	47	35	34	33	102	67	101	81	249

(3) 通学方法

区分	列車	バス	列車 バス 併用	列車 自転車 併用	自転車	徒歩	バイク	その他	計
男	31	19	15	10	32	12	3	39	161
女	19	15	8	2	1	9	0	34	88
計	50	34	23	12	33	21	3	73	249

学校名(課程)	八戸水産高校(全日制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	専攻科	計																																					
			3	3	3	4	13																																					
学科・コース	<p>■本科：水産科3学級(海洋生産科(2年次から航海システムコース、漁業システムコースに分かれる)、水産食品科、水産工学科)</p> <p>■専攻科：水産科2学級(漁業科、機関科)</p>																																											
学校の特徴	<p>平成30年度に創立110周年を迎えた歴史と伝統のある青森県唯一の水産高校である。海洋生産科(航海システムコース・漁業システムコース)、水産食品科、水産工学科と専攻科(漁業科・機関科)を設置している。「豊かな人間性と人格の形成を図り、有為な社会人、明るくたくましい水産人の育成」を教育目標に掲げ、地域社会に密着し、「海・船・水産物のスペシャリスト」を輩出している。</p>																																											
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>28</td> <td>42</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学：八戸工業大学、青森明の星短期大学、八戸水産高等学校専攻科(18人)</p> <p>■就職：日本水産(株)他[製造業](17人)、(株)ユニバース他[小売業](7人)、(株)共同物流サービス他[運輸業](13人)、(株)福島漁業他[漁業](5人)、シルバーフェリーサービス(株)他[サービス業](12人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	1	0	24	24	17	1	67	女	0	1	4	18	6	1	30	計	1	1	28	42	23	2	97
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	1	0	24	24	17	1	67																																					
女	0	1	4	18	6	1	30																																					
計	1	1	28	42	23	2	97																																					
特色ある教育活動	<p>■資格取得の推進</p> <p>船長・機関長となるための海技士(航海・機関)資格はもとより、関連する危険物取扱者(甲種・乙種)・ボイラー技士・潜水士等、各種資格取得に向け校内にて講習会・学習会を実施し成果をあげている。</p> <p>■階上町アブラメ(アイナメ)のブランド化</p> <p>平成30年7月に隣接する階上町と官学連携協定を結び、令和2年3月には階上町・階上漁業協同組合・青森県八戸水産事務所・青森県栽培漁業振興協会・階上町商工会関係者・はしかみハマの駅あるでい〜ば・本校を会員とし、八戸学院大学地域経営学科からアドバイザーを迎え、「はしかみブランドプロジェクトCompAss」を設立し、本格的にアブラメ(アイナメ)ブランド化に向けて全学科で事業を進めている。</p> <p>■さば水煮缶詰のブランド化(A-HACCP認証に向けて)</p> <p>水産食品科で製造しているさば水煮缶詰について、平成30年度、八戸前沖さばブランド推進協議会事務局より許可を得て、八戸前沖さばを使うことでブランド化を図った『Premiumさば水煮缶詰』を製造・販売した。</p> <p>また、令和元年度、青森県産食品の製造・加工業者を対象に、厳格な衛生管理に取り組んでいることを認証する制度「A-HACCP」を本校さば水煮缶詰での取得に向けて準備を進め、令和元年12月の製造実習において審査を受け、令和2年3月31日認証書が交付された。県内の高校では初の認証となった。</p>																																											

八戸水産高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

科別	学年 性別	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年		合 計
		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年	
海 洋 生 産 科	男	25	航海システムコース	25	航海システムコース	17	80	
			漁業システムコース	8	漁業システムコース	5		
	女	3	航海システムコース	1	航海システムコース	1	7	
			漁業システムコース	1	漁業システムコース	1		
	計	28	35	24	87			
	水 産 食 品 科	男	3	3	6	12		
女		31	32	27	90			
計		34	35	33	102			
水 産 工 学 科	男	33	33	35	101			
	女	2	1	0	3			
	計	35	34	35	104			
合 計	男	61	69	63	193			
	女	36	35	29	100			
	計	97	104	92	293			

専攻科漁業科	男	9	8		17
専攻科機関科	男	9	6		15
合 計	計	18	14		32

総 計	男	225
	女	100
	計	325

(2) 出身市町村別生徒数

科 学年 市町村名		海洋生産科				水産食品科				水産工学科				専攻科						計
								漁業科			機関科									
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	計	1	2	計	
八戸市		19	24	15	58	31	34	31	96	31	27	32	90	7	7	14	7	5	12	270
三戸郡	階上町	2	2	1	5	1	1	1	3	1	7	2	10				1	1	2	20
	五戸町		1		1															1
	南部町	1			1															1
上北郡	おいらせ町	1	2	1	4					2			2							6
	六ヶ所村			1	1							1	1							2
	東北町	1			1															1
	横浜町	1	3	1	5															5
三沢市		1	1	1	3										1	1				4
青森市				1	1					1			1				1		1	3
むつ市				1	1															1
つがる市			1		1									1		1				2
東郡	平内町		1		1															1
	外ヶ浜町			1	1															1
西郡	深浦町	1			1															1
下北郡	東通村			1	1									1		1				2
岩手県		1			1	1		1	2											3
福島県						1			1											1
合計		28	35	24	87	34	35	33	102	35	34	35	104	9	8	17	9	6	15	325

(3) 通学方法

区分	列車	バス	列車・バスを併用	自転車	徒歩	その他	合計
計	50	36	3	92	109	35	325

学校名(課程)	八戸工業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	7	7	7	0	21																																					
学科・コース	■工業科7学級(機械科、電子機械科、電気科、電子科、情報技術科、土木建築科(土木コース・建築コース)、材料技術科)																																											
学校の特徴	<p>本校は昭和19年創立され、今年度創立77年目にあたる。</p> <p>青森県立高等学校教育改革推進計画にある工業高校拠点校として連携校と協力を図りながら、先導的立場で地域のものづくり産業を支える人財育成を目指している学校である。資格取得や部活動にも熱心に取り組み、資格取得では全国工業高等学校校長協会顕彰制度において700校中上位30校に入る実績を持つ工業高校である。</p>																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	<p>【進路状況全体】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進 学</th> <th colspan="2">就 職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県 内</th> <th>県 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>21</td> <td>55</td> <td>103</td> <td>3</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>64</td> <td>112</td> <td>4</td> <td>241</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <p>■進学: 北見工業大、室蘭工業大、秋田大、山形大(各1人)、八戸工業大(16人)、八戸学院大(4人)、東北学院大(1人)、青森大(2人)</p> <p>■就職: 東北電力(3人)、日本原燃(4人)、八戸製錬(2人)、アルバック東北(2人)、八戸港湾輸送(3人)、高周波鑄造(2人)、テクノル(1人)、ハチカン(2人)、田名部組(1人)、溝口電気(2人)、公務員(19人)</p>								進 学			就 職		その他	合 計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外	男	35	0	21	55	103	3	217	女	3	0	2	9	9	1	24	計	38	0	23	64	112	4	241
	進 学			就 職		その他	合 計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県 内	県 外																																							
男	35	0	21	55	103	3	217																																					
女	3	0	2	9	9	1	24																																					
計	38	0	23	64	112	4	241																																					
特色ある教育活動	<p>■地域連携及びものづくり・探究活動に関する工業教育</p> <p>ものづくりを通して、自ら考え、課題として捉え探究活動を行い解決する実践的態度を育成するとともに、ものづくりにおける共同作業を通し、コミュニケーション能力、協調性を育成する取り組みを展開している。</p> <p>[拠点校としての取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業 北東北最大級の産業都市だからできる【未利用熱エネルギー特別講義】 ・電子回路組み立て特別講義実施【ものづくりコンテストプログラム作成の注意点】 ・旋盤作業の学び合いで未来の地域機械産業の担い手レベルアップ <p>[ドリカム人づくり推進事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸工業から三八地区そして世界に発信【動画作成特別授業】 ・ドローンを活用した調査・研究 ・地域小学校へのドローン出前講座を通して地域貢献 <p>[ものづくり教育]</p> <p>高校生ものづくりコンテスト: 測量部門東北大会1位、旋盤部門、電子回路部門、フライス部門、高校生ロボット競技大会への参加</p> <p>[部活動奨励]</p> <p>弓道部男子、自転車競技部、卓球部、レスリング部、体操部、レスリング部が東北大会常連、全国大会へも出場。適切な人間関係構築を図っている。</p>																																											

八戸工業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

	1 学年			2 学年			3 学年			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
機 械 科	32	3	35	33	2	35	35	0	35	100	5	105
電子機械科	35	0	35	33	2	35	34	1	35	102	3	105
電 気 科	35	0	35	34	1	35	33	2	35	102	3	105
電 子 科	32	3	35	33	1	34	30	3	33	95	7	102
情報技術科	31	4	35	29	6	35	27	7	34	87	17	104
土木建築科	28	7	35	29	6	35	33	1	34	90	14	104
材料技術科	24	11	35	25	10	35	30	5	35	79	26	105
合 計	217	28	245	216	28	244	222	19	241	655	75	730

(2) 出身市町村別生徒数

学 科	学 年	八 戸 市	十 和 田 市	三 沢 市	三 戸 郡						上北郡		岩 手 県	そ の 他	合 計
					五 戸 町	三 戸 町	南 部 町	田 子 町	階 上 町	新 郷 村	おいらせ町	六ヶ所村			
機 械 科	1	30	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	35
	2	28	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	1	1	35
	3	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
	計	93	0	1	3	1	0	0	2	0	1	0	1	3	105
電 子 機 械 科	1	28	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	35
	2	27	0	0	1	1	2	0	2	0	1	0	0	1	35
	3	25	0	0	1	3	2	0	1	0	3	0	0	0	35
	計	80	0	0	2	4	5	0	9	0	4	0	0	1	105
電 気 科	1	31	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	35
	2	27	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	2	0	35
	3	27	0	0	2	0	2	2	2	0	0	0	0	0	35
	計	85	0	0	2	3	5	2	6	0	0	0	2	0	105
電 子 科	1	28	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	35
	2	25	0	0	0	1	4	0	4	0	0	0	0	0	34
	3	29	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	33
	計	82	0	0	2	1	8	0	8	0	0	0	1	0	102
情 報 技 術 科	1	27	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	3	0	35
	2	29	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	1	0	35
	3	30	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	34
	計	86	0	0	3	1	5	0	5	0	0	0	4	0	104
土 木 建 築 科	1	28	0	0	0	0	2	0	3	0	2	0	0	0	35
	2	29	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	2	0	35
	3	26	0	1	1	0	1	0	2	1	0	0	2	0	34
	計	83	0	1	1	0	4	0	7	2	2	0	4	0	104
材 料 技 術 科	1	31	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	35
	2	30	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	35
	3	29	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3	35
	計	90	0	1	2	1	4	0	0	1	0	2	0	4	105
合 計	1	203	0	2	5	1	8	0	16	0	3	1	4	2	245
	2	195	0	0	5	7	12	0	13	1	1	1	6	3	244
	3	201	0	1	5	3	11	2	8	2	3	0	2	3	241
	計	599	0	3	15	11	31	2	37	3	7	2	12	8	730

(3) 通学方法

区分	徒歩・自転車・並行 列車・バス併用	列車	バス	自転車	徒歩	自動車	合 計
生徒数	34	4	89	131	51	69	730

学校名(課程)	八戸商業高校(全日制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計																																					
		(R2.5.1)	3	3	3	0	9																																					
学科・コース	■商業科3学級(商業科2学級、情報処理科1学級)																																											
学校の特徴	平成29年度に創立90周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。商業高校の専門性を活かし、高度な資格取得はもちろん、地域に根差した地域のための学校を目指している。商業教育を支援する大学や地元企業との連携により、生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意識を高めている。県内企業への就職率が83%(過去5年間の平均78%)と高く、地元定着に大きく貢献している。																																											
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">進学</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>国公立</th> <th>短期大学</th> <th>専修・各種学校等</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>32</td> <td>41</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46</td> <td>16</td> <td>37</td> <td>50</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な進路先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■進学: 弘前大学(1人)、青森公立大学(4人)、はこだて未来大学(4人)、高崎経済大学(1人) ■就職: (株)青森銀行(1人)、青い森信用金庫(2人)、日本郵政(株)東北支社(2人)、(株)アイティコワーク(1人)、(株)サンコンピュータ(1人) 								進学			就職		その他	合計	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外	男	16	0	5	9	1	1	32	女	30	16	32	41	9	0	128	計	46	16	37	50	10	1	160
	進学			就職		その他	合計																																					
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外																																							
男	16	0	5	9	1	1	32																																					
女	30	16	32	41	9	0	128																																					
計	46	16	37	50	10	1	160																																					
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ■高大連携事業 会計実務検定試験の資格取得に向け、商業科3学年の「財務会計Ⅱ」選択者21名を対象に、夏季休業期間中に八戸学院大学の教授を招聘しての集中講義を実施している。 ■アプリ開発講座(ドリカム人づくり推進事業) 情報処理科2・3学年が「課題研究」の授業の中で、地元企業(株)アイティコワーク)と連携し、地元の課題についての調査研究とアプリ開発を行っている。この活動を通じ、実際に県内のIT関連企業に就職する生徒が増加している。 ■八商バザー 昭和4年から実施されている本校の伝統行事である。地元企業約20社に協力をいただき、全校生徒の日頃学習した内容についての実践の場となっている。 近年は開催期間二日間で3,500名を超える来客者数となっている。商品の販売方法・ビジネスマナー・会計処理と販売活動の一連の業務を経験することで、商品売上の厳しさとともに販売できたときの喜びを体験している。この活動が契機となって地元就職を目指す生徒も多い。 																																											

八戸商業高校

【生徒の状況】

(1) 在籍生徒数

学科	1 学 年		2 学 年		3 学 年		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
商 業 科	12	63	12	66	17	61	41	190	231
情 報 処 理 科	13	26	10	30	11	27	34	83	117
合 計	25	89	22	96	28	88	75	273	348
	114		118		116		348		

(2) 出身市町村別生徒数

	商業科				情報処理科				合計	
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
八 戸 市	61	71	61	193	30	37	34	101	294	
十 和 田 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三 沢 市	0	0	1	1	0	0	0	0	1	
三 戸 郡	三 戸 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	階 上 町	8	5	12	25	4	2	0	6	31
	五 戸 町	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	南 部 町	3	0	1	4	2	1	0	3	7
	田 子 町	2	1	0	3	0	0	2	2	5
	新 郷 村	0	0	0	0	2	0	0	2	2
上 北 郡	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	六カ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青 森 市	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
弘 前 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩 手 県	久 慈 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽 米 町	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	洋 野 町	0	1	2	3	1	0	1	2	5
合 計	75	78	78	231	39	40	38	117	348	

(3) 通学の方法（項目は重複しない）

	バ ス	列車バス併用	自 転 車	徒 歩	自家用車	合 計
1 年	78	10	11	4	11	114
2 年	79	8	11	10	10	118
3 年	54	6	9	3	44	116
合 計	211	24	31	17	65	348

学校名(課程)	八戸中央高校(定時制)	学級数 (R2.5.1)	1年	2年	3年	4年	計
			3	3	3	3	12
学科・コース	【単位制・3部制】 ■普通科3学級(午前部、午後部、夜間部)						
学校の特徴	平成30年度に創立70周年を迎えた。午前部・午後部・夜間部がある。4年制であるが、2・3年次において他部履修で単位を修得すると3年間で卒業することができる。近年、不登校を経験したり何らかの障害を持つなどの困難を抱えた生徒の入学が漸増傾向にある。およそ40%の生徒が就業している。						
卒業後の 進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進 学			就 職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	3	0	1	9	2	2	17
女	1	0	7	15	8	6	37
計	4	0	8	24	10	8	54
	【主な進路先】 ■進学: 弘前大学(1人)、福島大学(1人)、八戸工業大学(1人)、八戸学院大学(1人)、八戸工科学院(1人)、アレック情報ビジネス学院(1人) ■就職: (株)南部架設【建設業】(2人)、(株)報恩八田【サービス業】(1人) (株)阿部繁孝商店【製造業】(2人)、(株)あさやホテル【ホテル業】(2人)						
特色ある教育活動	■授業のユニバーサルデザイン化 プリント等の教材・板書・教室環境の整備の改善を軸に、全ての生徒にとって分かりやすい授業の実現に向けて、全校体制で研究と実践を進めている。						
	■教育相談の充実 全生徒に学級担任の他にチューターの担当教員がおり、個別の相談や実態把握、進路実現に向けたサポートを両者で行っている。教育相談部では生徒及び保護者に対して様々な悩み事の相談を行っている。						
	■通級による指導 令和2年度より通級による指導(自校通級)が始まり、教育課程に位置付けて1単位又は2単位で実施している。希望する生徒・保護者と面談を行い、生活上の困り感の軽減や社会的自立に向けて、「自立活動」の内容を指導している。						

八戸中央高校（定時制）

【生徒の状況】

（1）在籍生徒数

部・年次		午 前 部				午 後 部				夜 間 部				合計
学科	性別	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
普通科	男	13	18	17	0	17	13	18	2	2	3	6	2	111
	女	27	21	18	2	14	10	15	1	2	0	0	2	112
	計	40	39	35	2	31	23	33	3	4	3	6	4	223
		116				90				17				

（2）出身市町村別生徒数

部・年次		午 前 部				午 後 部				夜 間 部				合計
市町村		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
八戸市		38	35	30	2	21	16	27	3	3	3	6	3	187
三沢市		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
上和田市		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
三戸郡		2	2	2	0	6	5	4	0	0	0	0	0	21
上北郡		0	2	0	0	4	2	1	0	1	0	0	0	10
その他県内		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
合計		40	39	35	2	31	23	33	3	4	3	6	4	223

（3）通学方法

性別	区別	電 車	バ ス	オートバイ	自家用車	徒 歩	自 転 車	計
計		30	66	1	48	33	45	223

学校名(課程)	八戸中央高校(通信制)	学級数	1年	2年	3年	4年	計
		(R2.5.1)	2	2	2	0	6
学科・コース	【単位制】 ■普通科2学級						
学校の特徴	平成25年度に県立高校教育改革により、北斗高校通信制の課程八戸中央高校分室を廃し、八戸中央高校通信制の課程として設置された高校である。学習の基本は、レポート(添削指導)、スクーリング(面接指導)、テスト(単位認定)となり、年齢・職業を問わず自分のペースで高校教育を受けることができる。また、卒業条件を満たせば、全日制や定時制高校と同じ卒業資格が得られる。						
卒業後の進路状況 (R2.3卒業生)	【進路状況全体】 (単位:人)						
		進学			就職		その他
	国公立	短期大学	専修・各種学校等	県内	県外		
男	1	0	3	1	1	0	6
女	1	3	6	2	0	6	18
計	2	3	9	3	1	6	24
	【主な進路先】 ■進学: 大東文化大学(1人)、八戸学院大学(1人)、青森明の星短期大学(1人) 青森中央短期大学(1人)、八戸学院短期大学(1人) ■就職: ベジフル(株)【青果物卸売業】(1人)、BAM(株)【不動産業】、他						
特色ある教育活動	本校は前期・後期の2期制をとっており、修業年限(3年以上)及び修得単位数(74単位以上)等の条件を満たせば前期卒業(9月)が可能である。また、令和3年度より、高校入学後の進路変更の機会を確保すること等を目的として、後期入試(9月)を導入する予定である。						

【生徒の状況】

八戸中央高校（通信制）

(1) 在籍生徒数

1年次		2年次		3年次		合計
男	女	男	女	男	女	
18	17	18	31	10	23	117

(2) 出身市町村別生徒数

市町村		生徒数			
		1年次	2年次	3年次	合計
八戸市		13	13	11	37
三沢市		2	7	2	11
十和田市		9	8	8	25
むつ市		0	1	0	1
三戸郡	三戸町	2	2	2	6
	五戸町	0	0	0	0
	南部町	1	1	1	3
	階上町	0	1	0	1
	田子町	0	1	0	1
上北郡	野辺地町	1	1	0	2
	七戸町	0	0	1	1
	六戸町	4	3	3	10
	東北町	0	1	2	3
	おいらせ町	2	6	1	9
	六ヶ所村	1	2	0	3
県外		0	2	2	4
合計		35	49	33	117

(3) 通学方法

バス	電車	電車 バス併用	原付 自転車	自転車	徒歩	自動車	その他 (送迎)	合計
15	27	3	0	5	8	7	52	117